

経済産業省委託事業

アラブ首長国連邦における 知的財産権侵害の現状と市況報告

2015年4月

独立行政法人 日本貿易振興機構
ニューデリー事務所
知的財産権部

目次

1 アラブ首長国連邦における知的財産権侵害の現状	2
2 市況報告 - UAE 概観	6
3 市況報告 - ドバイ	9
4 市況報告 - アブダビ	52
5 市況報告 - シャルジャ	67
6 市況報告 - アジュマン	80
7 市況報告 - ウンム・アル・クウェイン	87
8 市況報告 - ラス・アル・ハイマ	96
9 市況報告 - フジャイラ	109

1 アラブ首長国連邦における知的財産権侵害の現状

本報告書では、アラブ首長国連邦(UAE)を構成する7首長国における知的財産権の侵害に対する取り組みと、市場の現状について概要をまとめます。

本報告書は、7首長国のうち、人口が最も多く、最も発展した首長国であるドバイに、主に焦点を当てることとします。ドバイは、その繁栄ゆえに、知的財産権の侵害が多発する地域でもあります。知的財産権の行使に関しても、ドバイは最先進国であり、不正行為の防止策や、第三者による侵害行為を取り締まる様々な対策が講じられています。

法制度

UAEは、1971年12月に設立され、過去44年間で急速な発展を遂げてきました。ただし、その法制度は、いまだ発展途上にあります。

しかし昨今、知的財産権への関心が急速に高まり、権利を行使し、しかるべく取り締まることも可能となってきました。

UAEは大陸法系国家で、知的財産権を保護する連邦法も数々制定されています。

主な法律：

- ・1992年連邦法第37号(改正法)－ **商標法**
- ・2002年連邦法第7号－ **著作権法**
- ・2002年連邦法第17号－ 特許、デザイン、工業モデルを保護する**特許・意匠法**
- ・1993年連邦法第18号－ **商事取引法**
- ・2006年連邦法第24号－ **消費者保護法**
- ・1979年連邦法第4号－ 商業取引における詐欺行為を防止する**不正行為取締法**
- ・1984年決議第26号－ 商取引における詐欺行為を防止する1979年連邦法第4号の行政規則－ **不正行為取締規則**

知的財産権の行使

不正商品や偽造品を取り締まる手段として、行政措置、刑事訴訟、民事訴訟のいずれかを選ぶことができます。どの手段が最も適しているかは、それぞれのケースの具体的な要因によって異なりますが、どのようなケースでも、適切に権利を行使するためには、関連当局と密に連携することが重要です。通常、当局員と事前会議を設け、侵害が疑われる行為の内容を説明するとともに、関連法の規定に基づき、その行為がいかにか不正とみなされるかについて協議します。さらに、手続きを確実に進めるためには、定期的に当局員に経過を確認しなければなりません。

権利の行使とは言うものの、たいていの場合、「適切な手段が講じられた」との当局員の言葉を信じる他ありません。これは、関連当局から、適切な措置が施されたことを明らかにするなんらかの証明書を手にするのが困難なためです。

例えば、税関で摘発され、押収された偽造品の出荷に対し講じられた措置に関して、税関から確認書を得ることは極めて困難です。

現在の法制度において、UAE の首長国には、それぞれ独自の行政措置、刑事訴訟、民事訴訟を管轄する当局が存在し、他の首長国の関連当局から独立して個別に機能しています。しかし、侵害者の取引活動が、例えば、一つの首長国で商品を保管し、別の首長国で販売するなど、複数の首長国にまたがる場合、それら複数の首長国の関連当局に、連携して協調的に対処するよう求めることも可能です。

これら首長国にはそれぞれ、「フリーゾーン」と呼ばれる会社設立が可能な経済特区があり、フリーゾーンでは、外国資本 100%の会社設立が可能であることをはじめ、所有者に様々な優遇が与えられています。フリーゾーン登録会社は「オフショア(外国企業)」とみなされ、ドバイ国内での直接取引は許されません。フリーゾーン内でも連邦法は全て適用されますが、関連当局は、これら特区内での取り締まりに非常に消極的であるため、フリーゾーン内の企業やトレーダーを相手に、権利を行使するのは難しいかもしれません。フリーゾーンに関する詳しい情報は、本報告書の市場データセクションをご参照ください。既述のとおり、本報告書は主にドバイに焦点を当てています。以下、第三者による不正行為に対するドバイでの取り締まりについて簡単にまとめます。これらの措置が他の首長国にも応用できるか否かは、それぞれの首長国によって異なるため、ケースごとにアドバイスを仰ぐ必要があります。

1. 行政摘発

商標権者は、経済開発局 (DED) の商業保護課に行政措置の申し立てを行うことができます。DED は、主に頻発する小売レベルでの偽造品を取り締まります。

DED への申し立てには二つの方法があります：

- 小売店特定摘発 - 商標権者が、偽造品／模倣品を販売する店舗を具体的に特定して摘発。
- 不特定摘発 - 商品の種類ごとに申請。DED への申し立ては 6 か月間有効。

いずれの場合も、申し立てを受けた DED は関連店舗に捜査官を送って強制捜査を行い、偽造品を押収します。偽造品の押収および破棄の証明を得ることは容易ではありません。

2. 刑事訴訟

一般に、刑事訴訟を起こすには、まず、不正行為に関する詳しい情報を警察へ届け出る必要があります。

したがって、通常、刑事訴訟は DED による摘発よりも、高額な費用が必要とされます。通常、警察は、過去の不正行為の証拠(コンピューターや書面による記録など)を押収することはありません。

警察への届け出が受理されると、刑事手続きのために検察官へ送られます。検察官が裁判を行い、不正行為が立証されると、通常、被疑者に罰金が科されます。しかし、科される罰金の額は低く、不正行為の抑止力としての効果はあまりありません。

3. 民事訴訟

民事訴訟は、警察や DED が積極的に取り扱わない稀なケースや異例の事態における不正行為の場合に限り、選択すべき手段です。

口頭弁論では、口頭による証言の機会はほとんどなく、主に(アラビア語による)嘆願書の交換が行われます。裁判所の判決が下されるまで、通常、何度も嘆願書の提出が求められます。

また、判例や慣例もなく、知的財産権を専門とする法廷もなく、専門家が任命されるわけでもないため、民事訴訟の判決を予想するのは極めて難しいことも忘れてはなりません。

しかし、最近行われた米国特許商標局(USPTO)と国際商標協会(INTA)の協議で、法務省は、二名の UAE 裁判官が、現在米国にて知的財産修士課程を履修中であり、USPTO のトレーニングも受けている旨報告しました。UAE 連邦裁判所に提訴された全ての知的財産訴訟は、これら二人の裁判官が審理を行うことを意図した取り組みですが、これが UAE における知財訴訟にどのように影響するか、経過を見守る必要があります。

知財訴訟のほとんどは、破毀院まで上訴されます。取り戻せるのは、わずかな費用に過ぎません。

4. 税関

商標登録

現在、UAE には連邦共通の制度としての税関登録制度はありません。7 首長国のうちドバイ、ラス・アル・ハイマ、シャルジャだけが公式な登録制度を設けています。これら制度はそれぞれの首長国で独立して機能しています。

商標権者は、これら税関で商標登録を行わねばなりません。登録済みの商標に関し、税関は積極的に偽造品の輸送を監視します。商標権者が、ドバイ税関にて(シャルジャおよびラス・アル・ハイマの税関職員も招いて)正式な(アラビア語での)講習会を行うことにより、税関の積極的な取り締まりを強化することも可能です。

税関への申立

関連商標の登録を行った上で、UAE へ輸入される偽造品の押収および破棄を税関に申し立てることができます。トランジットの商品を摘発することは困難です。

ここ数年、税関は偽造品を再輸出しています。偽造品の原産国への返送を輸入元に求める権限を関税局に与える不正行為取締法の新法案が作成される中、このような対応には懸念が高まっています。商標権者が返送された偽造品の行方を追跡できなくなると、それら偽造品は市場に戻る結果となることが多く、偽造品返送の動きに対する懸念は深刻です。

不正行為取締法の改正案

まだ法案の段階ですが、改正法案は、偽造品や虚偽広告を含め、UAE における不正行為を厳しく取り締まることを目的としています。これは、商標権者が抱える偽造品問題への取り組みとして、UAE が前向きな一歩を踏み出したことを意味し、UAE の国内法を国際基準および国際条約に基づく義務に合致させるための積極的な姿勢の現れです。

また、この法律により、全首長国の偽造品を取り締まる単一の行政機関が設立される点も重要です。

UAE を出所とする不正商品の減少

2014 年に発行された欧州委員会の 2013 年国境対策報告書によると、UAE を出所とする不正商品の数は大幅に減少しました。

- 原産地に関し、UAE は 2012 年の 2 位から、2013 年は 5 位に下がり、改善が見られます。
- UAE を出所とする偽造タバコの数 は 18% 減少し、香水、化粧品、ボディケア商品も 18% の減少が見られます。

しかし一方で、UAE を出所とする偽造車、付属品、部品の数 は 13% 増加している点を見逃してはなりません。

ドバイ知的財産権保護指標(IPR インデックス)

ドバイでの知的財産権保護の強化を図る取り組みの一環として、DED は 2014 年末、ドバイの知財保護の満足度を四半期毎に計る指標を近々導入する旨発表しました。この指標は「ドバイ知財保護指標(IPR インデックス)」と呼ばれます。IPR インデックスは、商標権者、法律事務所、流通業者、取引代理店など関係者の意見や期待値を集計するための指標です。最初の IPR インデックスは、2015 年第 1 四半期後に発表される予定です。この指標が市場状況を正確に表すかどうかは、現時点では分かりません。

UAE における判例

UAE では、公知の模倣品裁判の判決に関する一般情報は非常に限られています。このため、本報告書内では、主に新聞記事などの公開情報をできる限り提供しています。

2 市況報告 – UAE 概観

アラブ首長国連邦(UAE)は、中東に位置する湾岸協力会議(GCC)加盟国です。陸はオマーン、サウジアラビアと国境を接し、海はカタール、イランと国境を接しています。UAE は7つの首長国で構成される連邦国です。それぞれの首長国は、絶対君主制に基づき首長によって統治され、7首長国の首長は連邦最高評議会を構成しています。石油輸出国機構(OPEC)の調べでは、UAEの石油埋蔵量は世界6位とされています。

UAEを構成する7つの首長国:

- アブダビ
- ドバイ
- シャルジャ
- アジュマン
- ウムム・アル・クウェイン
- ラス・アル・ハイマ
- フジャイラ

The National 紙によると「2014年1月から9月までの間に、97の強制捜査が行われ、3,420万ディルハム(930万米ドル)相当の偽造車両部品が押収された。2014年第3四半期だけでも、53の強制捜査が行われ、1,350万ディルハム(370万米ドル)相当、184,000点以上の偽造製品が押収された」とのことです。

出典: The National 紙 2014年11月27日号 (UAE)

<http://www.thenational.ae/dh342m-worth-of-counterfeit-parts-confiscated-in-raids-across-uae-this-year>

2.1 首長国を結ぶ交通網と物流ネットワーク

将来的に大規模な鉄道網が整備される計画はありますが、現在、首長国を結ぶ鉄道はありません。そのため、首長国間の往来に利用される交通機関は、道路、水路、あるいは空路のいずれかです。UAE の国土は比較的小さいため、ラス・アル・ハイマの最北端からアブダビの最南端まで車で移動する場合、一日以内に到着することが可能です。水路や空路は、あまり実用的でない上、費用効率も悪いため、UAE での物流は、主に道路輸送が用いられます。また、物理的な境界線もほとんど無く(フジャイラの山岳地帯を除き、首長国の大部分が砂漠か砂丘)、多額の資金を投じて都市や町を結ぶ道路が建設されたことから、UAE 内の道路を使った偽造品や不正商品の輸送は比較的容易かつ自由です。

2.1.1 道路

途中で名称が変わりますが、北部のラス・アル・ハイマから南部のサウジ国境まで続く主要道路は、E11(ドバイではシェイク・ザイド・ロード)です。ドバイには、E311(シェイク・モハメド・ビン・ザイド・ロード)や E611(エミレーツ・ロード)といったバイパスがあります。

ドバイから、東西に延びる主要道路は、(ドバイとオマーン(ハッタ国境)を結ぶ)E44 と(ドバイとアル・アインを結ぶ)E66 です。

UAE の主要道路:



Map data ©2014 Google

2.1.2 車両

UAE の物流には、主に小型／大型トラックが用いられます。輸送コンテナを運ぶトラックや、専用輸送車も含まれます。どの首長国でも、温暖な気候に適した白のオープントラックが、一般的によく用いられる輸送手段です。これらトラックは、格子状の高いサイドパネルがあり、屋根は無く、ロゴや印の表示はありません。偽造品の輸送には無印のトラックがよく使われるため、追跡がさらに困難となっています。しかし通常、下の写真のように、トラックのドア部分には、会社名が表示されています。



3 市況報告 - ドバイ

ドバイは、UAE 7 首長国の一つで、最も人口が多く、二番目に大きな国土を持つ首長国です。2013 年 1 月 1 日現在の人口は 200 万人を超えていますが、人口の 83%は海外からの駐在員であるため、首長国民はわずか 17%に過ぎません。

The National 紙は、「2014 年の第 1 四半期にドバイ税関で押収された偽造品は、およそ 700 万ディルハム (200 万米ドル) 相当にのぼり、前年同時期の 240 万ディルハム (65 万米ドル) を大きく上回る(中略)。2014 年第 1 四半期、ドバイ税関は、65 回の強制捜査を行い、およそ 440 万点、670 万ディルハム (180 万米ドル) 相当の不正商品を押収し、2013 年同時期の 59 回の強制捜査による押収品 240 万ディルハム (650 万米ドル) 相当から大きく増加している。ドバイ税関長によると、税関捜査官は、2011 年から 2013 年の期間中、951 回の強制捜査を行い、6,530 万ディルハム (1,780 万米ドル) 相当の不正商品を押収した(中略)。また『ドバイ税関は、知的財産権の保護に最大の注意を払い、社会安全と国家経済支援に努めている。』ドバイ税関は、著作権侵害、偽造、不正行為を厳しく取り締まることで、現地の商取引および投資活動のために健全な環境を提供することに一翼を担っている。これは、製造者や制作者の権利を守るとともに、偽造品や模倣品による消費者への被害防止に必要な努力である。」と報じています。

出典：The National 紙 2014 年 4 月 28 日号 (UAE)

<http://www.thenational.ae/uae/courts/dubai-customs-seize-dh7-million-in-fake-goods>

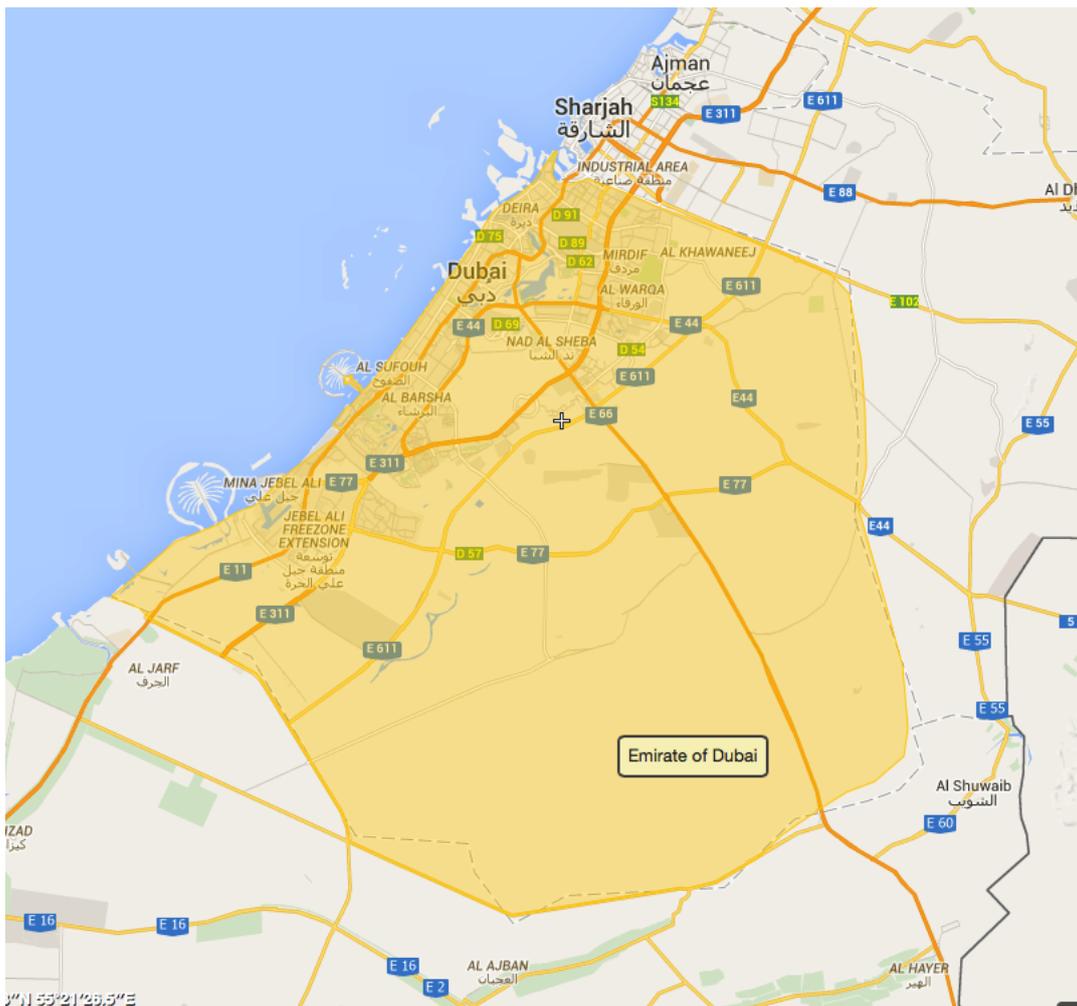
石油産業から収入を得るようになったのは 1969 年からです。石油収入により初期のドバイ都市開発は急速に進みましたが、石油埋蔵量には限りがあり、生産水準は高くありません。今日、ドバイの歳入全体のうち、石油からの収益は 5%もありません。現在では、欧米型のビジネスモデルに基づき、観光、航空、不動産、金融サービスが主な収入源となっています。

今やドバイは、国際都市として大きく発展し、ペルシャ湾地域における経済の中心地として栄えています。またドバイは、旅行者や貨物の主要交通拠点でもあり、年間およそ 6600 万人の旅行者がドバイ国際空港 (DXB) を利用しています。ドバイ国際空港、ドバイ・ワールド・セントラル空港 (DWC) の両空港は、貨物の中継貿易地として賑わい、ジュベル・アリ港も多く利用されています。

UAE 内のドバイ酋長国の場所:



Map data ©2014 Google



Map data ©2014 Google

3.1 港、空港、陸上国境検問所

ドバイの港および空港は、湾岸地域における最大かつ利用頻度の最も高い港および空港として一般に知られています。これは、歴史的にドバイが、世界各地へのゲートウェイとして、貿易の中心地だったことに起因します。ドバイは、鉱物、化学品、(金などの)卑金属、車、機材、電子機器、織物、食品をはじめとし、大量の物品を輸入しています。ドバイへの主な輸出元は米国、中国、日本、英国、韓国、インドです。ドバイからの主な輸出品は、石油、天然ガス、ナツメヤシ、干物、セメント、電線などで、他の湾岸諸国(オマーン、クウェート、サウジアラビア、カタール、バーレーン)、インド、日本、台湾、パキスタン、米国が主な輸出先です。ドバイの再輸出貿易(例えば大型家電など、製造元からドバイへの輸入を経由して、さらに輸出する取引)は、UAE 全体の再輸出貿易のおよそ 80%を占めます。ドバイの再輸出先は、主にイラン、インド、サウジアラビア、クウェート、中国、アフガニスタンです。

3.1.1 港

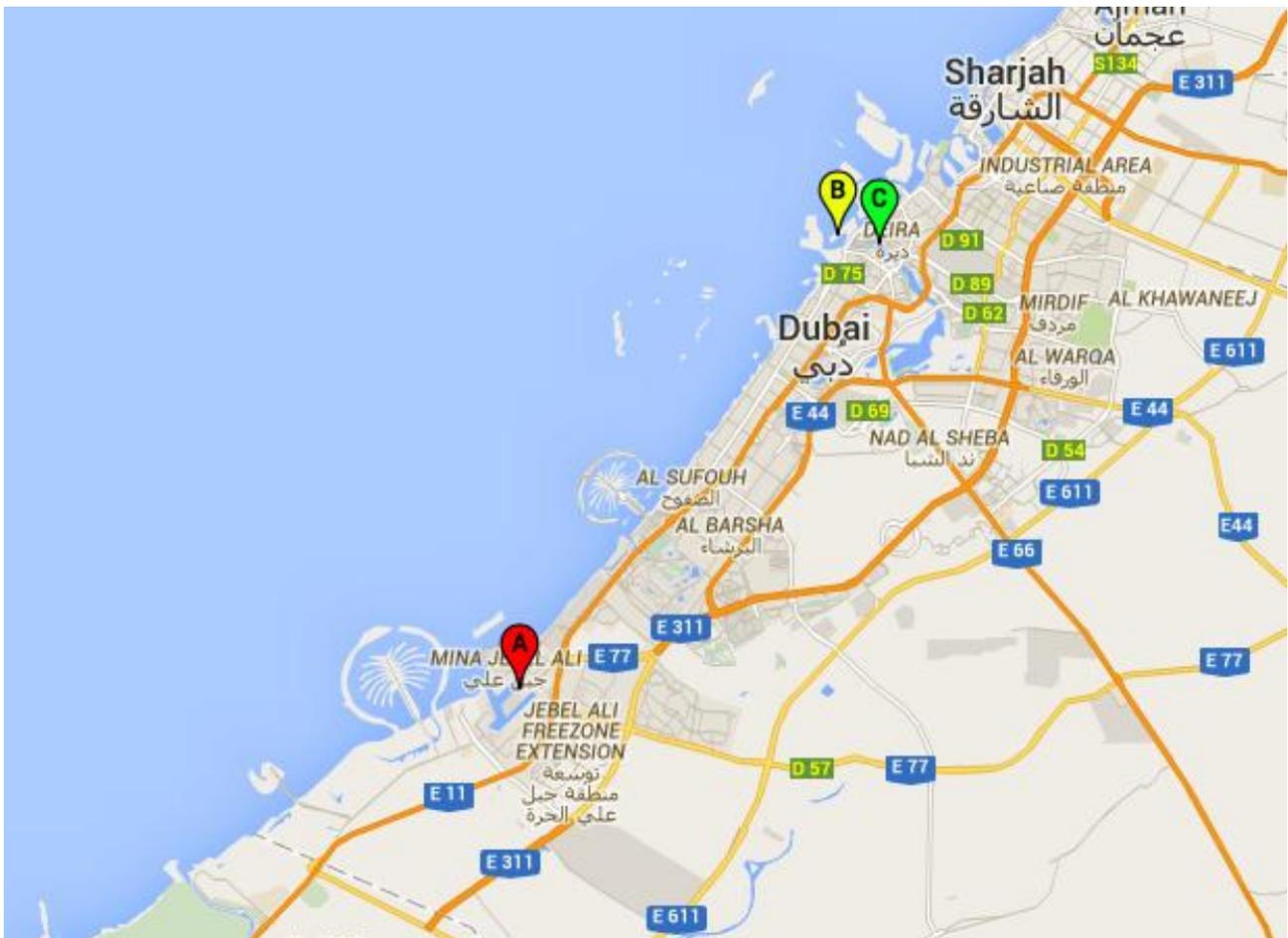
The National 紙で、UAE の商標権者保護団体の会長は「ドバイの港には毎年 1300 万のコンテナが到着するものの、ドバイ税関が調査するのはそのうち 3%ほどで、それが世界の平均である(後略)。」と述べています。

出典：The National 紙 2013 年 12 月 11 日号 (UAE)

<http://www.thenational.ae/uae/tougher-laws-needed-to-curb-counterfeit-trade-in-uae>

ドバイには三つの港があります。ジュベル・アリ港、ラーシド港、ドバイ・クリークのサイド港です。このうち最も規模が大きく、最も重要な港は、世界最大の人工港であり、中東最大の港でもあるジュベル・アリです。ラーシド港は、現在再開発中で、2018 年までに、貨物業務は全てジュベル・アリ港へ移される予定です。

ジュベル・アリ港、ラーシド港とドバイ・クリークにあるサイド港：

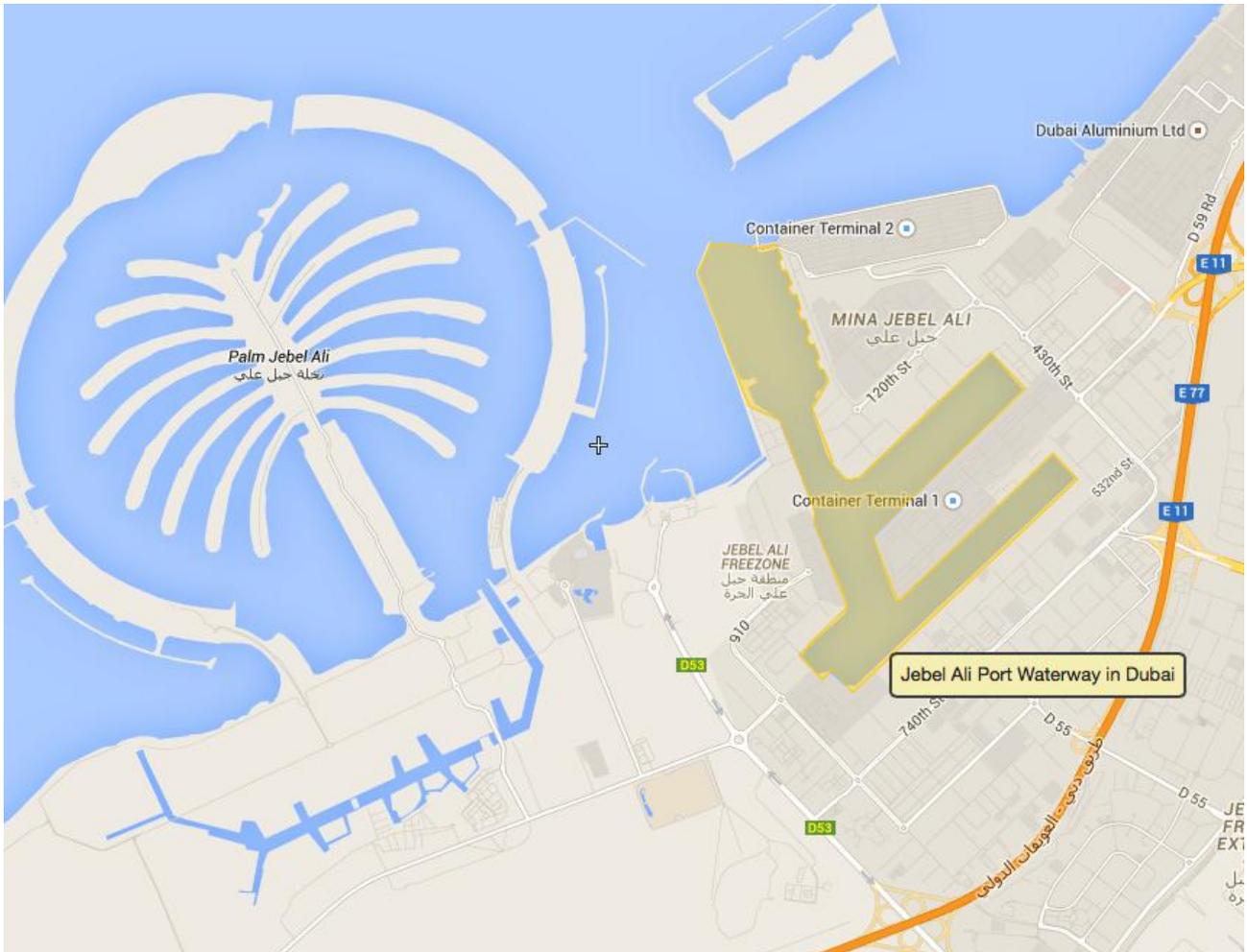


Map data ©2014 Google

- Jebel Ali Port
- Port Rashid
- Port Saeed and Dubai Creek

3.1.1.1 ジュベル・アリ

ジュベル・アリは、中東最大の港であり、国際貿易の主要拠点です。また、倉庫や工場が立ち並ぶ重要な工業地帯であるジュベル・アリ・フリーゾーン内に位置するため、この港へ降ろされる貨物は、UAE 国内への通関手続き無しで、別の船舶への積み替え、倉庫への保管、転売、再梱包が可能です。ジュベル・アリ港の場所はこの地図をご参照ください。



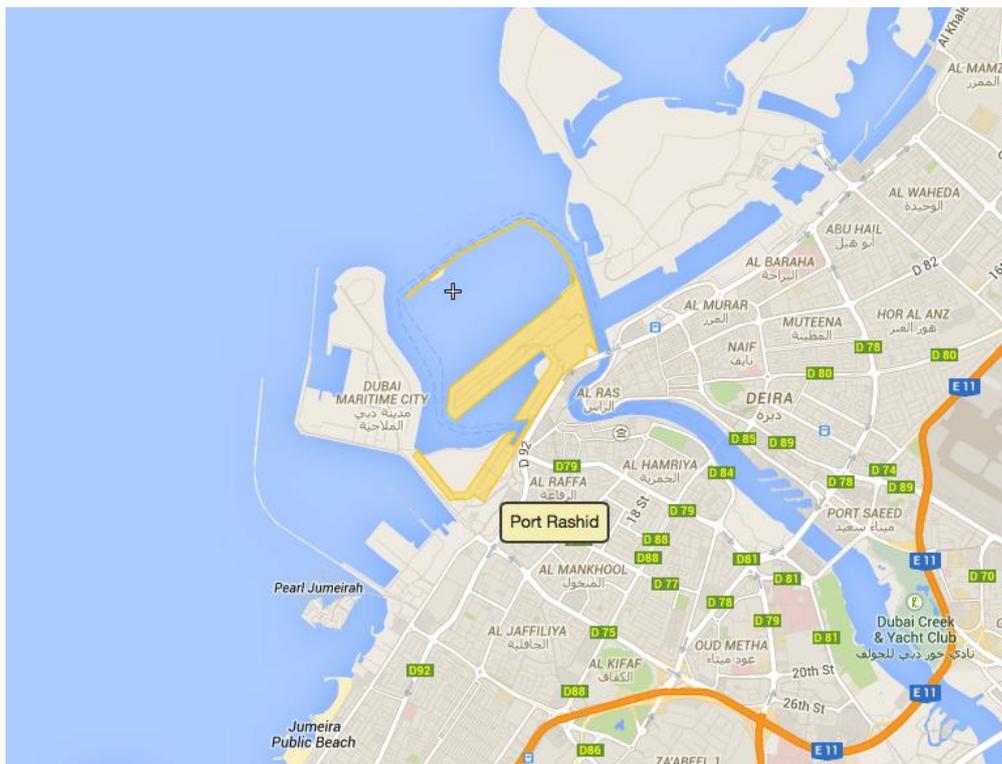
Map data ©2014 Google

3.1.1.2 ラーシド港

ラーシド港は現在再開発中で、2018 年までには全ての貨物業務がジュベル・アリ港へ移される予定です。ラーシド港は、クルーズ船のターミナルとなる予定で、現在、退役後のクイーン・エリザベス II オーシャンライナーが保管されています。

また、ラーシド港にはドバイ乾ドックも整備されています。乾ドックは、船舶の製造や修理に用いられます。その名の通り、乾ドックは、船舶を海から完全に隔離することを目的としています。詳しい情報は、ウェブサイト www.drydocks.gov.ae をご参照ください。

ラーシド港の位置：



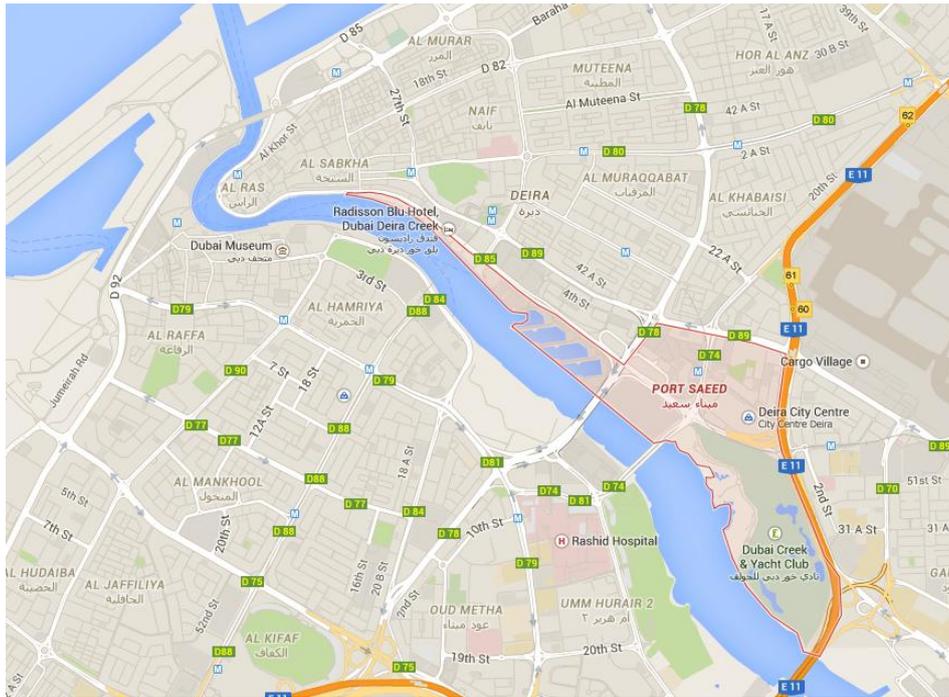
Map data ©2014 Google



3.1.1.3 ドバイ・クリークのサイド港

デira側のクリークでは、毎日、何十艘もの木製のダウ船が、直接路肩に荷物を積み降ろししている様子が見られます。波止場では、多くの船が貨物の積み込み作業をしています。警備は整っておらず、小さな税関事務所が二つあるだけです。これらの船は非常に小型で、近隣の国以外どこへも行けません。貨物の多くは、米国の貿易制裁にかかわらず、イランへ輸送されています。

サイド港とドバイ・クリークの位置および木製のダウ船が貨物を積み降ろす様子：



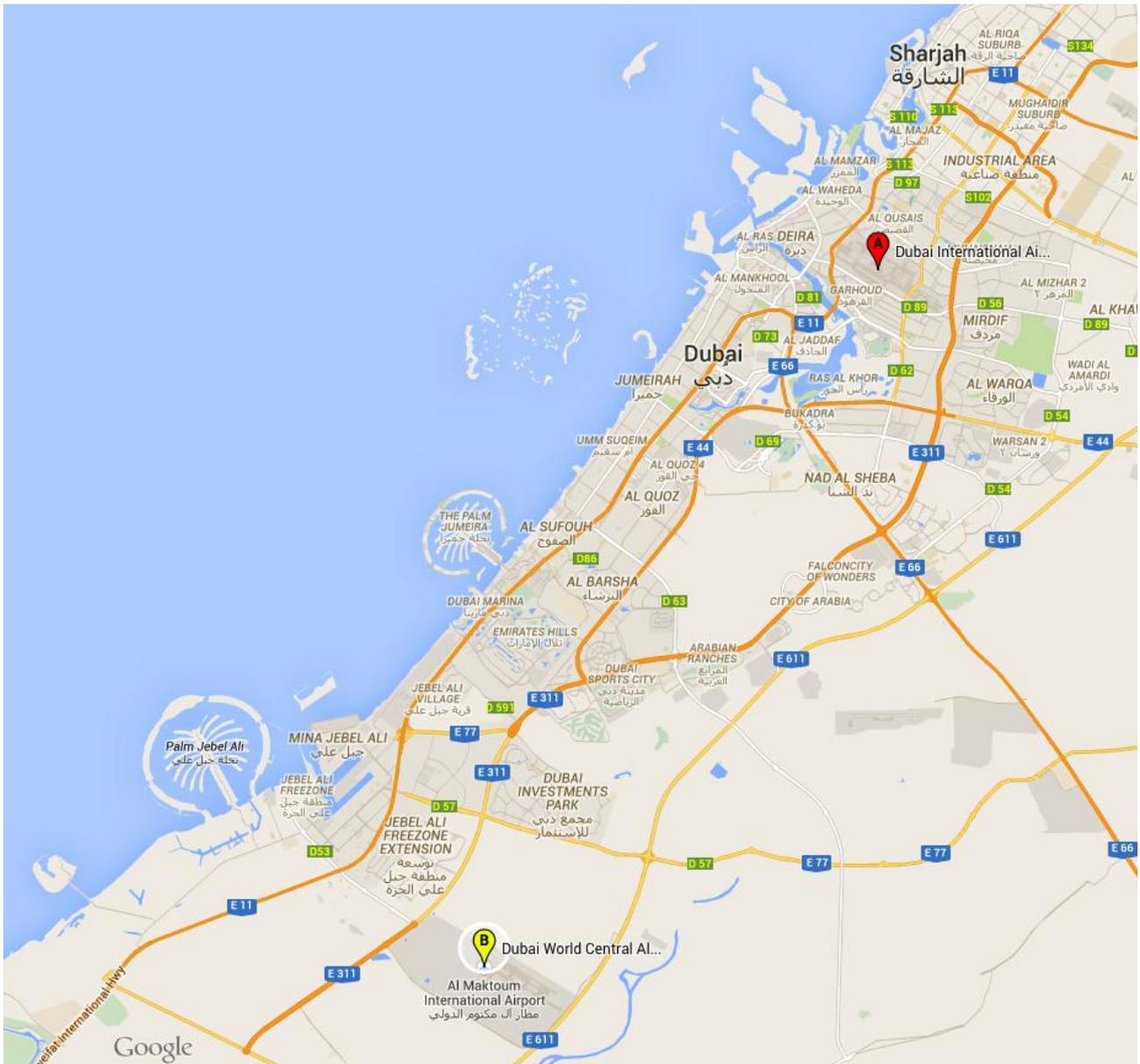
Map data ©2014 Google



3.1.2 空港

ドバイには二つの国際空港があります。ドバイ国際空港 (DXB)と「ドバイ・ワールド・セントラル」アール・マクトゥーム国際空港 (DWC)です。ドバイ国際空港は主要空港であり、エミレーツ航空の本拠地です。アール・マクトゥーム国際空港は、2013 年後半まで貨物専用空港でしたが、現在では少数ですが旅客便の発着もあります。

ドバイの二つの国際空港の位置:

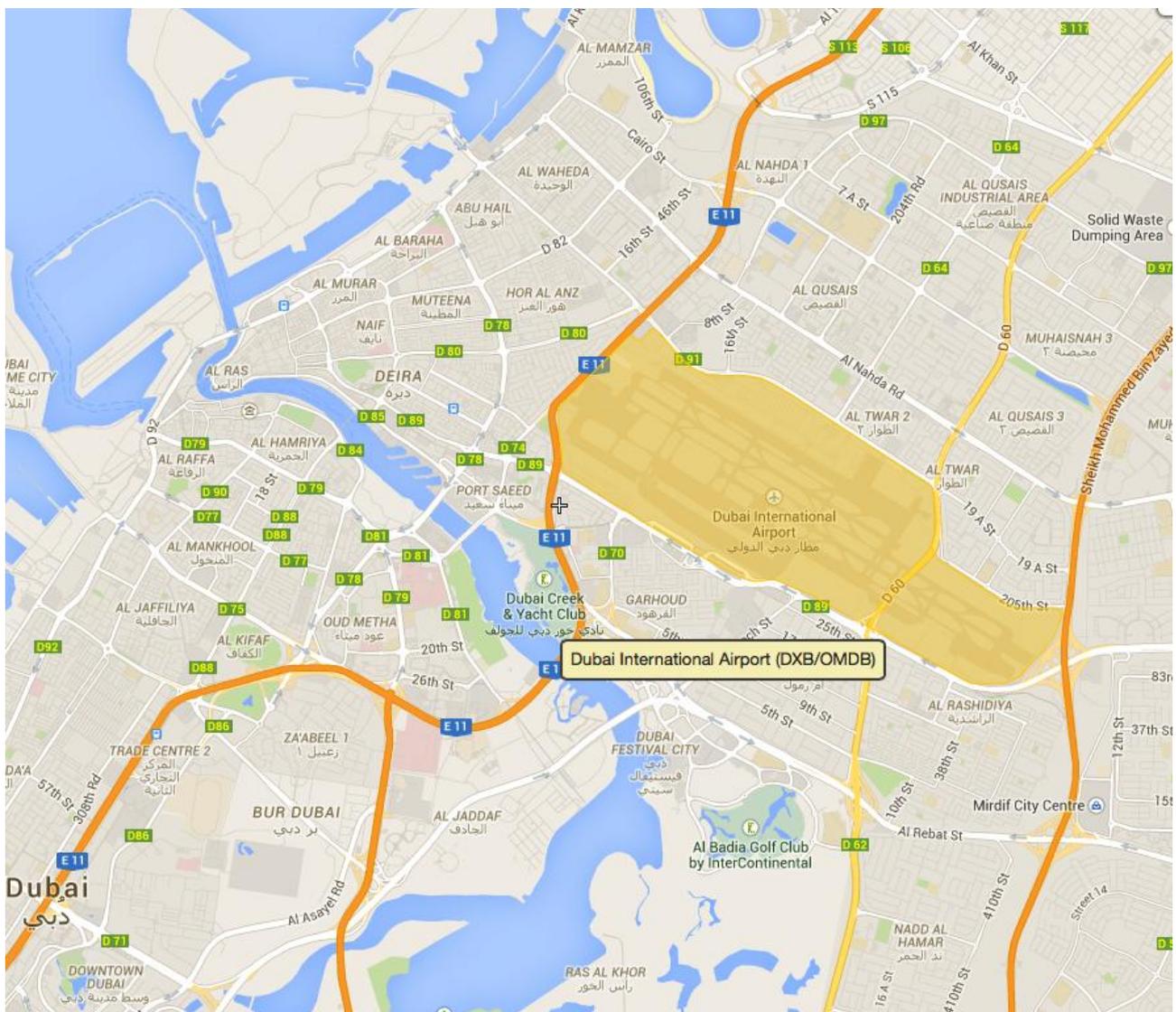


- 📍 Dubai International Airport
- 📍 Dubai World Central Al Maktoum

3.1.2.1 ドバイ国際空港

ドバイ国際空港は、現在年間 6600 万人の旅行者が利用し、8000 万人の利用に対応できるキャパシティーがあります。エミレーツ航空、フライドバイ航空の本拠地であり、2013 年からカンタス空港の第二拠点ともなっています。ドバイ国際空港には三つのターミナルがあります。第三ターミナルビルは世界最大の床面積を誇る建物で、世界最大の空港ターミナルです。2014 年 2 月現在、140 の航空会社が乗り入れ、週 7,000 便の旅客機が発着し、南極を除く世界各地 230 以上の空港と繋がっています。ウェブサイト www.dubaiairports.ae の情報によると、2014 年度の旅客数は 7000 万人を超え、国際線旅客数において世界首位に浮上しました。また、2013 年に取り扱い貨物量が 244 万トンに達し、世界で 5 番目に利用される貨物空港となっています。

ドバイ国際空港の位置:

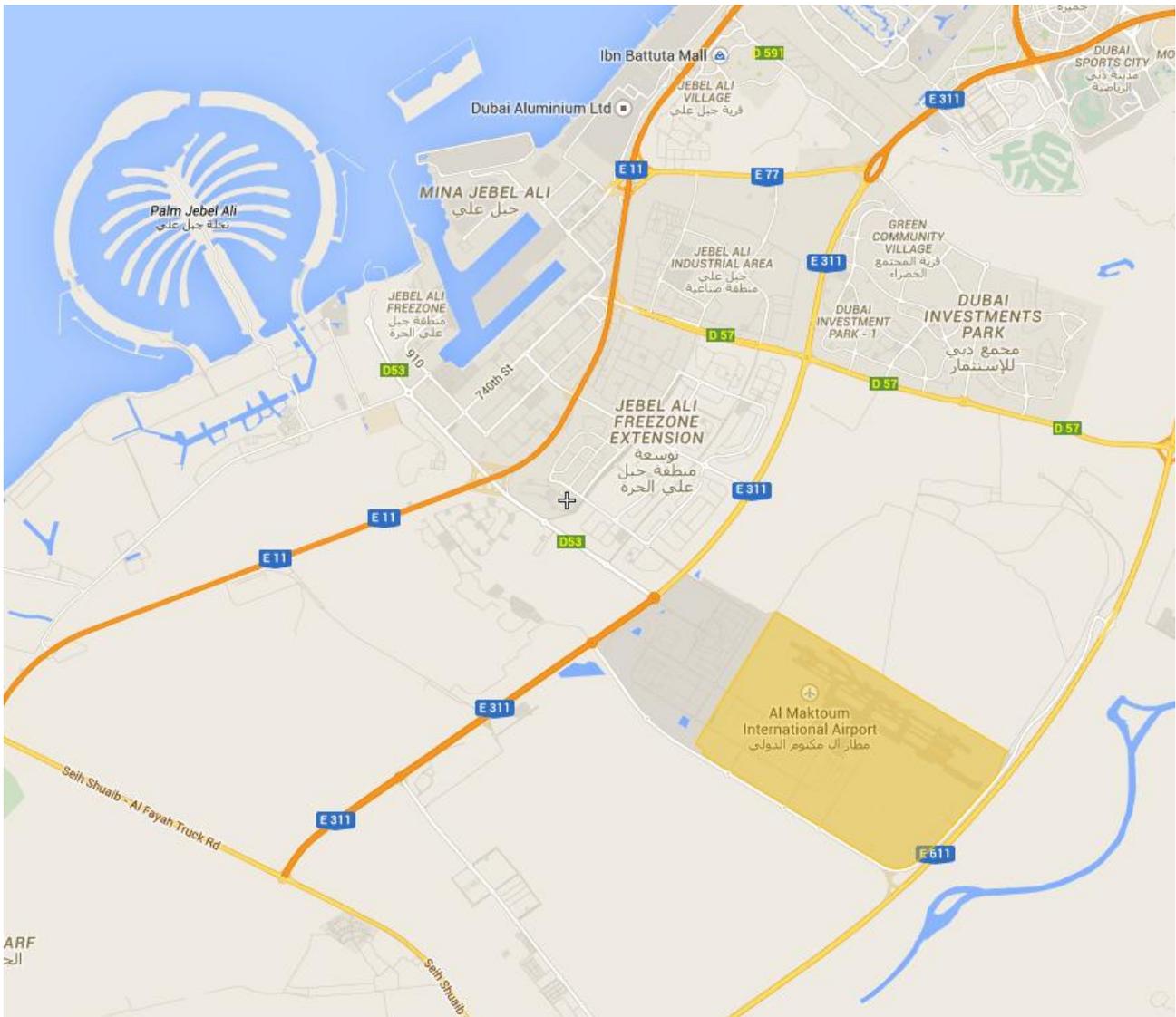


Map data ©2014 Google

3.1.2.2 ドバイ・ワールド・セントラル/アール・マクトゥーム国際空港

アール・マクトゥーム国際空港は、ドバイ・ワールド・セントラル・フリーゾーン内に位置するため、しばしばフリーゾーンの名で呼ばれることがあります。現在さらなる開発が進められ、完成すれば年間 1200 万トンの貨物、1 億 6000 万から 2 億 6000 万の旅客の利用に対応できる空港となる予定です。しかし、現在のところアール・マクトゥーム空港は比較的小さく、旅客機の発着はわずかです。2013 年以前は貨物専用空港で、旅客機の乗り入れはありませんでした。

アール・マクトゥーム空港の位置:



Map data ©2014 Google

3.1.3 陸の国境

ドバイ首長国は、南はアブダビ、北と東はシャルジャと国境を接しています。陸続きの国は他にありません。

3.2 ドバイのフリーゾーン

現在、ドバイには 20 を超えるフリーゾーンが存在します。それぞれのフリーゾーンには個別の管轄当局があり、それぞれの当局に会社を登録することができます。フリーゾーン当局は、外資企業に業務運営許可を与えます。各フリーゾーンは、1 つ以上の業種向けに設計されており、そのカテゴリーに該当する会社だけに限り運営許可 [例えばフリーゾーンエンタープライズ(FZE)など] を与えます。

フリーゾーンで会社を設立すると、所有者には以下の権利が与えられます。

- 100%外国資本 [一個人による設立が要件(スポンサーは必要無し)]
- 免税
- 不動産の所有が可能(製造、組み立て作業用地、倉庫、25 年リース)
- 公平な更改料
- 社内機密情報の保持
- ドバイでの銀行口座開設
- 複数の活動の制限無し
- 独自の判断による解散

フリーゾーンで設立された会社は「オフショア(外国企業)」とみなされるため、ドバイまたは他の首長国で取引をするには、代理人あるいは販売代理店を介さなければなりません。フリーゾーンの登録会社に関する情報は、通常、機密情報として厳重に管理され、フリーゾーン当局が情報を公開することはほとんどありません。そのため、フリーゾーン登録会社について調査したり、情報を入手したりするのは極めて困難です。つまり、フリーゾーン会社が不正商品や偽造品の取引をしていることが明らかであっても、その活動内容に関し詳しい情報を入手することは容易ではありません。

ドバイのフリーゾーン一覧:

1. ドバイ・エアポート・フリーゾーン
2. ドバイ・シリコン・オアシス
3. ジュベル・アリ・フリーゾーン
4. ドバイ・マルチ・コモディティーズ・センター
5. ドバイ・インターネット・シティー
6. ドバイ・メディア・シティー
7. ドバイ・スタジオ・シティー
8. ドバイ・アカデミック・シティー
9. ドバイ・ナレッジ・ビレッジ
10. ドバイ・アウトソース・ゾーン
11. エンパーク
12. インターナショナル・メディア・プロダクション・ゾーン
13. ドバイ・バイオテクノロジー・リサーチ・パーク
14. ドバイ・オート・ゾーン

15. ゴールド・アンド・ダイヤモンド・パーク
16. ドバイ・ヘルスケア・シティー
17. ドバイ・インターナショナル・ファイナンシャル・センター
18. ドバイ・ロジスティクス・シティー
19. ドバイ・マリタイム・シティー
20. ドバイ・フラワー・センター
21. インターナショナル・ヒューマニタリアン・シティー

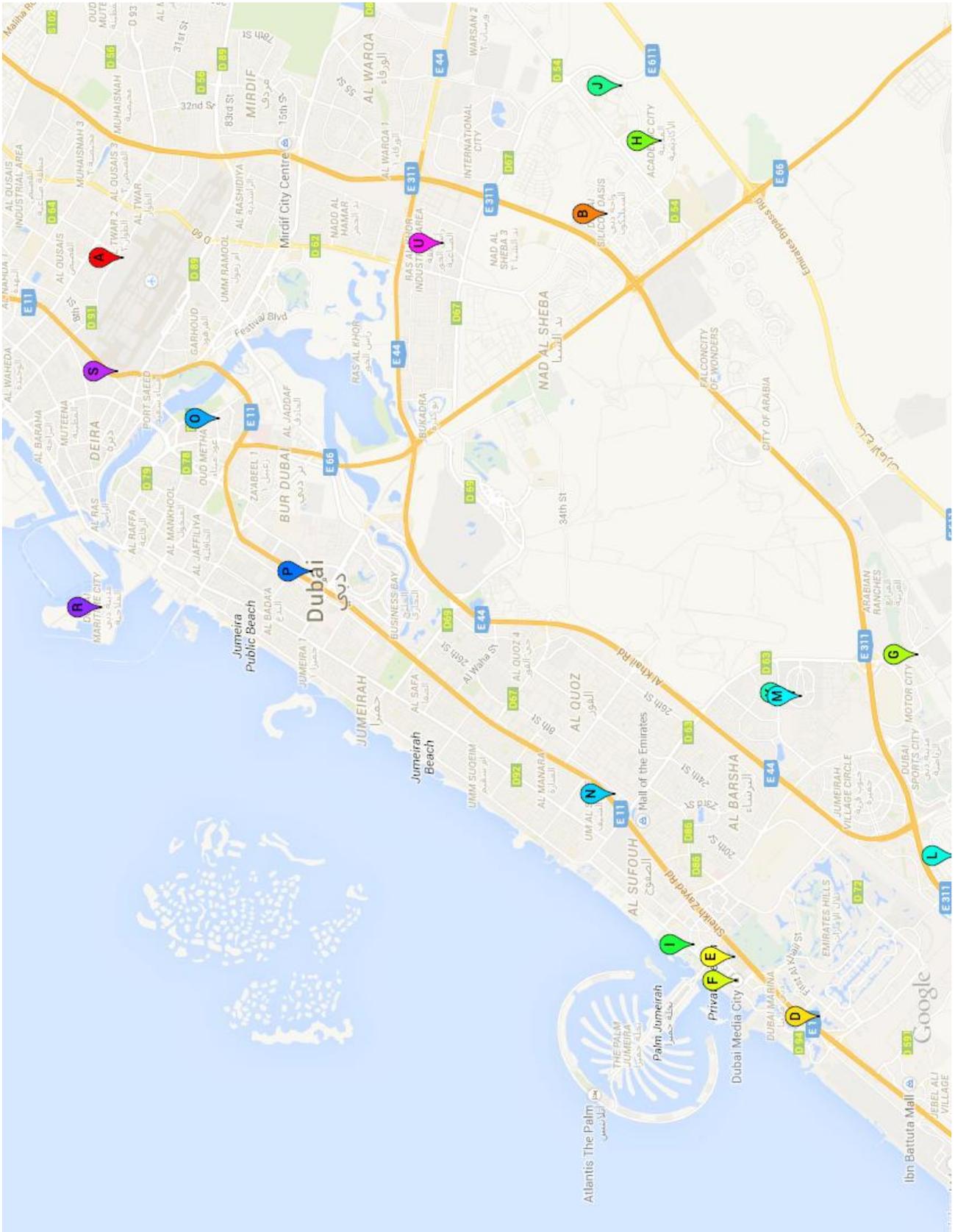
1. ドバイ・エアポート・フリーゾーン- <http://www.dafz.ae/en>
航空、医薬品、物流・輸送、宝飾、インターネット・テクノロジー分野の企業に営業許可証を交付。オフィス、工場の賃貸。ドバイ国際空港に隣接。
2. ドバイ・シリコン・オアシス - <https://www.dsoa.ae/en/>
IT テクノロジー、テレコム、コンピューター・ハードウェアおよびソフトウェア、電子機器、マイクロ電子工学分野の企業にサービス、工業、営業許可証を交付。ドバイ国際学園都市の近く、シェイク・モハメド・ビン・ザイード・ロード沿いに位置。
3. ジュベル・アリ・フリーゾーン - <http://www.jafza.ae>
製品の輸出入、流通などの貿易業、材料の輸入および製造などの工業、サービス業などの分野の企業にライセンスを交付。ジュベル・アリ港とアール・マクトウム国際空港の間に位置。
4. ドバイ・マルチ・コモディティーズ・センター(ジュメイラ・レイクス・タワー)- <http://www.dmcc.ae>
金、貴金属、ダイヤモンド、宝石、エネルギーなどの商品分野の企業にフリーゾーン・ライセンスを交付。
5. ドバイ・インターネット・シティー- <http://www.dubaiinternetcity.com>
ドバイの IT テクノロジー企業の拠点。ソフトウェアの開発、販売、販促、サービス、イーコマース、コンサルティング。シェイク・ザイード・ロードのほずれ、エミレーツ・ゴルフ・クラブの向かいに位置。
6. ドバイ・メディア・シティー- <http://www.dubaimediacity.com>
メディア、出版、音楽、映画、ニューメディア、芸能、放送などの分野の企業にライセンスを交付。アル・スフォー・ロードとシェイク・ザイード・ロードの間、パーム・ジュメイラの入り口に位置。
7. ドバイ・スタジオ・シティー- <http://dubaistudiocity.ae>
放送メディア・プラットフォームとマネジメント、メディア制作、音楽・エンターテインメント、制作サービスおよび芸能関係者向けライセンスを交付。撮影許可サービス局(LAS)が撮影許可を発行。
8. ドバイ・インターナショナル・アカデミック・シティー - <http://www.diacedu.ae>

大学、大学院、大学院研究課程を提供する高等教育施設の中心地。シェイク・モハメド・ビン・ザイド・ロードのはずれ、インターナショナル・シティーを過ぎた所に位置。

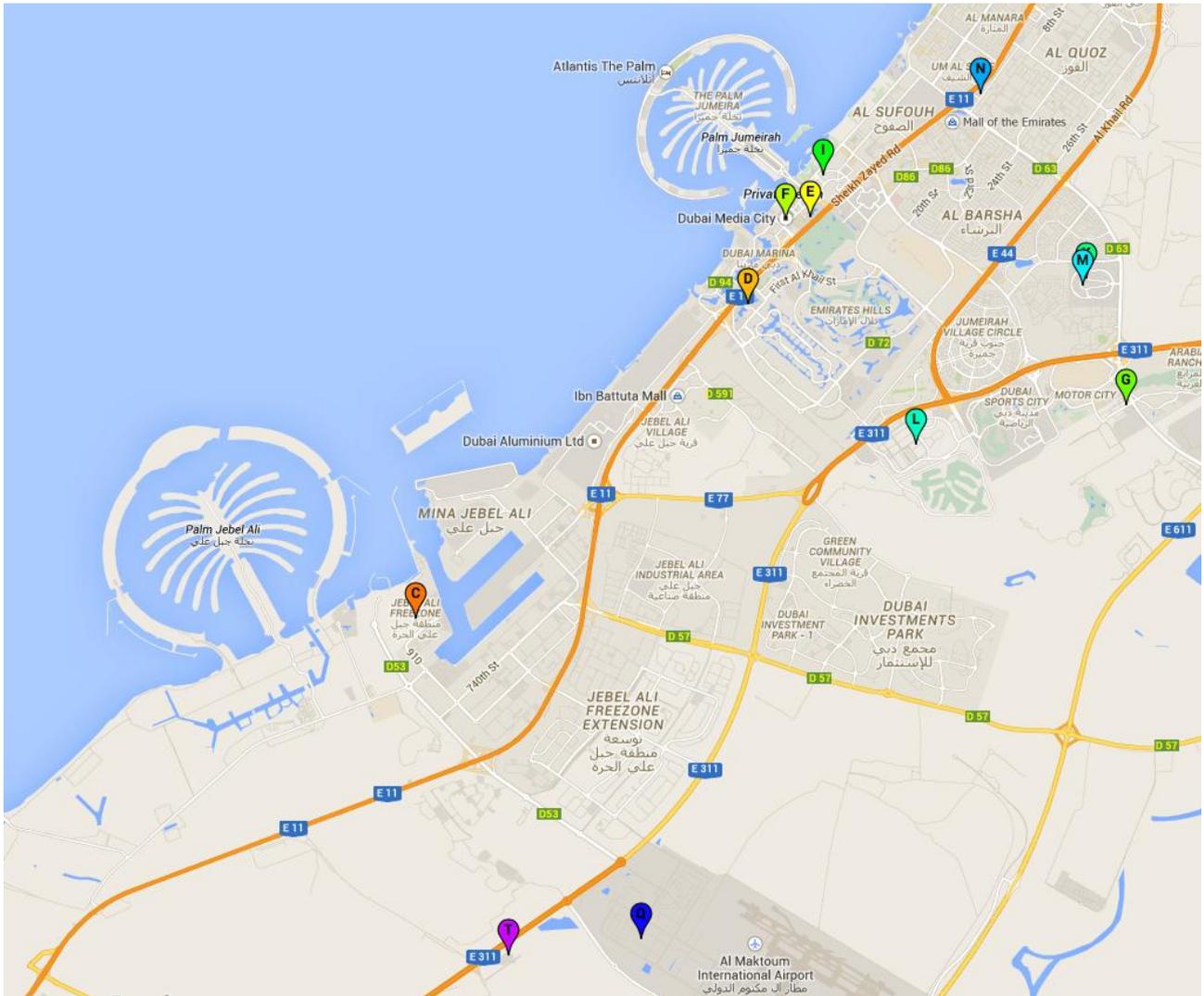
9. ドバイ・ナレッジ・ビルド - <http://www.kv.ae>
語学学校、人材コンサルティング会社、職業訓練センターの中心地。フリーランスおよびビジネスライセンスを交付。アル・スフォー2 とドバイ・メディア・シティーの間に位置。
10. ドバイ・アウトソース・ゾーン - <http://www.doz.ae>
金融、経理、給与処理、IT テクノロジー、エンジニアリング、デザイン、調査、開発分野の第三者サービスを提供する企業にライセンスを交付。ドバイ・メディア・シティーとナレッジ・ビルド近くに位置。
11. エネルギー & エンバイロメントパーク (ENPARK) - <http://www.enpark.ae>
持続・再生可能エネルギー、観光サービスを提供する企業へライセンスを交付。ドバイ国際学園都市の近くに位置。
12. インターナショナル・メディア・プロダクション・ゾーン - <http://www.impz.ae>
グラフィック・デザイン、出版、パッケージング分野の企業にライセンスを交付。工業施設、商業施設、住宅が混在。シェイク・モハメド・ビン・ザイド・ロード沿い、ドバイ・スポーツ・シティーの隣に位置。
13. ドバイ・バイオテクノロジー・リサーチ・パーク - <http://www.dubiotech.ae>
治療研究および処置、生物・科学分析並びに研究機器に携わる農業、林業、園芸およびライフサイエンス企業にライセンスを交付。アル・カイルとエミレーツ・ロードの間に位置。
14. ドバイ・オート・ゾーン - <http://www.ezw.ae/en/ducamz/dubai-auto-zone-ducamz.html>
DUCAMZ は、需要が高まっているアジアおよびアフリカ地域へ向けた車の再輸出を目的に設立された。このゾーンは、ドバイ・シティー内に位置する 100 万メートル四方の保税地域である。全ての空港や港へアクセスできる便利な立地で、自動車貨物船やトラックに積まれ、中東の近隣国を結ぶ高速道路により、様々な地域へ輸送される。
15. ゴールド・アンド・ダイヤモンド・パーク
ゴールド・アンド・ダイヤモンド・パークには空調の整った平屋の商業施設がある。この施設は 37 の小売店舗を擁し、店舗すべてに借り手がついている。また、118 の製造部門がある三階建てのビル (G+2) もあり、製造部門の規模は、310 平方フィートから 1,283 平方フィートまで様々である。
16. ドバイ・ヘルスケア・シティー - <http://www.dhcc.ae>
ドバイのヘルスケアの中核：二つの病院、90 以上の外来医療センターおよび臨床検査室。ドバイ・クリーク・パークとドバイ・グランド・ハイヤットの隣に位置する。

17. ドバイ・インターナショナル・ファイナンシャル・センター (DIFC) -
<http://www.difc.ae>
銀行・仲介、金融市場、資産管理、再保険、イスラム金融及び補助的金融サービスを提供する卸売業者向けのライセンスを発行。トレード・センター環状交差点と第一インターチェンジ(シェイク・ザード・ロード)の間に位置。
18. ドバイ・ロジスティクス・シティー
ロジスティクス地区 (Logistics District) は、世界規模のサプライチェーンの格差に取り組み、予測可能な運営を回転の速い物流サイクルで行うために設立された。ドバイ・ロジスティクス・シティーは、ドバイ・ワールド・セントラル内にある。ドバイ・ワールド・セントラルの専用複合施設により、DWC で運営する物流会社は、資本コストを最低限に抑えることができ、またロジスティクス地区では、短い製品ライフサイクルの管理が可能となる。
ロジスティクス地区は空路、水路、道路による物流ルートに直結しており、空港と海港を結ぶ専用ルートにより、港から空港まで、わずか 20 分で貨物を運ぶことが可能である。また、開業手続きも簡便で費用もあまりかからない。さらに、同地区の企業は、フリーゾーン・ライセンスまたは非保税ゾーン・ライセンスのいずれかを選ぶことができる。
19. ドバイ・マリタイム・シティー
ドバイ・マリタイム・シティーは、ラーシド港とドバイ乾ドックの間、人工半島上に位置し、アラビア湾に囲まれた世界で最も包括的な臨海施設である。
20. ドバイ・フラワー・センター
ドバイ国際空港内という戦略的な立地のドバイ・フラワー・センターは、21 世紀の花卉園芸産業の新たな振興拠点となっている。草花や生鮮品の国際取引が急速に成長するにつれ、輸送時間の短縮、品質の向上、収益の増加を可能にする最新の物流システムや技術の必要性が高まっている。
21. インターナショナル・ヒューマニタリアン・シティー -
<http://www.ihc.ae/default.asp>
国内外の人道支援機関の地方拠点。営利企業の新会社および子会社、並びに非営利団体の海外支部にライセンスを付与。アル・カイル・ロードのはずれ、ビジネス・ベイの隣に位置。

ドバイのフリーゾーンの位置：



Map data ©2014 Google



Map data ©2014 Google

- | | |
|--|---|
|  Dubai Airport Freezone |  Dubai Outsource Zone |
|  Dubai Silicon Oasis |  ENPARK |
|  Jebel Ali Freezone |  International Media Production Zone |
|  Dubai Multi Commodities Center Authc |  Dubai Biotech Research Park |
|  Dubai Internet City |  Gold & Diamond Park |
|  Dubai Media City |  Dubai Healthcare City |
|  Dubai Studio City |  DIFC |
|  Academic City |  Dubai Logistics City |
|  Dubai Knowledge Village |  Dubai Maritime City |
| |  Dubai Flower Centre |
| |  International Humanitarian City |
| |  Ducamz Customs Center |

3.3 ドバイのショッピングモール

ショッピングは、首長国民、外国人居住者、旅行者の楽しみです。ドバイの観光業は、ショッピングをドバイへの渡航目的として全面に打ち出し、ヨーロッパ、アジア、中東をはじめ世界各地から観光客を集めています。そのため、数々の大型ショッピングモール、巨大娯楽施設が建設され、今後もさらに開発が進む予定です。

ドバイ・モールは、現在ドバイ(世界)で最大のショッピングモールで、世界で最も高いビル、ブルジュ・ハリファに隣接しています。

ブルジュ・ハリファとドバイ・モール



下表はドバイの主なショッピングモールの一覧です。これらのショッピングモールで偽造品が販売されることはまずありませんが、侵害が疑われる不正商品が見つかることはあります。ここ数年、ドバイ・アウトレット・モールやドラゴン・マートで偽造品の販売があるとの情報も寄せられています。

	ショッピングモール	所在地	総賃貸面積	店舗数
1	ドバイ・モール	ダウンタウン・ブルジュ・ドバイ	350,000 m ² (377万平方フィート) 総店舗面積1,210平方フィート (112ヘクタール)	1200
2	モール・オブ・ジ・エミレーツ	アル・バーシャ	223,000 m ² (240万平方フィート)	520 ^[3]
3	ブルジュマン	パール・ドバイ		300
4	デイラ・シティー・センター	デイラ	121,000 m ² (130万平方フィート)	340

5	フェスティバル・ウォ ーターフロント・セン ター	ドバイ・フェスティバ ル・シティー		
6	イブン・バトウータ・ モール	シェイク・ザード通 り		
7	ラムシー・プラザ	ドバイ	37,000 m ² (40万平方フィート)	150
8	メルカト・ショッピン グモール	ジュメイラ	22,947 m ² (24.7万平方フィート)	140+
9	ワフィ・モール	シェイク・ラーシド通 り	80,000 m ² (86万 1,113平方フィート)	200
10	アル・グレア・シティ ー	デイラ		+200
11	センチュリー・モー ル・ドバイ	アル・マムザー	15万平方フィート (14,000 m ²)	
12	ドラゴン・マート	ドバイ・ハッタ通り	150,000 m ²	
13	ドバイ・マリーナ・モ ール	ドバイ・マリーナ		
14	ドバイ・アウトレッ ト・モール	ドバイ・アウトレッ ト・シティー		+240
15	グランド・シティー・ モール	アル・クオズ工業地区 4	7.5万平方フィート (7,000 m ²)	
16	グランド・ショッピン グ・モール	アル・クオズ工業地区 1	4万平方フィート (3,700 m ²)	20
17	ジュメイラ・プラザ	ジュメイラ・ビーチ通 り		
18	ジュメイラ・ビーチ・ センター	ジュメイラ・ビーチ通 り		
19	ジュメイラ・タウン・ センター	ジュメイラ・ビーチ通 り		
20	カーン・ムルジャン	ワフィ・シティー		
21	マグルーディー・セン ター	ジュメイラ・ビーチ通 り		
22	オアシス・センター	シェイク・ザード通 り		
23	サフィーア・モール・ ドバイ	アル・マムザー		
24	スーク・マジナット	アル・スフォアウ		
25	スーク・アル・バハー ル	ダウンタウン・ブルジ ュ・ドバイ		
26	タイムズ・スクエア・ センター	シェイク・ザード通 り		
27	アラビアン・センター	アル・カワニージ		200
28	ミディフ・シティー・ センター	ミディフ		

3.4 ドバイの主な商業地帯

一覧にあげたモールと違い、以下のセクションでは、ドバイで偽造品が頻繁に売られる地域を紹介します。卸売・小売市場と工業地帯に分けて解説します。

3.4.1 卸売・小売市場

3.4.1.1 デイラ

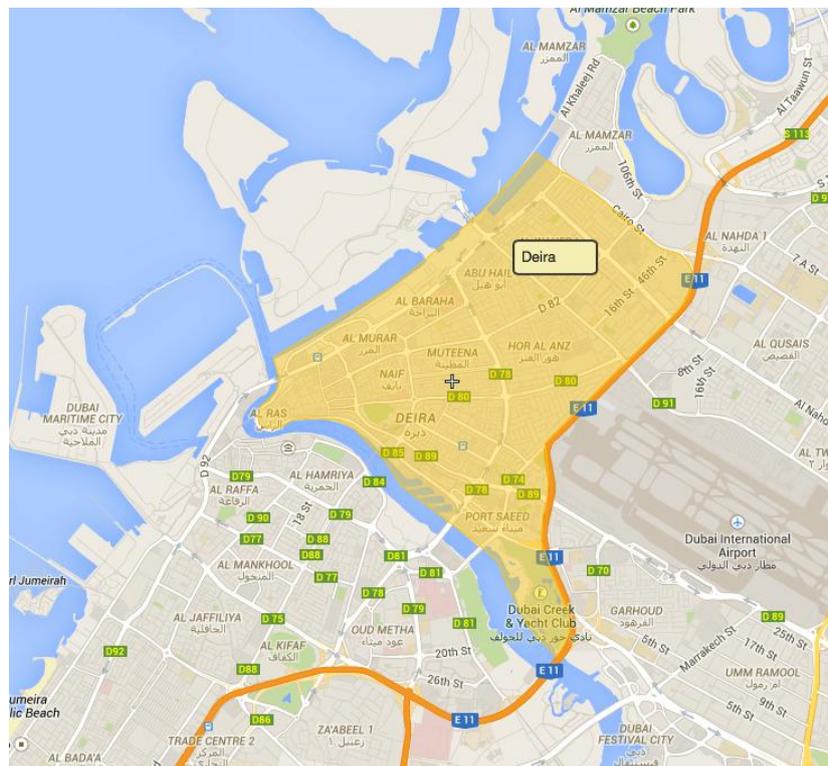
The National 紙は「(2014年)6月のラマダン初日以降、3,400万ディルハム相当の偽造品が押収された(中略)ドバイ警察の経済犯罪対策部の副部長によると、偽造品は、カラマやデイラのゴールド・スーク近くのアパートや倉庫から見つかった。警察は、ラマダン以降毎日およそ5件の捜査を行い、時計、衣料品、宝飾品、ペン、スカーフ、サングラスなどを押収している。これら不正商品は全てアジアの国々からの輸入品である。」と報じています。

出典：The National 紙 2014年7月18日号 (UAE)

<http://www.thenational.ae/uae/fake-watches-and-clothes-worth-dh34-million-seized-by-dubai-police>

デイラ(とバール・ドバイ)は旧ドバイの一部で、近代的な「新ドバイ」地域とは対照的な地域です。デイラは、カイロやカラチに近い雰囲気、細い路地に低い建物やスークが並び、地元での商業中心地として独自の文化を残しています。デイラはドバイ・クリークの北側に位置し、毎日何十艘もの木製のダウ船が、波止場で荷物を積み降ろす様子が見られます。

デイラの位置:



Map data ©2014 Google

3.4.1.1.1 アル・サブカ/カジュアル衣料と靴

アル・サブカ地区には、カジュアル衣料と靴の業者が集まり、特にアル・カビール通りとアル・サブカ通り(とそれらに続く道)沿いに多くの店舗が並んでいます。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



3.4.1.1.2 デイラの香水市

The National 紙は「経済開発局の報告によると、2014 年第 1 四半期に 1,100 万点以上の偽造品が押収され、最も多いのは、バッグおよび革製品で 11,623,073 点、その次に多いのが香水、車両部品である。」と報じています。

出典：The National 紙 2014 年 6 月 30 日号 (UAE)

<http://www.thenational.ae/uae/11-million-fake-items-seized-by-inspectors-in-first-quarter-of-year>

金市場(ゴールド・スーク)に隣接する地域は香水市場(パヒューム・スーク)として知られています。しかし、ゴールド・スークと違い、屋根も、はっきりとした境界線もなく、単にゴールド・スーク付近の通りに面した香水店の集まりです。中東、アフリカなどからの旅行者や商人が主な客です。多くの類似商品が並び、偽造品も見られます。下の地図と写真をご参照ください。

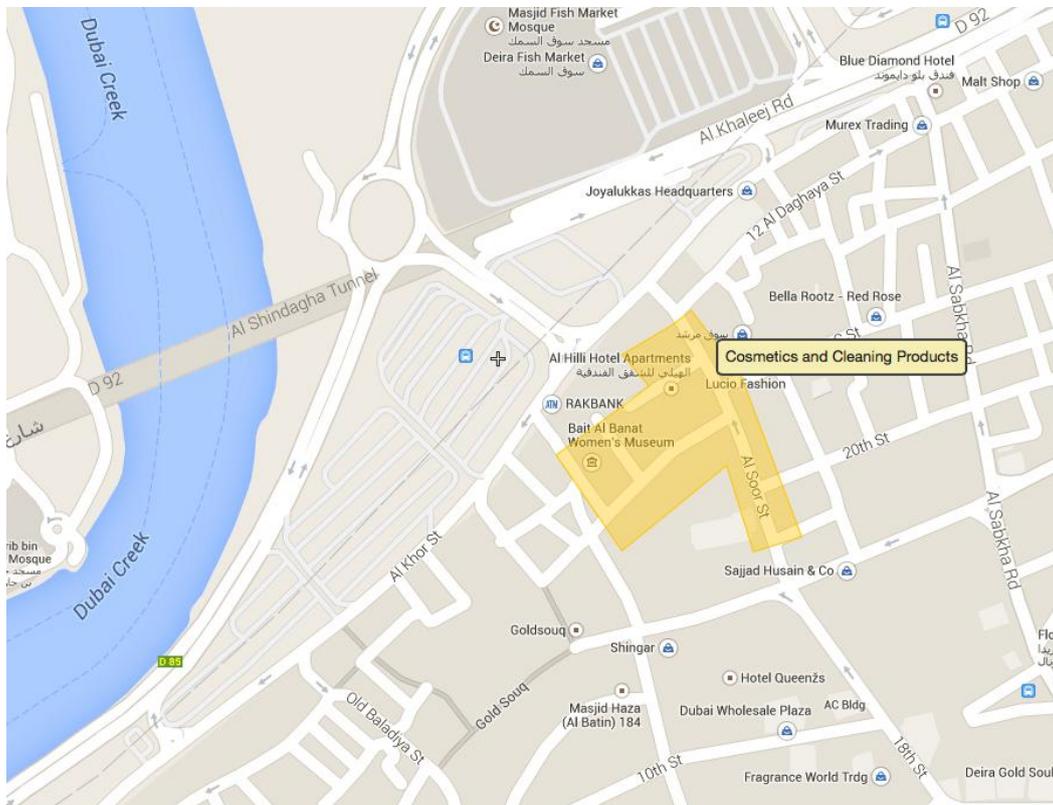


Map data ©2014 Google Imagery © 2014 Cnes/Spot Image, DigitalGlobe



3.4.1.1.3 アル・ダガヤノ化粧品と洗剤

化粧品や洗剤は、デイラのゴールド・スークの北東地区で売られています。アル・スール通り、32a、11a 沿いに、特に多くの店舗が並んでいます。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



3.4.1.1.4 ナイフ/道具店

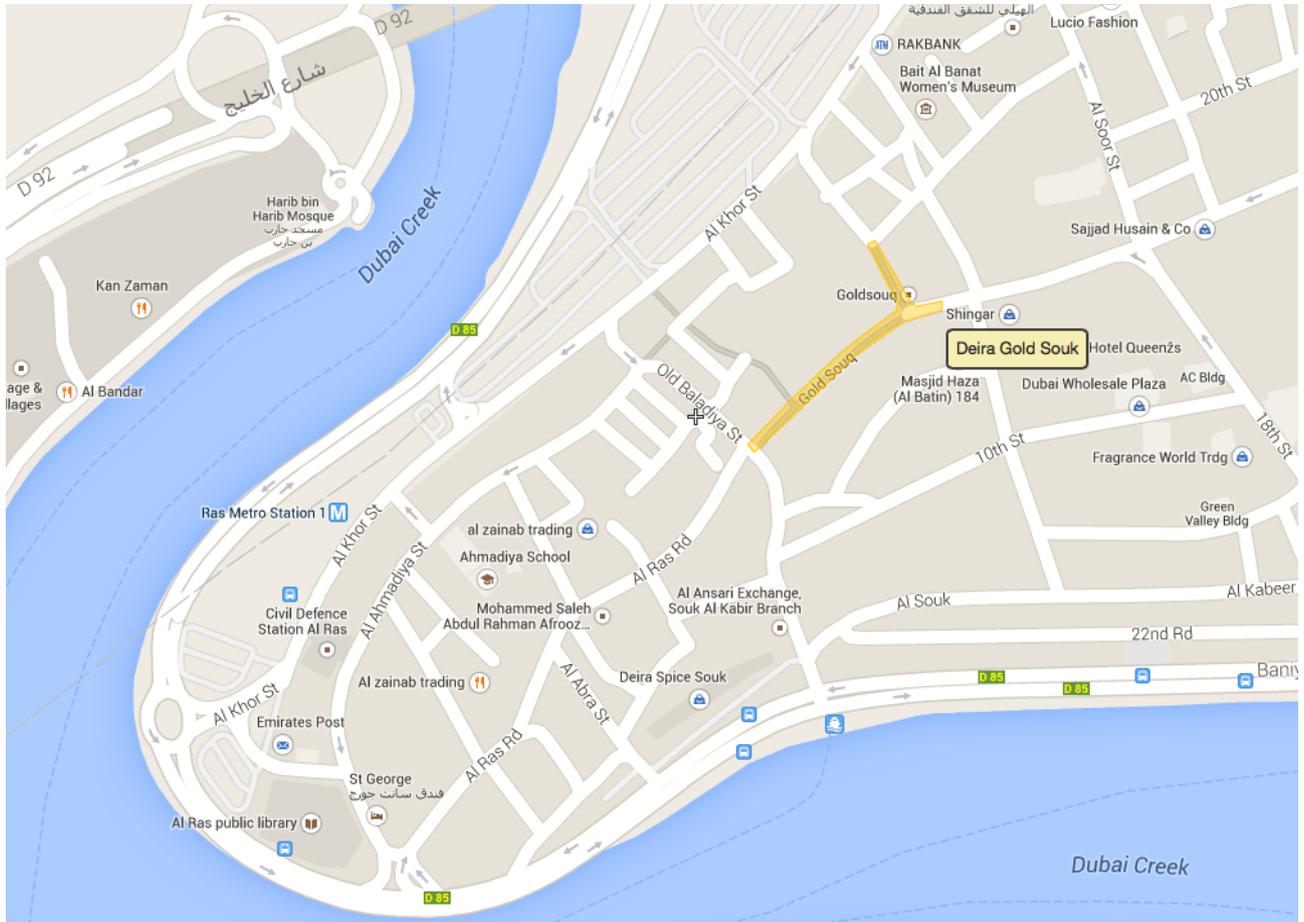
道具店は、バンヤス広場のすぐ北側の西ナイフ地区に多く集まっています。下の地図をご参照ください。



Map data ©2014 Google

3.4.1.1.5 デイラのゴールド・スーク / 宝飾品と時計

デイラのゴールド・スークは屋内で、旅行者はもちろん、現地や中東、アフリカからの多くの業者が利用しています。スークの回りには客引きが立ち、観光客を呼び止めては高級ブランド時計(偽造品)を勧めます。下の地図と写真をご参照ください。

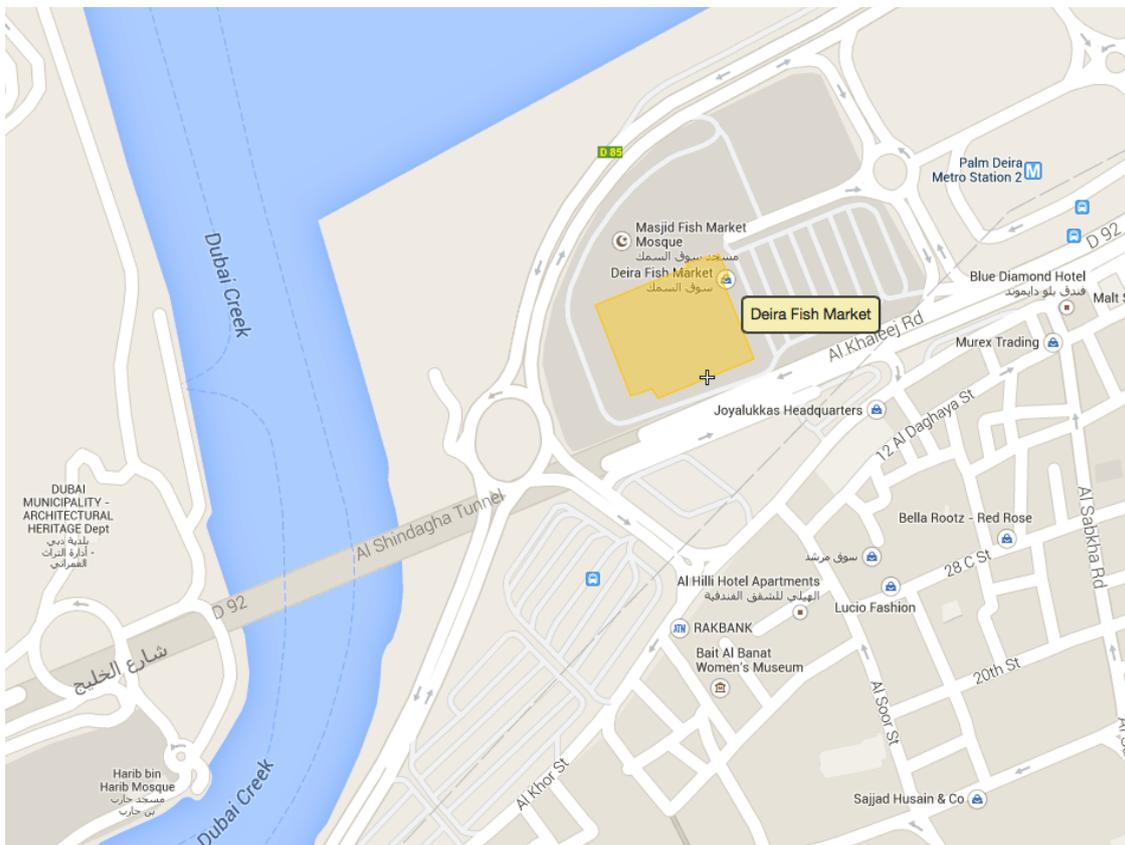


Map data ©2014 Google



3.4.1.1.6 デイラ・フィッシュ・マーケット / 飲料品と食品

デイラ・フィッシュ・マーケットでは、果物、野菜も売られていますが、屋内は、飲料品および食品の卸売店が集まっています。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



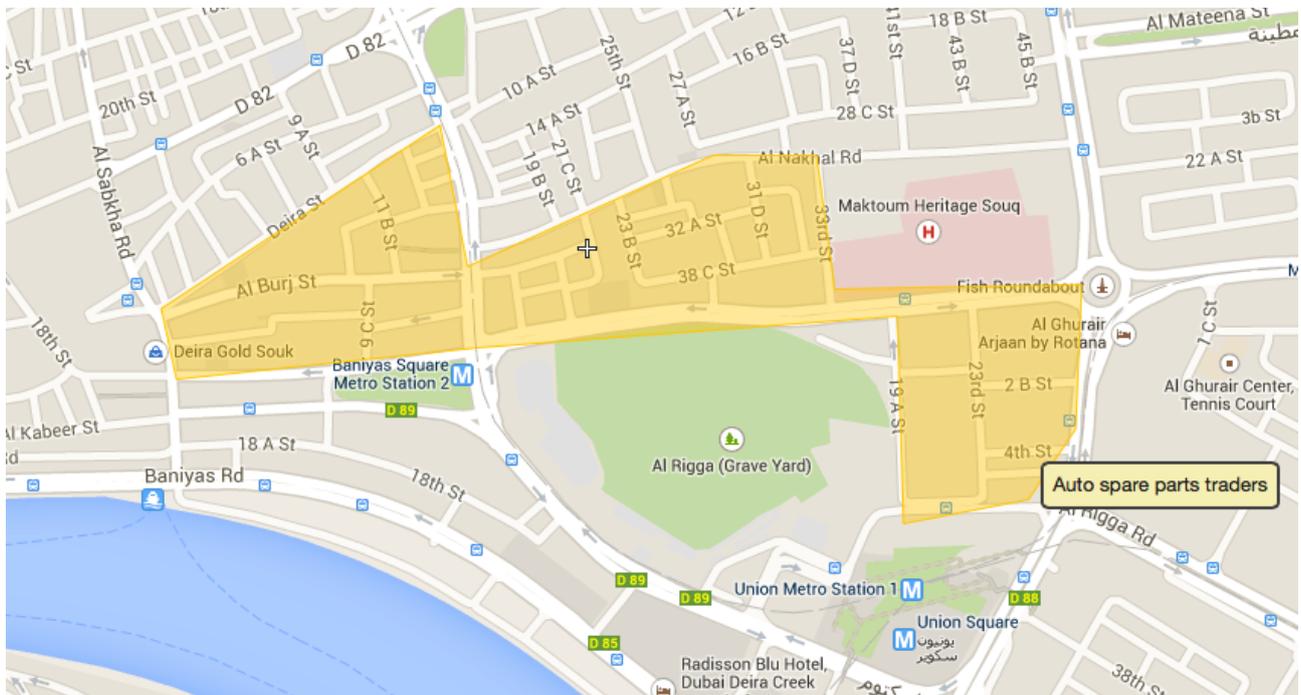
3.4.1.1.7 自動車部品

Gulf News 紙は「密告を受けたドバイ政府は、300万ディルハム（82万米ドル）相当の偽造車両部品を6万点以上押収し、その多くが大手日本メーカーの模倣品だったと経済開発局（DED）の商業コンプライアンスおよび消費者保護セクター（CCCP）が発表した。トヨタ、日産、三菱など大手メーカーの偽造品の他、これらメーカーのロゴの入ったポスター16,000枚、ロゴを印刷するための専用印刷機も押収された。」と報じています。

出典：Gulf News 紙 2012年11月18日号

<http://gulfnews.com/business/general/fake-auto-parts-worth-dh3m-seized-in-dubai-1.1106692>

デiraのフィッシュ・ラウンドアバウト横のアル・マクトゥーム病院通りに隣接する地域では、自動車部品が売られています。この地域では、偽造タイヤや偽造部品が現地業者によって売られていることが分かっています。これら業者の多くは、中国から偽造品を仕入れています。下の地図をご参照ください。

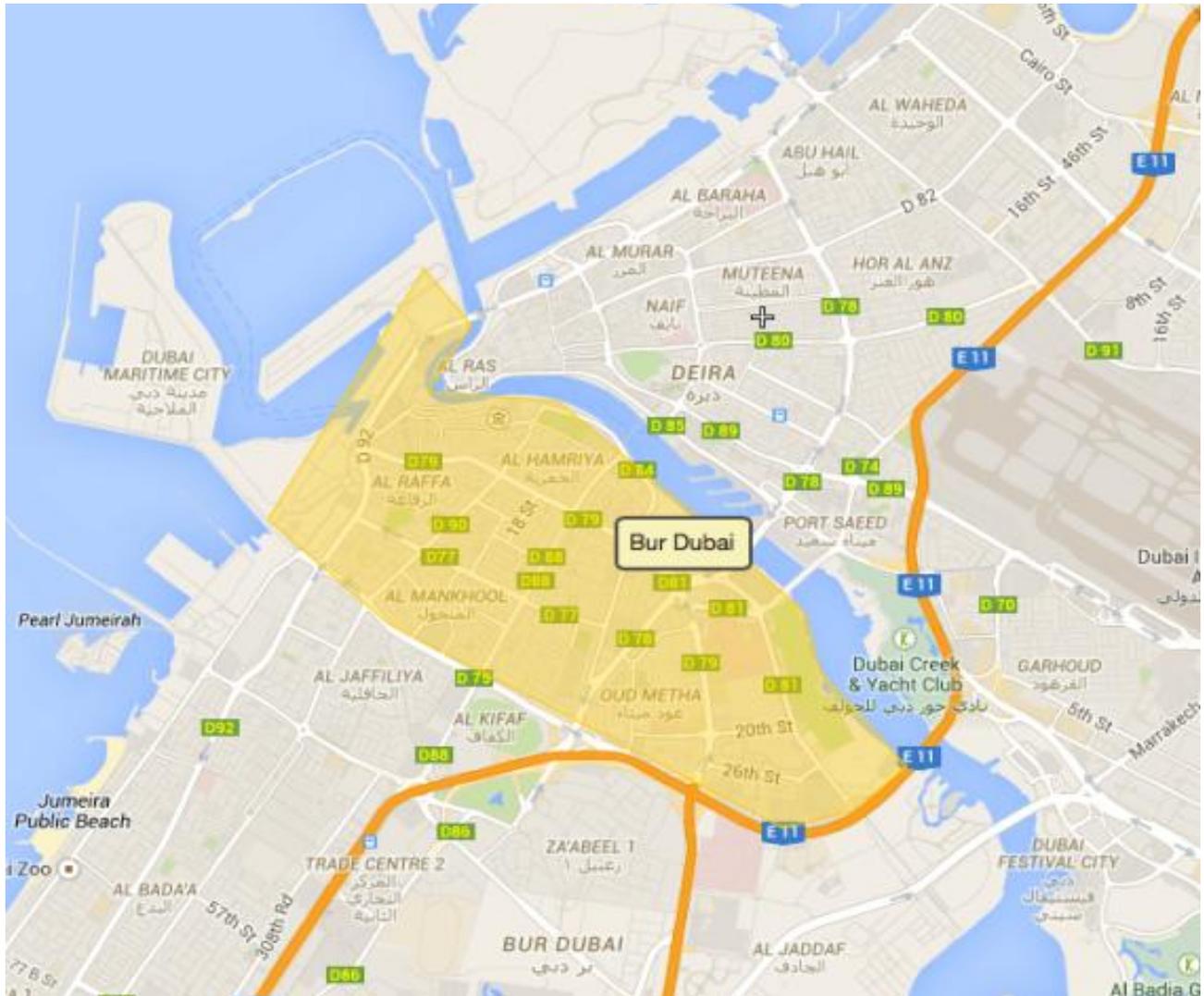


Map data ©2015 Google

3.4.1.2 バール・ドバイ

バール・ドバイは、クリークの南側に位置する旧ドバイ地区です。デイラと同様、細い路地に様々な商品を販売する店舗が並んでいます。主に電子機器、時計、織物と観光スークが有名です。

クリークの南側のバール・ドバイ地区:



Map data ©2014 Google

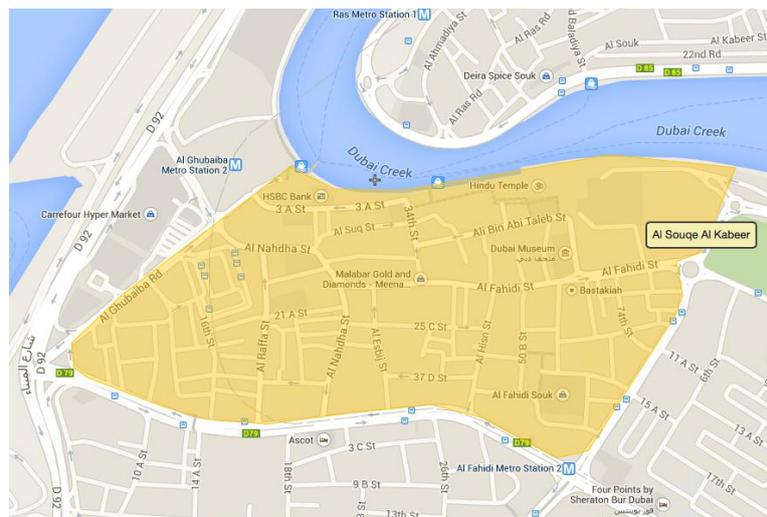
3.4.1.2.1 アル・スーク・アル・カビール／電子機器

The National 紙の最近の報告によると「警察は 2 週間のうちに、45 人を逮捕するとともに、何万点もの偽造携帯電話を押収した。6 万点の携帯電話には、iPhone や Samsung Galaxy などの模倣品が含まれ、本物であれば総額 4,800 万ディルハム(1300 万米ドル)に相当し、それらは、本物そっくりの包装箱にも入れられ、本物との見分けが付き難い。これら携帯電話は、各部品別々に密輸入された後、組み立てられ、梱包される。逮捕者の 1 人は、組立工場の運営者と見られている。『これらはバラバラの状態で見られる。キーボード、スクリーン、電池、ロゴシールでさえもバラバラの状態だ。』[ドバイ警察担当者]」とのこと。

出典：The National 紙 2014 年 8 月 25 日号 (UAE)

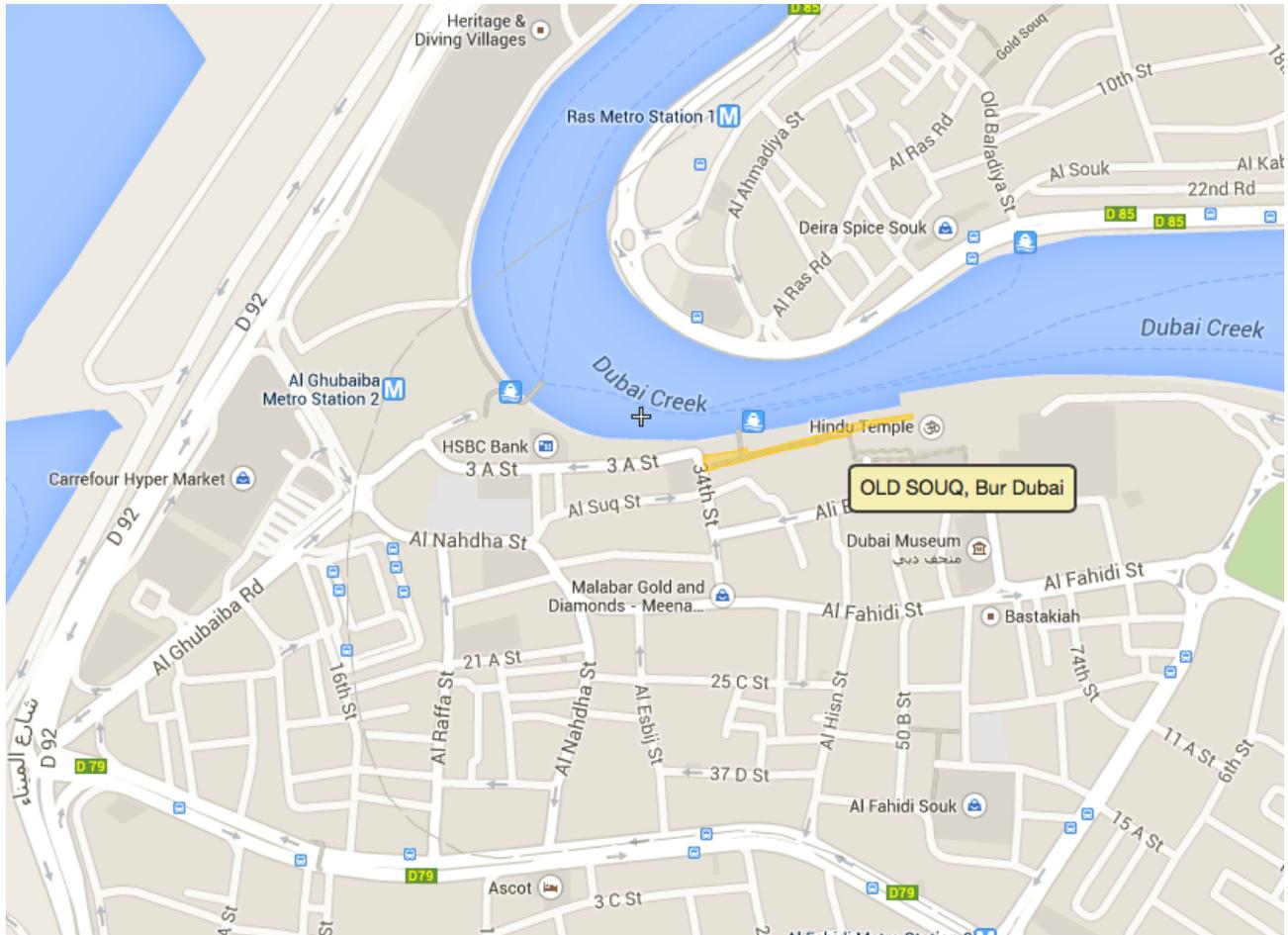
<http://www.thenational.ae/uae/courts/60000-fake-phones-seized-in-dubai-since-start-of-august>

アル・スーク・アル・カビール地区には、電子機器店が集まっています。特にアル・ラファ通り、アル・ファヒディ通り、アル・ナーダ通り、アル・エスビジ通りに店舗が並んでいます。下の地図と写真をご参照ください。

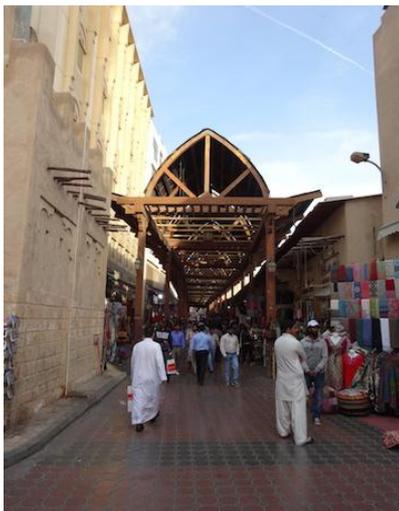


3.4.1.2.2 バール・ドバイ・スーク「旧スーク」／織物—観光スーク

バール・ドバイ・スークすなわち「旧スーク」はクリークに隣接した屋内市場で、主に織物が売られていますが、土産物や香辛料も売られています。顧客のほとんどが旅行者です。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



3.4.1.2.3 アル・スーク・アル・カビール/時計

旧スークの入り口から電子機器地区までの道沿いには、多くの時計店が並んでいます。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



3.4.1.3ドラゴン・マート

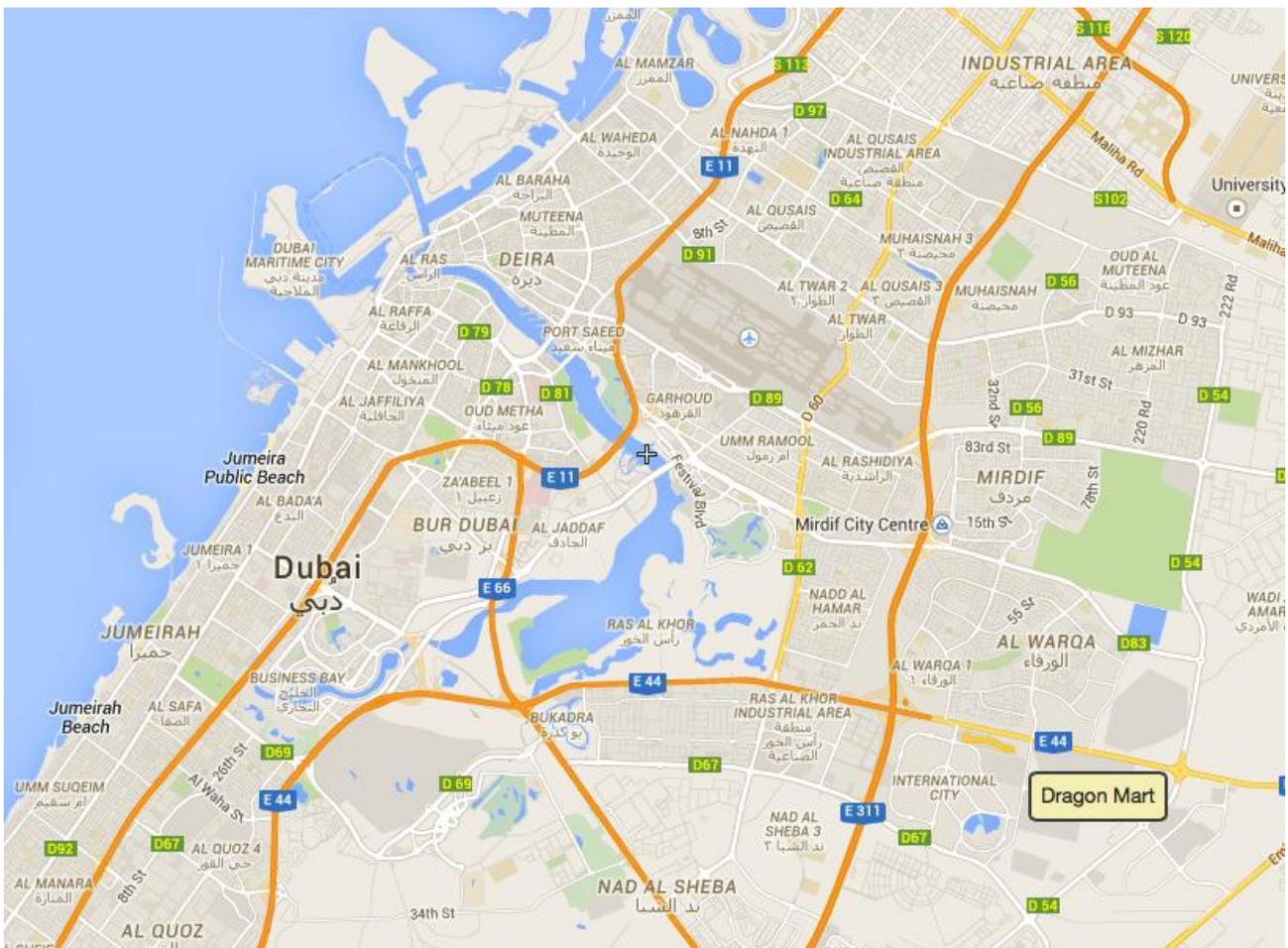
ドラゴン・マートは、中東および北アフリカ地域へ中国製品を供給する玄関口で、中国の貿易商や製造業者にとって、これら広大な地域の需要に応えるための貴重な足がかりとなっています。ここは、中国本土の次に大きな中国製品の貿易拠点とされています。ドラゴン・マートに出店する業者は全て、ジュベル・アリ・フリーゾーンにフリーゾーン企業として登録しています。

ドラゴンの形を模した 15 万平方メートルの建物には 3,950 の卸売・小売店が並び、家電、文具、事務用品、電信機器、照明器具、家財道具、建設資材、家具、玩具、機械、衣料、織物、履物など様々な商品が販売されています。

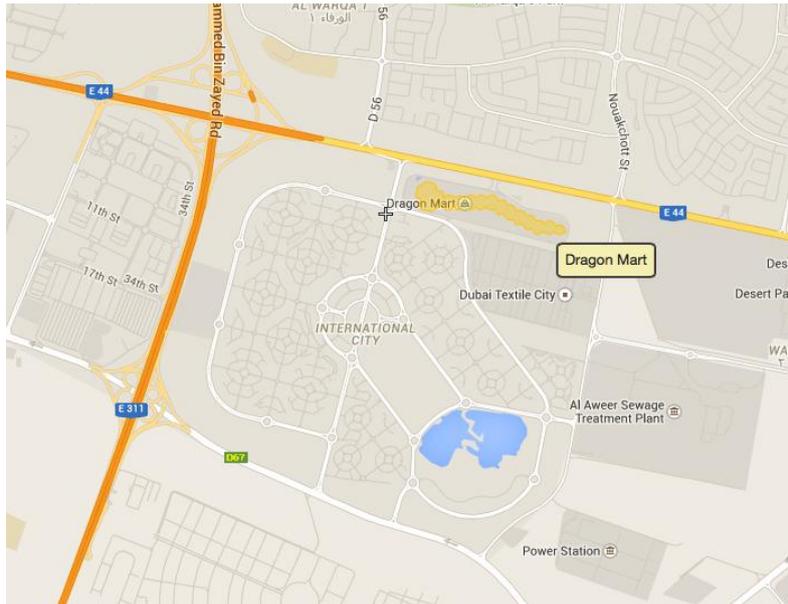
ドラゴン・マートは、ドバイの都心部から少し離れた、ハッターアル・アイン・ハイウェイに面しています。ドラゴン・マートは、建物からわずか 200 メートルに位置する 8 つの設備の整った倉庫につながっており、業者は、総面積 30,000 平方メートルの倉庫施設を利用することができます。

現在、ドラゴン・マートは大規模な拡張工事が計画されています。

ドラゴン・マートの位置:



Map data ©2014 Google



Map data ©2014 Google
外から見たドラゴン・マートの入り口



ドラゴン・マートは、AからJまでのセクションに分かれています。
これらセクションは、販売されている商品でおおまかに分けられており、下記の順番で入り口から並んでいます。それぞれのセクションで販売されている商品一覧と、建物内のレイアウト、個々の店舗の写真を以下に紹介します。

AA - ファッションとスポーツウェア

AB - 総合的な商品

BA - 電信・電子機器

EA - 機械

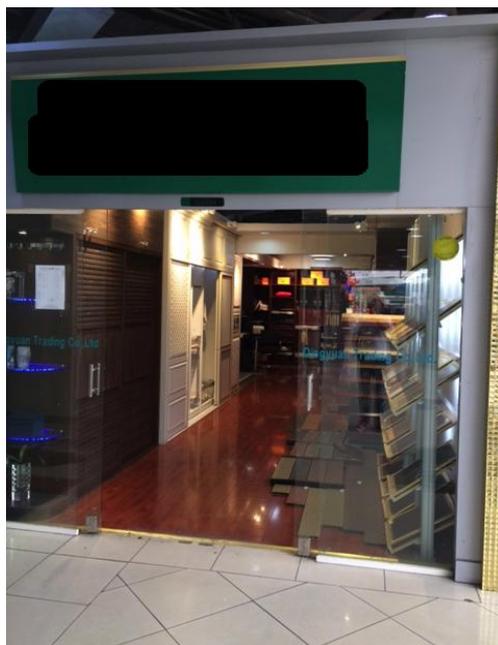
EB - 機械、照明器具

FA - 照明器具、スポーツ娯楽用品、健康用品、一般商品、食品

FB - 照明器具、家具、家電



GA - インテリア、建設資材、衣料品、生地



HA - 生地、衣料品

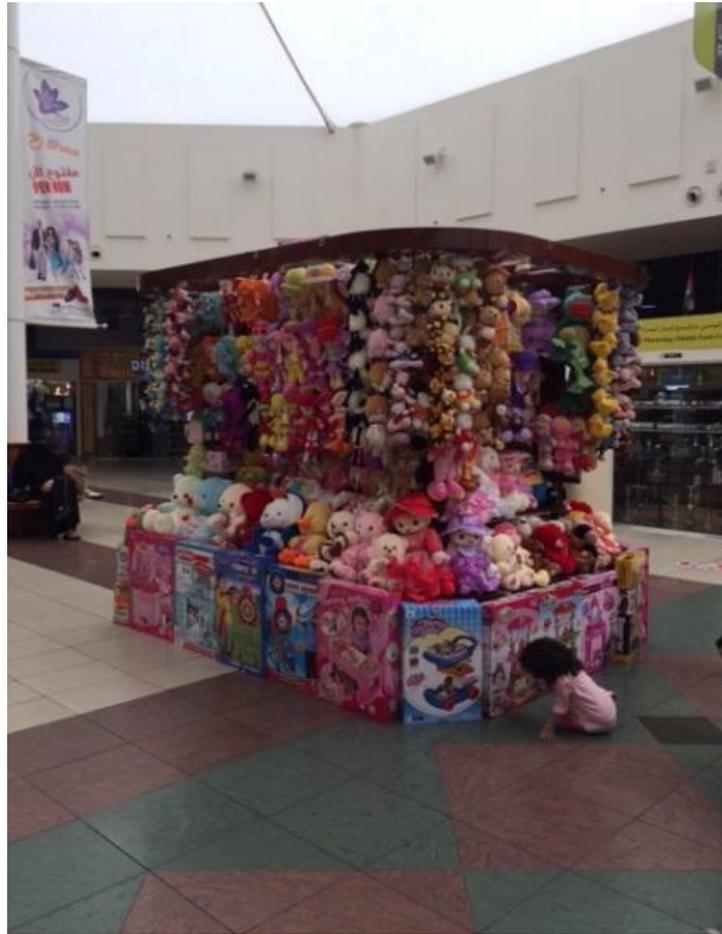
HB - 織物

IA - 靴および鞆



IB - 一般製品

JA - 化粧品、玩具、靴、芸術品、工芸品、装飾品、一般製品



JB - 家具



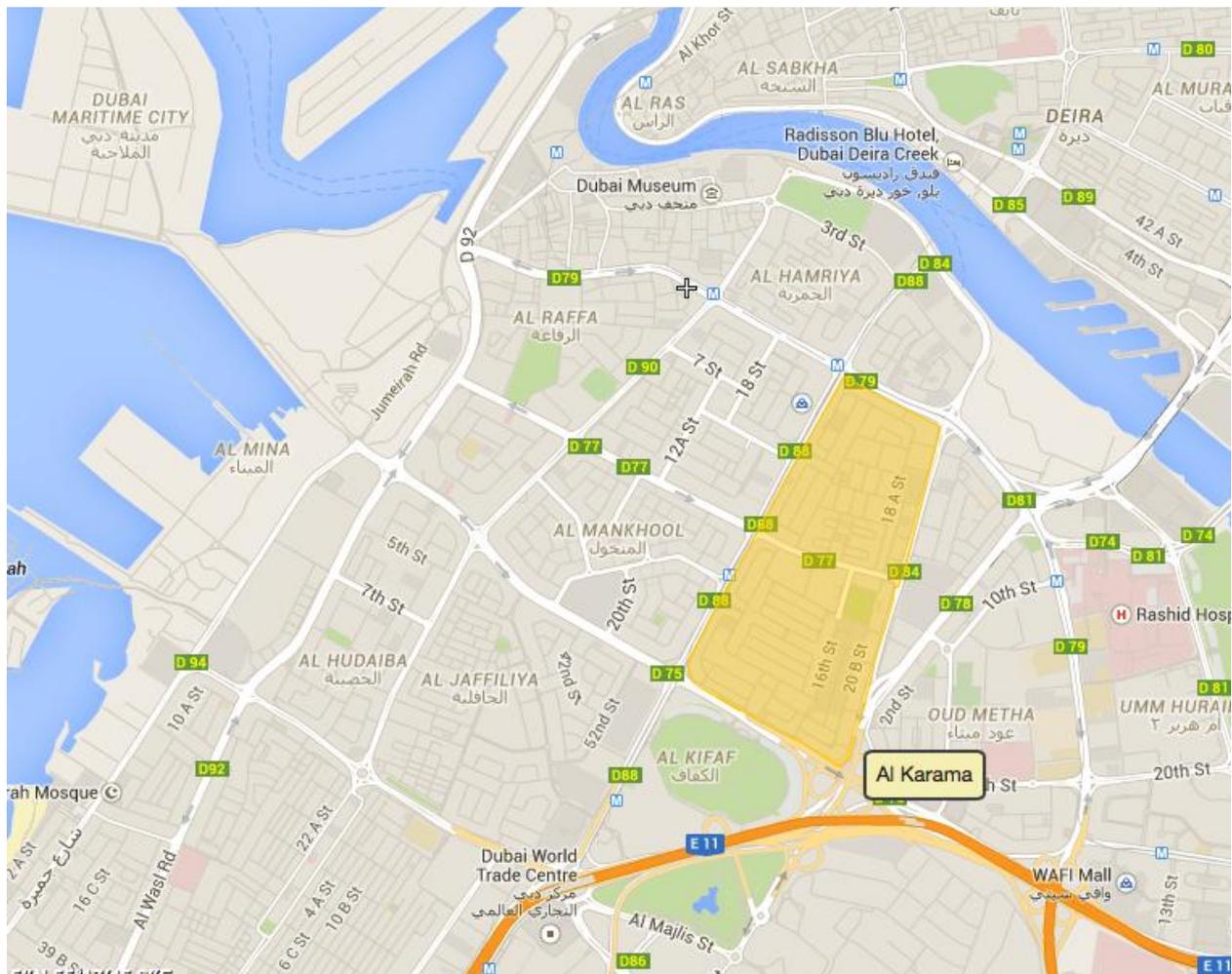
3.4.1.4アル・カラマ

The National 紙は「2014年6月29日のラマダン初日以降、3,400万ディルハム相当の偽造品が警察によって押収された。ドバイ警察の経済犯罪対策部の副部長によると、偽造品は、カラマや、デイラのゴールド・スークの近くの アパートや倉庫から見つかった。警察は、ラマダン以降、毎日およそ5件の捜査を行い、時計、衣料品、宝飾品、ペン、スカーフ、サングラスなどを押収している。これら不正商品は全てアジアの国々からの輸入品である。」と報じています。

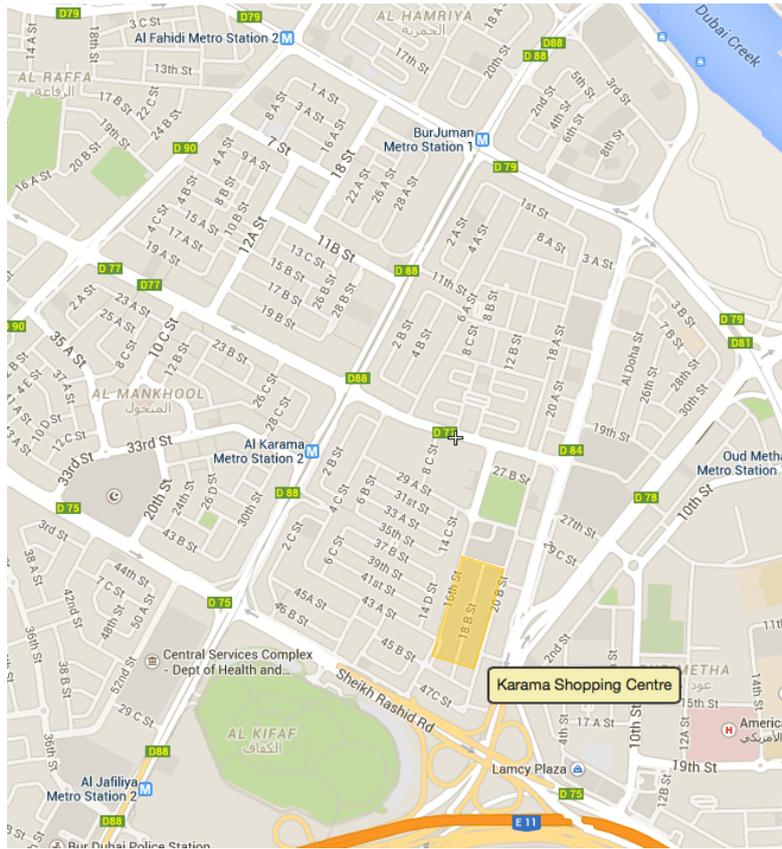
出典：UAEのThe National 紙 2014年7月18日号

<http://www.thenational.ae/uae/fake-watches-and-clothes-worth-dh34-million-seized-by-dubai-police>

「カラマ」は、およそ100の店舗が並ぶ屋外マーケットで、主に観光客相手に高級ブランドや人気ブランドの偽造品が売られていることで有名です。業者の大半がハンドバッグ、靴、財布、時計、サングラス、洋服を売っています。ある程度容認されてはいるものの、しばしば当局の捜査が入ります。そのため、顧客が別の建物の裏店舗に誘導され、隠し扉の向こうに積まれた偽造品を勧められるといったことが日常的に行われています。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



Map data ©2014 Google

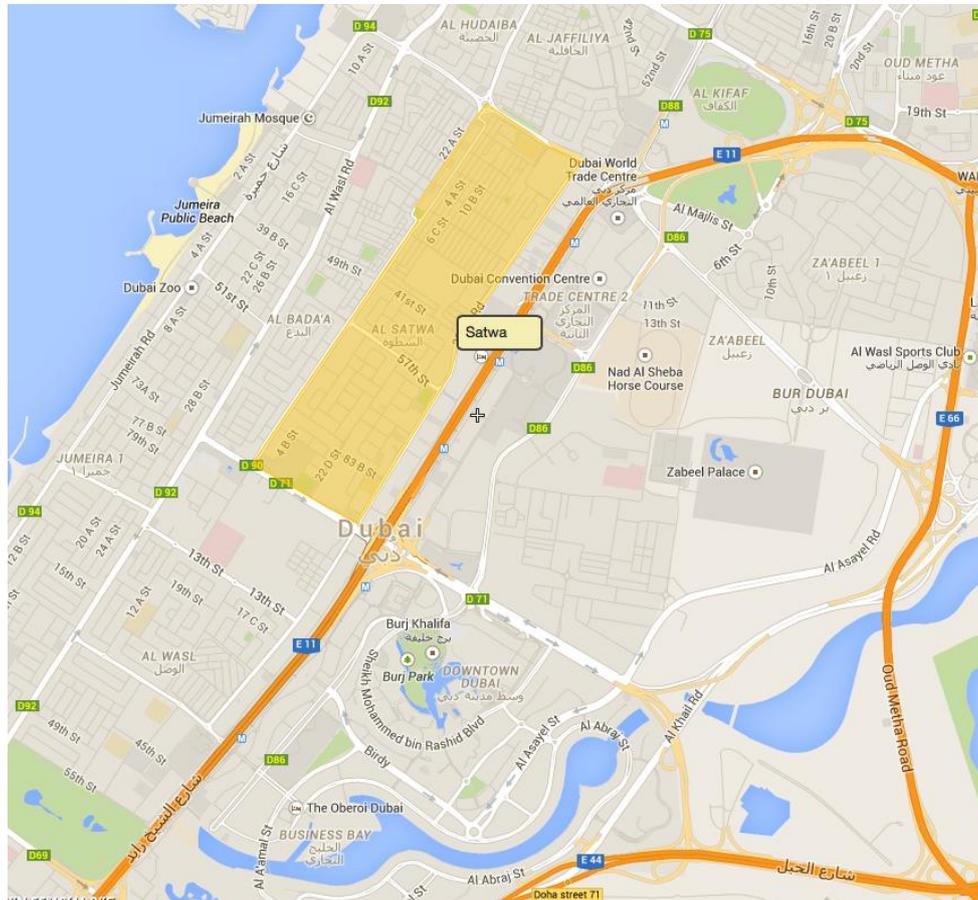


Map data ©2014 Google Imagery © 2014 Cnes/Spot Image, DigitalGlobe



3.4.1.5 サトワ

サトワは、デイヤやバール・ドバイと同様、安価な低層宿泊施設、事務所、店舗が並ぶ地域です。ここでも偽造品が販売されることがあり、主な商品は衣料品と自動車部品です。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



3.5 工業地帯

ドバイの工業地帯はあまり有名ではなく、貿易業者は隣接するシャルジャやアジュマンの倉庫施設を使うのが一般的です。しかし、ドバイにも重要な工業地帯が存在します。ジュベル・アリ、アル・クオズ、ラス・アル・ホール、ウム・ラムールです。これら地域には、倉庫施設、労働者収容所 [建設作業員ら(主にインド、バングラデシュ、パキスタンの労働者)の社宅]、少数ながら展示場や工場もあります。

3.5.1 ラス・アル・ホール

ラス・アル・ホールは、エミレーツ・ロード (E311)、アル・アイン・ロード (E66) とアル・カイル・ロード (E44) に挟まれた工業地区で、ドバイ国内および他の首長国への交通網が充実しています。下の地図と写真をご参照ください。

ラス・アル・ホール第一、第二、第三工業地区:

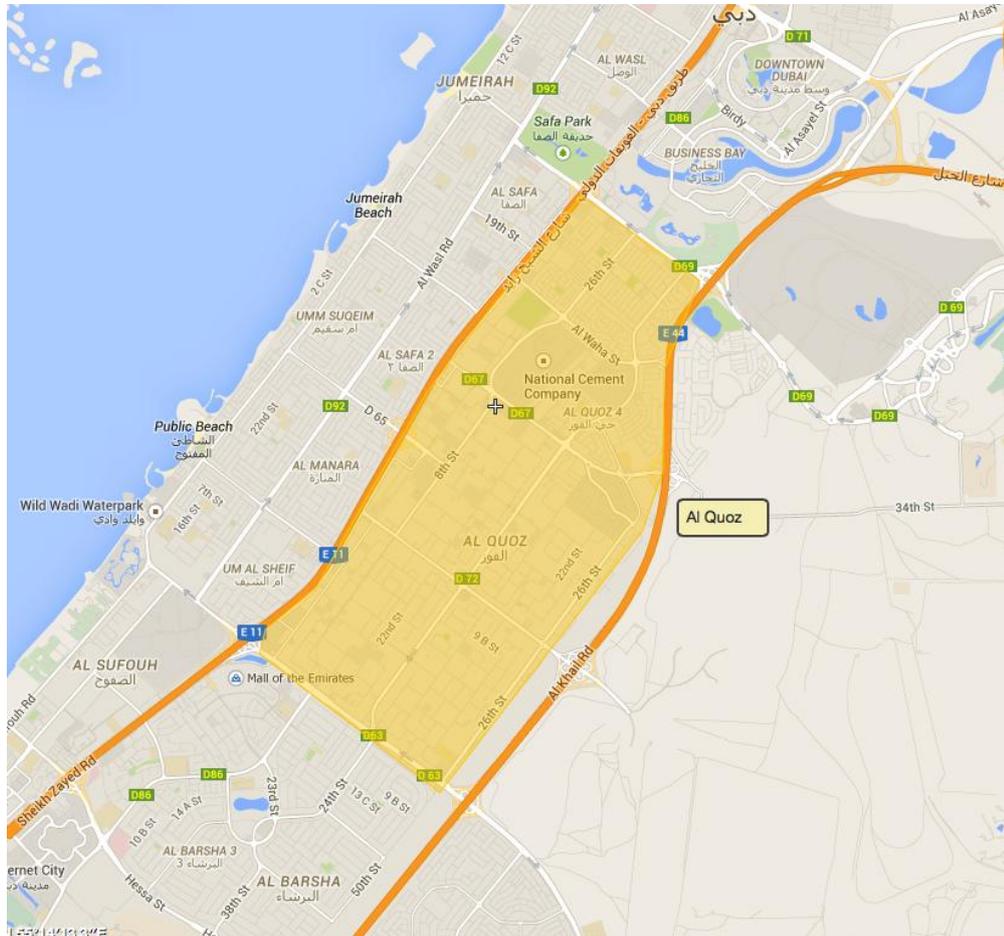


Map data ©2015 Google



3.5.2 アル・クオズ

アル・クオズは、第一、第二、第三、第四地区で構成される工業地帯で、倉庫施設の他、道具店／工具店が並んでいます。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



3.5.3 ジュベル・アリ

ジュベル・アリ工業地帯は、ジュベル・アリ・フリーゾーン内に所在し、ジュベル・アリ・フリーゾーン公社 (JAFZA) の管理の下、ジュベル・アリ港の倉庫施設の役割を果たしています。ジュベル・アリは保護区域のため、招待者以外立ち入ることはできません。シェイク・ザイド・ロードの西側に位置しますが、ジュベル・アリ・サウスと呼ばれる地域がシェイク・ザイド・ロードの南東に広がり、ドバイ・ワールド・セントラル・フリーゾーンと国際空港へのアクセスも便利です。下の地図と写真をご参照ください。

ジュベル・アリ・フリーゾーン工業地帯:

1. ジュベル・アリ・フリーゾーン工業地帯
2. ジュベル・アリ工業地帯
3. ジュベル・アリ・サウス(拡張)フリーゾーン工業地帯



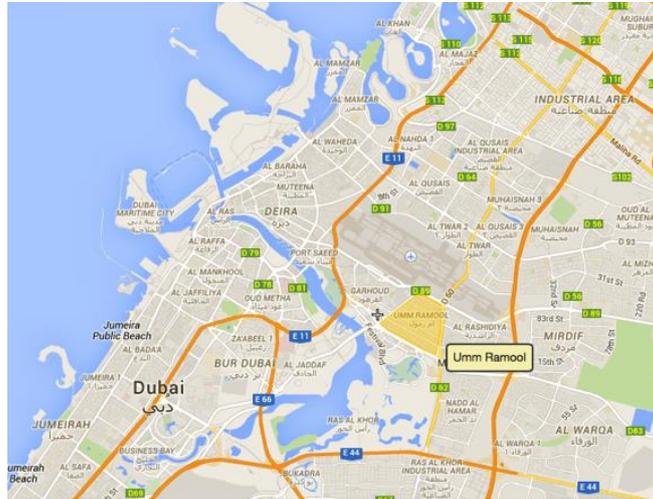
Map data ©2015 Google

ジュベル・アリでよく見られる倉庫:

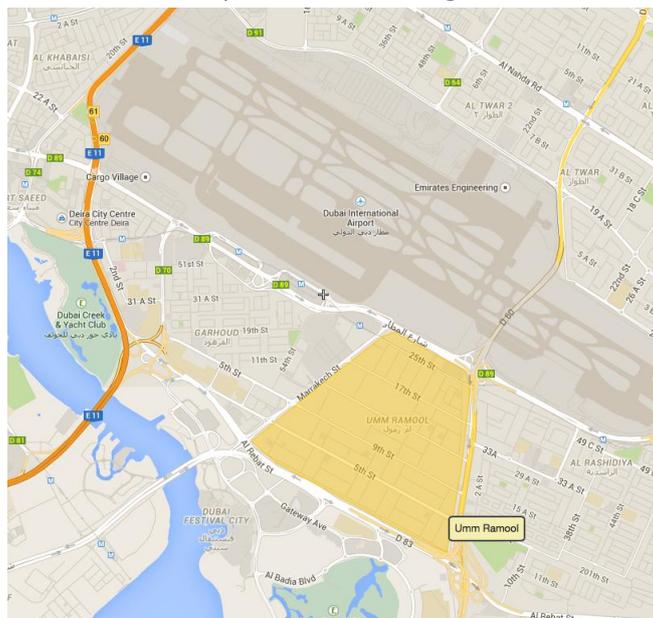


3.5.4 ウム・ラムール

ウム・ラムールは、紹介した工業地帯のうち最小規模の工業地帯ですが、たくさんの倉庫施設が存在し、ドバイ国際空港に隣接するため、物流ネットワークに直結しています。下の地図と写真をご参照ください。



Map data ©2014 Google



Map data ©2014 Google



4 市況報告 – アブダビ

アブダビは、アラブ首長国連邦を構成する 7 国のうち、最大の首長国です。首都はアブダビ市で、連邦政府の官庁、UAE 政府の所在地でもあります。アブダビの首長は、UAE の大統領も兼任しています。君主を世襲するのは、アル・ナヒーヤン家です。

アブダビは UAE の石油埋蔵量の 95%、世界の確認埋蔵量の 9%を保有し、一人当たりの国内総生産（GDP）は世界最高水準に達しています。また、主権国家資産ファンドも世界最大規模です。近年、アブダビは観光、工業、不動産、小売業など経済基盤の多角化を進めています。この多角化は急速に進められ、今やアブダビは、世界の商業中心地へと成長しています。

The National 紙は「UAE では、偽造品を販売する店は、罰金あるいはライセンス剥奪の罰が科される(後略)。地方、国家両方の取締機関は、不正行為防止の努力を続けている。経済開発局が管轄するアブダビ・ビジネス・センターの商業保護セクションは、定期的に店舗の査察を行っている。2013 年第 2 四半期には 39,472 回の捜査を行い、14,855 点の偽造品／不正商品を押収した。」と報じています。

出典：The National 紙 2013 年 11 月 5 日号 (UAE)

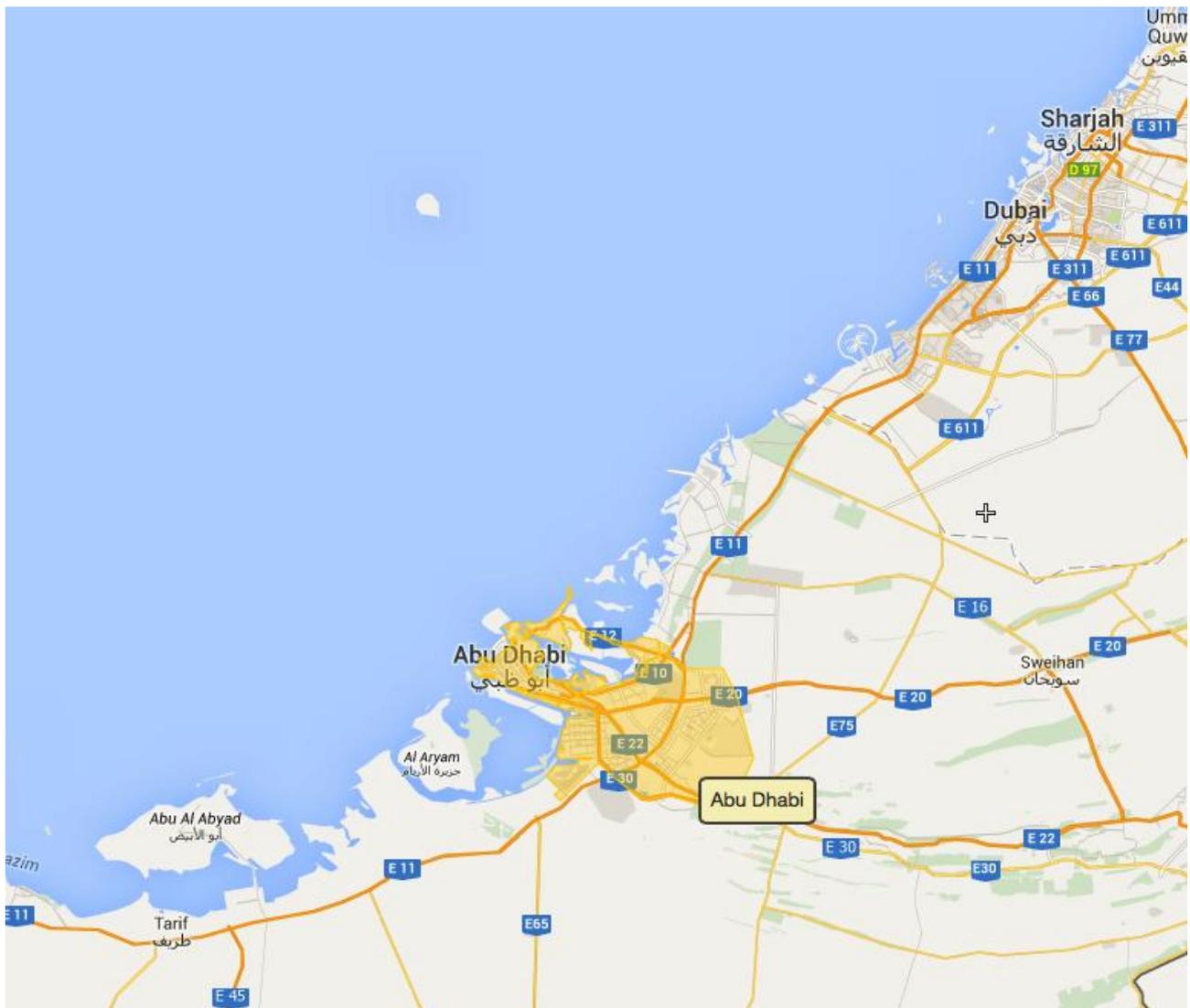
<http://www.thenational.ae/thenationalconversation/editorial/its-time-to-get-tough-on-counterfeiters-in-the-uae>

UAE のアブダビ首長国の位置:



Map data ©2015 Google

首都アブダビ市の位置:



Map data ©2015 Google

アル・アインは、アブダビ首長国の第二の都市です。東はオマーンと接していますが、アブダビ市からは 200 キロも離れていません。

The National 紙によると、「アル・アインの 39 店舗から、60 万ディルハム (165,000 米ドル) 相当の偽造自動車部品、タイヤ、付属品が 2,000 点以上押収された。これら店舗は、アル・アインの工業地帯に所在する。」とのことでした。

出典 : The National 紙 2013 年 10 月 4 日号 (UAE)

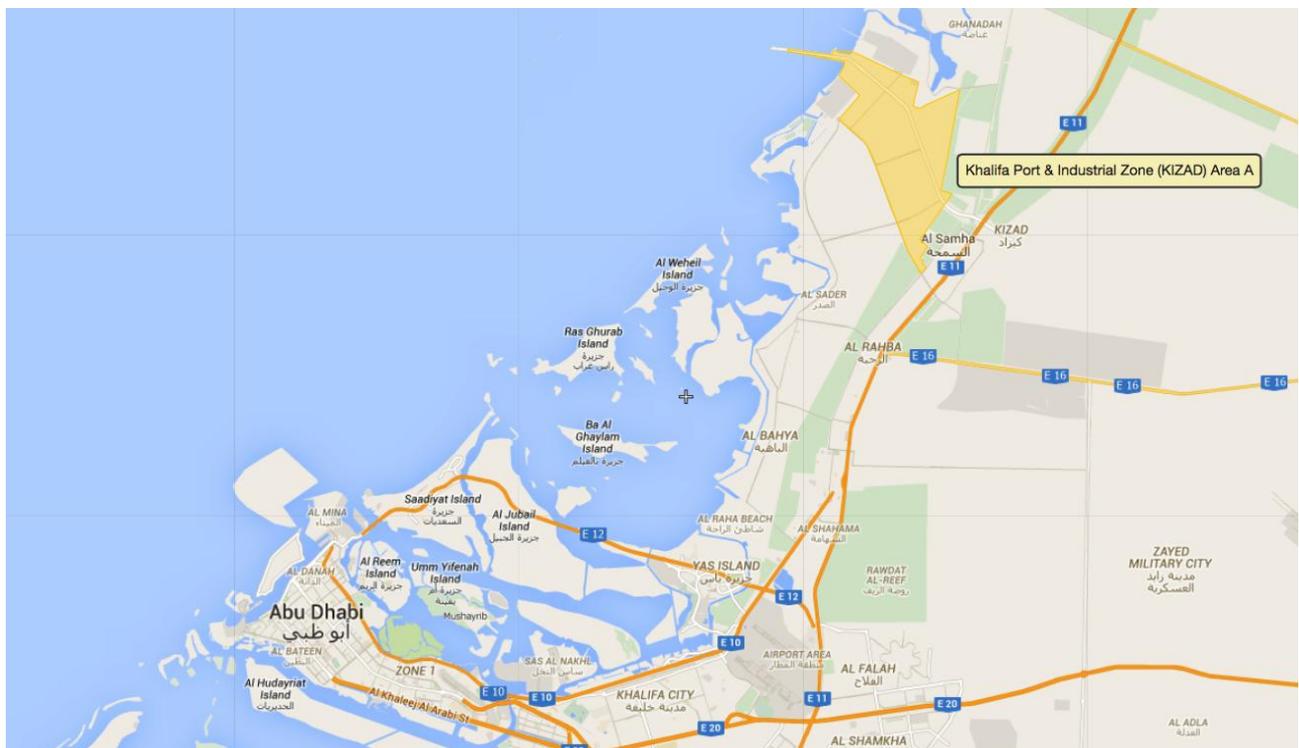
<http://www.thenational.ae/uae/government/dh600-000-worth-of-counterfeit-car-parts-and-tyres-seized-in-al-ain>

4.1 港、空港、陸の国境

4.1.1 港

4.1.1.1 ハリーファ港

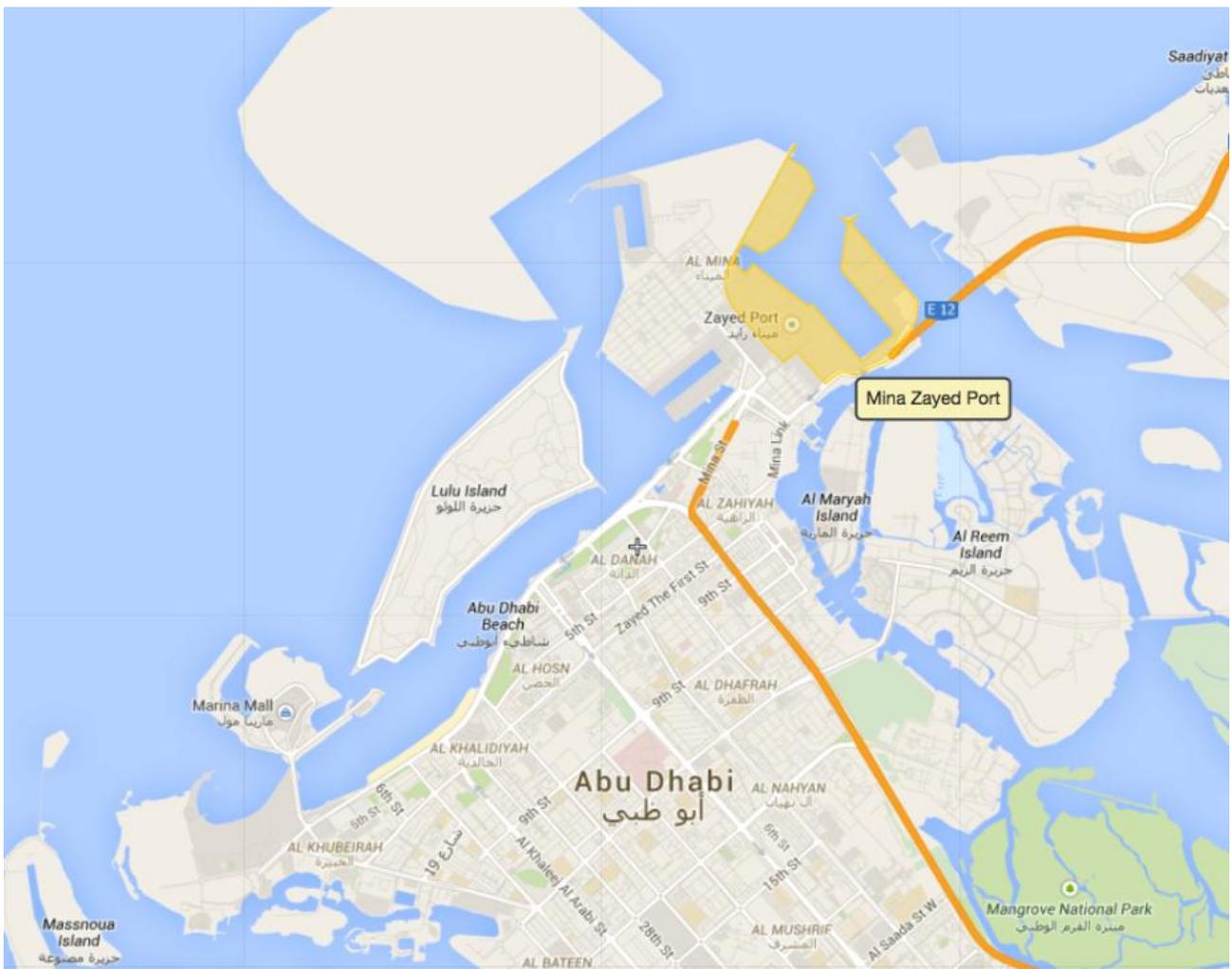
ハリーファ港は(現在開発中の)KIZAD フリーゾーン内に位置します。KIZAD のウェブサイトによると、ハリーファ港は、地域で初の半自動遠隔操作式コンテナ港で、深さ 16.5m、6 台のスーパー・ポスト・パナマックス型岸壁クレーン、32 台の自動積載クレーンが完備されています。ハリーファ港は 2012 年 9 月に開港し、今日では一般貨物船、アブダビに到着する全てのコンテナ船を取り仕切っています。同港は、年間 1200 万トンの一般貨物を取り扱えるキャパシティーがあり、世界最大級の船舶の収容も可能です。ハリーファ港はアブダビ都心部から 50 キロほど離れ、アブダビとドバイのちょうど真ん中に位置します。詳しい情報は、ウェブサイト www.kizad.com をご覧ください。港の位置は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

4.1.1.2 ザイド港

ザイド港はアブダビで最も古い商用港で、過去 40 年間、主要港として利用されてきました。アブダビ港のウェブサイトによると、ザイド港は面積 5.1 平方キロメートルで、三つの係船池(ベイスン)があります。深水港であるハリーフア港へコンテナ船が全て移った現在、ザイド港は RO-RO 船、一般貨物船、クルーズ船の利用が増えています。ザイド港は立地条件の良さから、多くのクルーズ・ツアー運行会社が注目する中、世界のクルーズ船を集める港としての発展を目指し、開発が進められています。開発の第一段階はすでに完了しています。詳しい情報は、ウェブサイト www.adports.ae をご覧ください。港の位置は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

4.1.1.3 ムサファ港

ムサファ港は、アブダビ市の南西に位置する大規模なムサファ工業地帯にあります。アブダビ港のウェブサイトによると、同港の波止場はおよそ 40 キロにおよびます。鉄鋼、掘削、海上工事、浚渫工事、造船などの産業を主な対象とし、貨物管理、倉庫施設を提供しています。バースのほとんどは、個別ターミナルに直結しています。詳しい情報はウェブサイト www.adports.ae をご覧ください。港の位置は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

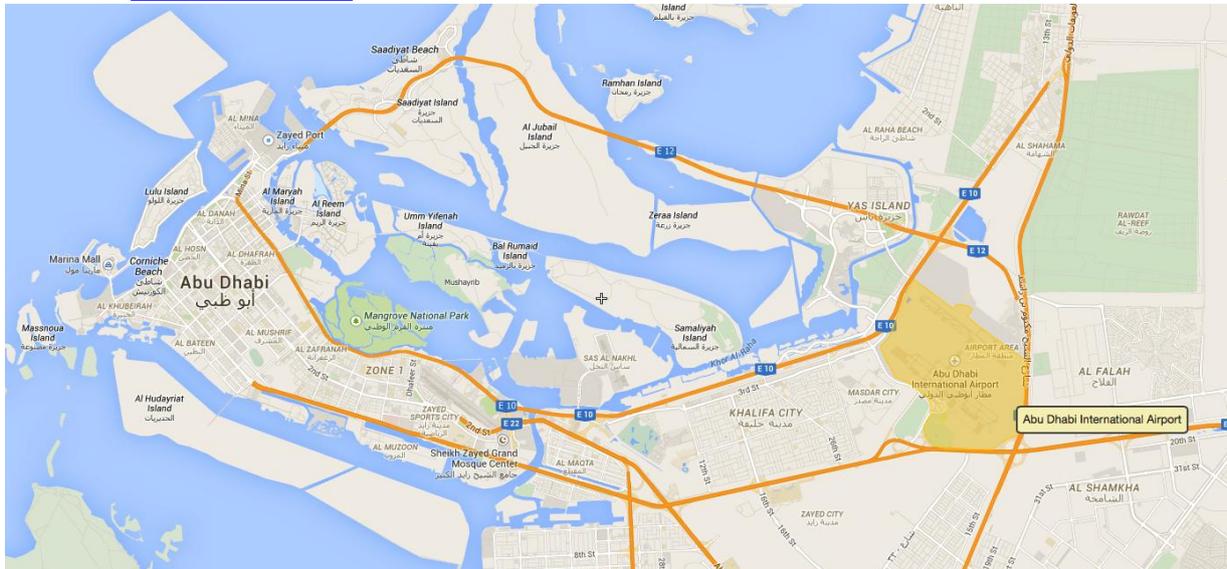
4.1.1.4 西部地域の港湾

アブダビの都心部から離れた西部地域にある港湾は、主に現地の人々の交通、島々への物資輸送のために利用されています。西部地域では、引き続き石油が主要産業です。詳しい情報はウェブサイト www.adports.ae をご覧ください。

4.1.2 空港

4.1.2.1 アブダビ国際空港

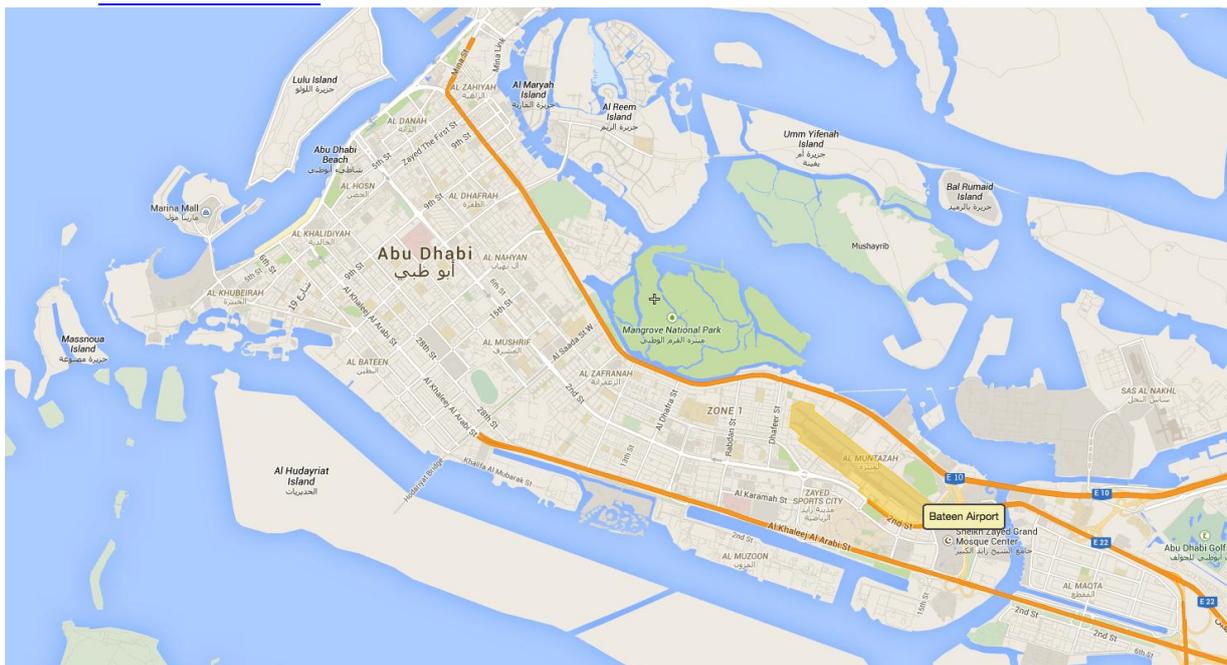
UAE の国営のエティハド航空(エミレーツ航空に次ぐ航空会社)の本拠地であるアブダビ国際空港は、世界で最も急速に発展中の国際空港の一つです。ウェブサイトによると、アブダビ空港は現在、世界 56 カ国 96 都市を超える空港と繋がっています。詳しい情報は、ウェブサイト www.adac.ae をご覧ください。空港の場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

4.1.2.2 バティーン空港

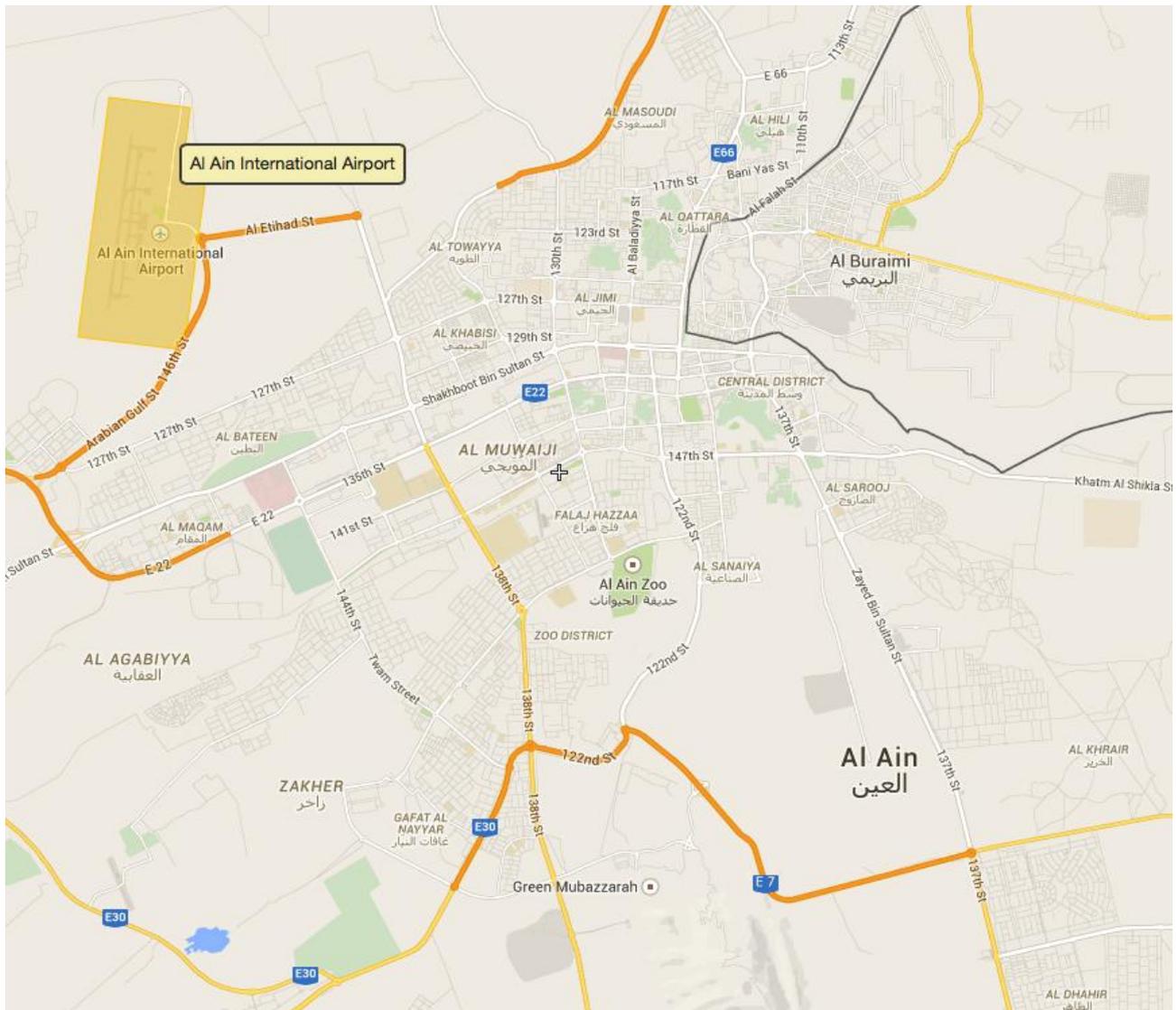
アル・バティーン空港は、ビジネス便やプライベートジェット専門のエグゼクティブ空港で、アブダビ市の中心にあります。アブダビ空港のウェブサイトによると、同空港は 90 機のプライベートジェットが発着できるキャパシティーがあります。詳しい情報は、ウェブサイト www.adac.ae をご覧ください。空港の場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

4.1.2.3 アル・アイン国際空港

首都アブダビから 200 キロ離れた場所に位置し、オマーンと国境を接するアブダビ首長国第二の都市アル・アインにも、国際空港があります。アル・アイン国際空港の詳しい情報は、ウェブサイト www.adac.ae をご覧ください。空港の場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

4.1.3 陸の国境

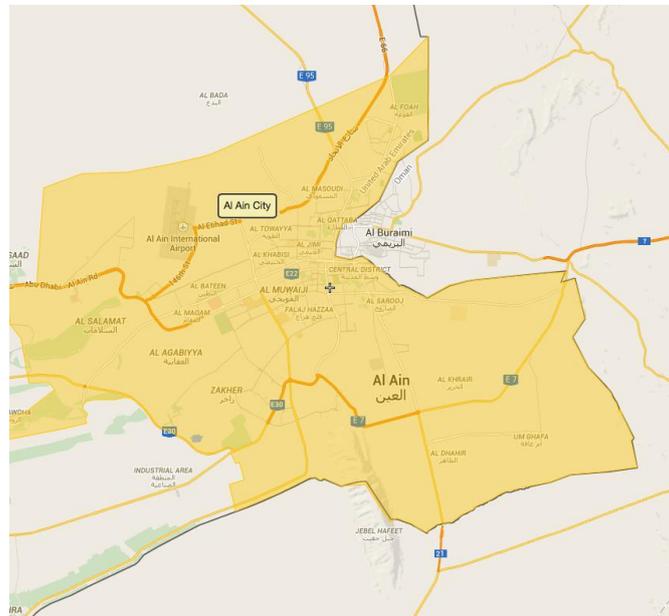
アブダビは、オマーンとサウジアラビアと国境を接しています。オマーンとの国境管理局はアル・アインにあります。

The National 紙は「著作権、特許権、商標権所有者の利益の保護に努めることは、これ自体重要である。それにより、UAE が国際法を遵守する国であることを企業にアピールできるとともに、良好なビジネスの場としての評判も上がる。そのため、オマーンで押収された偽造品の 3 分の 1 が UAE を経由したとのデータは憂慮すべき事態である。この点に関し、一層の協力体制が必要なことが明らかである。」と指摘しています。

出典：The National 紙 2012 年 11 月 20 日号 (UAE)

<http://www.thenational.ae/thenationalconversation/editorial/fake-car-parts-are-urgent-safety-issue>

アル・ヒリ(アル・アインーブライミ間)とハトマト・マラハ(ジェベル・ハフイー
ト近く)の二つの国境管理局:



Map data ©2015 Google

アブダビ首長国の極西部グワイファットにあるサウジアラビアとの国境:

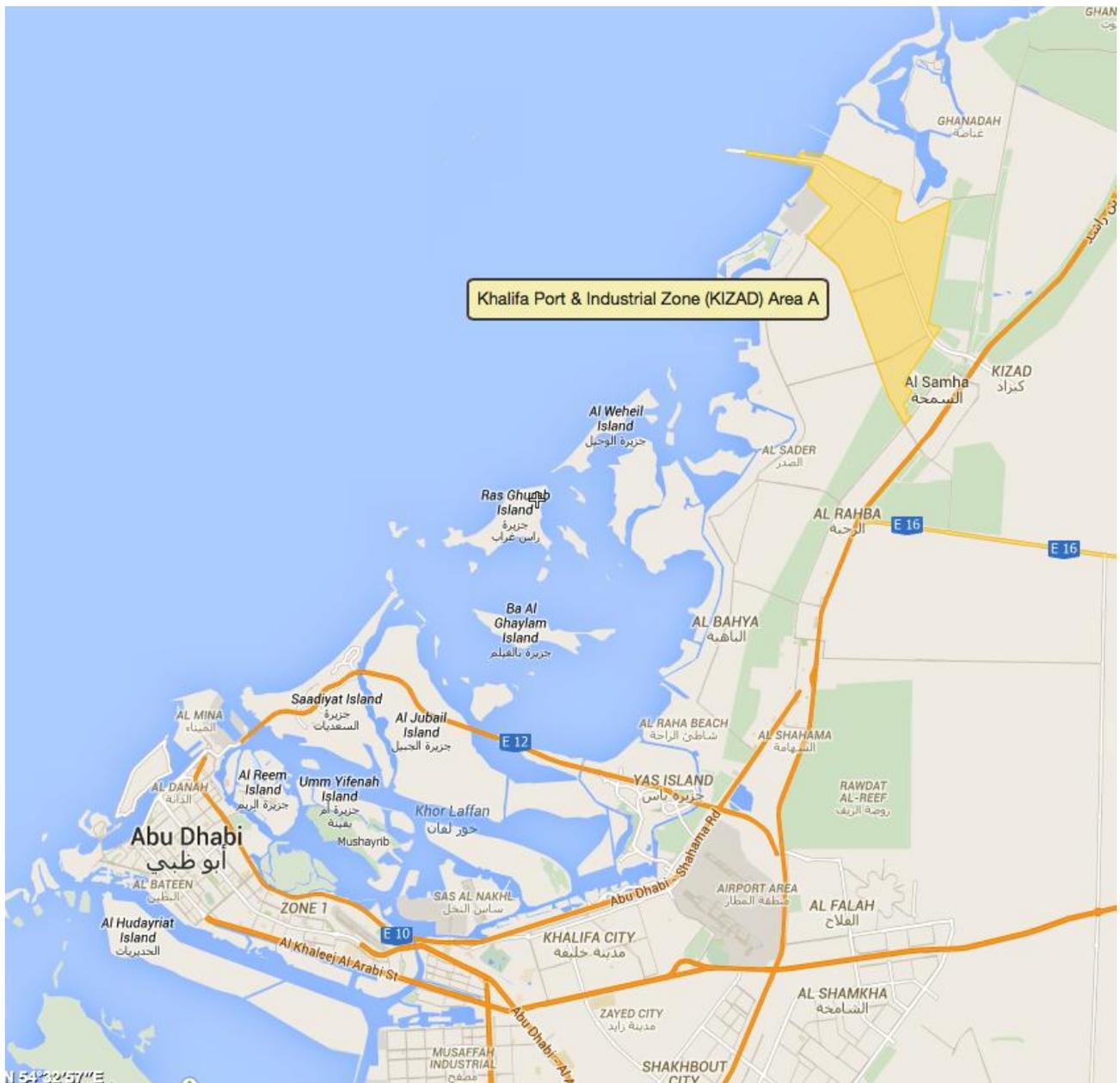


Map data ©2015 Google

4.2 アブダビのフリーゾーン

4.2.1 ハリーファ工業地帯アブダビ (KIZAD) (開発中)

KIZAD は、ハリーファ港、フリーゾーン、フリーゾーン外工業地帯を総合した工業地帯で、アブダビとドバイの間の便利な場所に位置します。この地帯は、アブダビ経済構想 2030 の一環として開発が進められています。ハリーファ港はすでに稼働中で、アブダビを発着する全てのコンテナ船を取り仕切っています。ウェブサイトによると、KIZAD ロジスティクス・パーク開発の第一段階はすでに完了し、倉庫 41 棟のうち 37 棟のリース契約がすでに結ばれており、現在引き渡し手続きが進められているとのこと。2015 年のうちに第二段階も完了する見込みです。詳しい情報は、ウェブサイト www.Kizad.com をご参照ください。KIZAD の位置は下の地図をご参照ください。

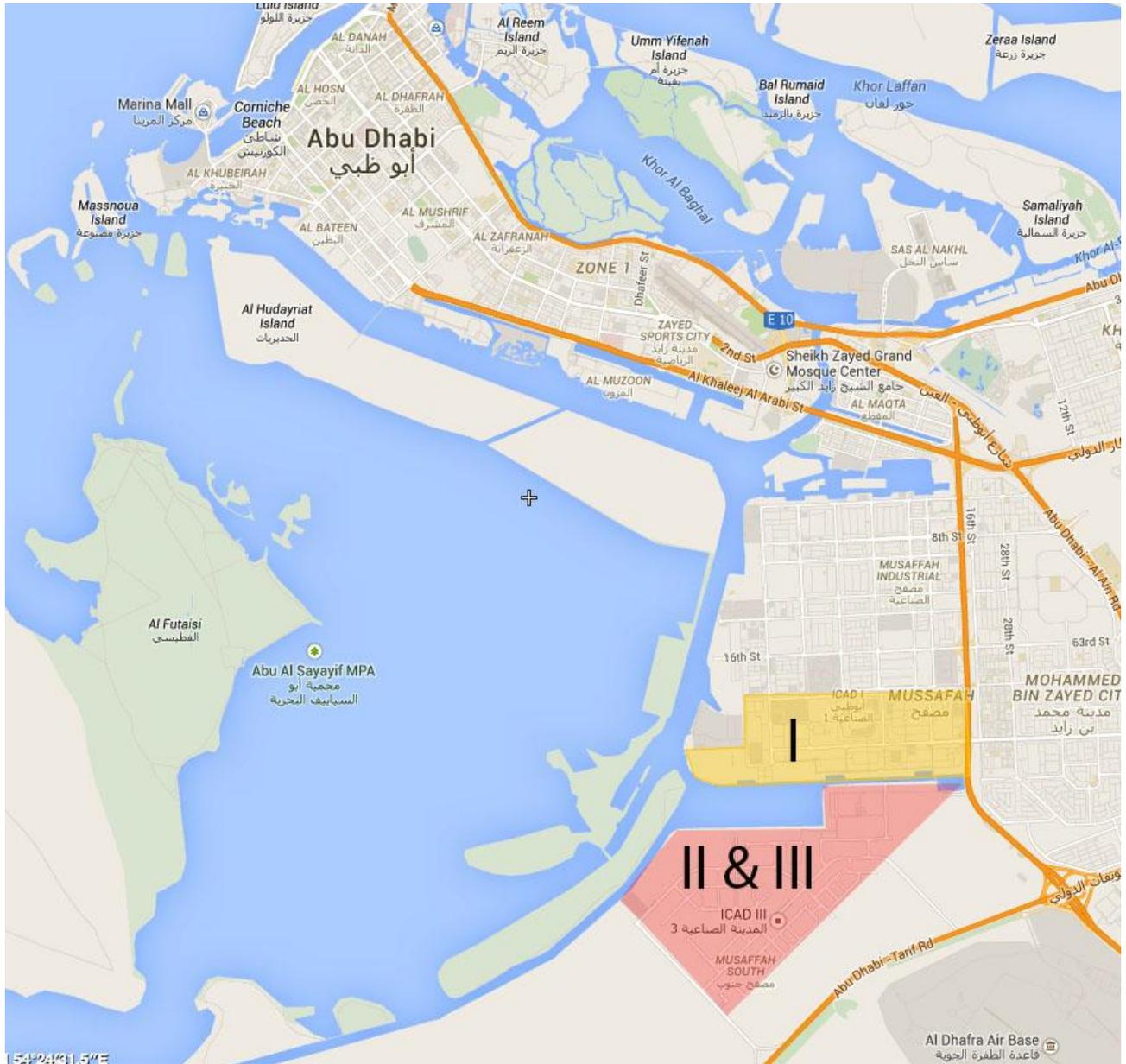


Map data ©2015 Google

4.2.2 アブダビ工業都市(ICAD I、II、III)

ICAD は ZonesCorp が管理しています。現在のところ、アブダビのムサファ工業地帯に ICAD I、II、III が完成しています。詳しい情報は、ウェブサイト www.zonescorp.com をご覧ください。ICAD の場所は下の地図をご参照ください。

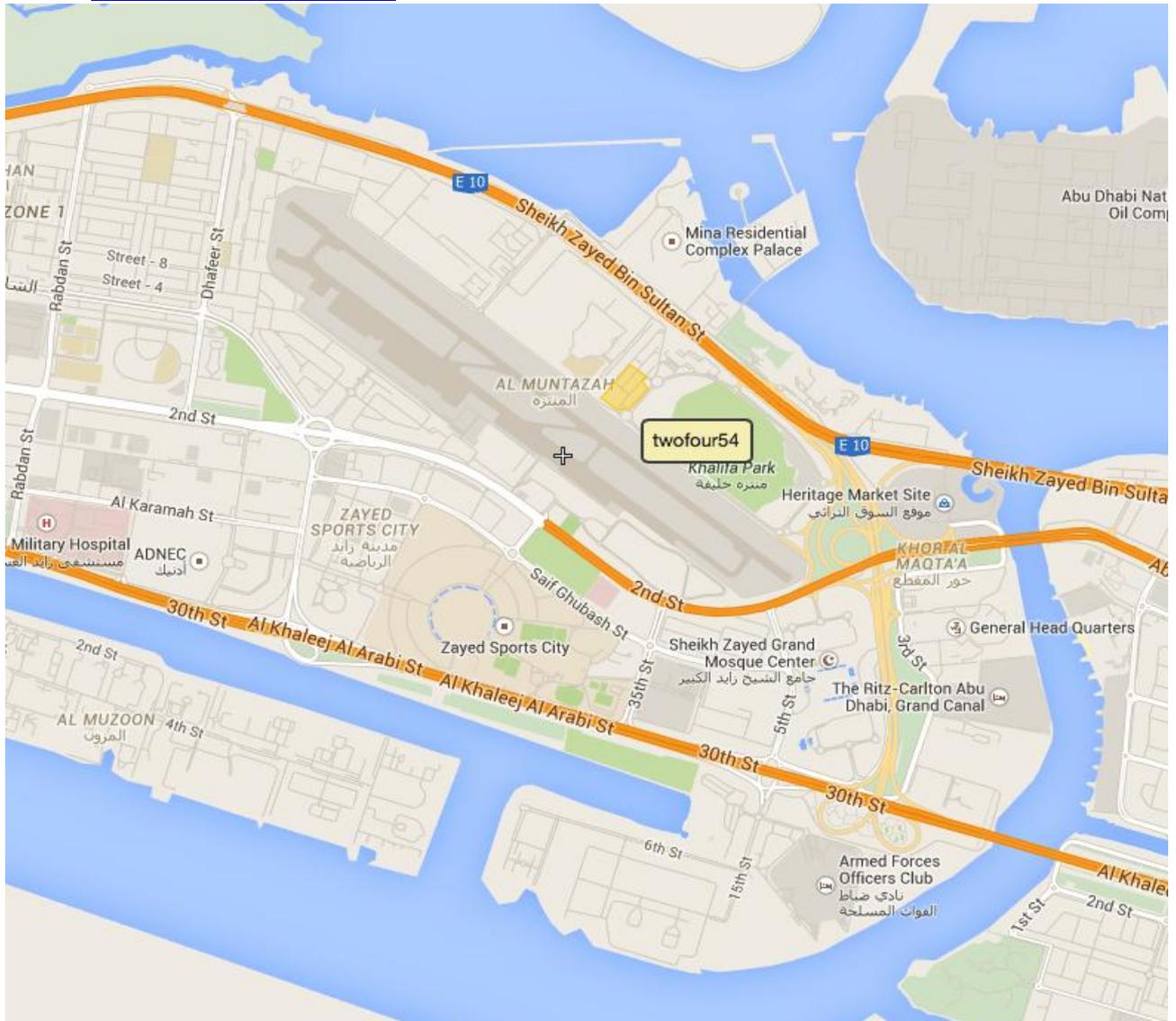
ICAD I、II および III:



Map data ©2015 Google

4.2.3 Twofour54 (アブダビ・メディア・フリーゾーン)

Twofour54 は、アブダビに設けられた非課税のメディアおよび芸能産業フリーゾーンで、アラビア語によるメディアや芸能の振興促進を目的としています。詳しい情報は、ウェブサイト www.twofour54.com をご覧ください。場所は下の地図をご参照ください。



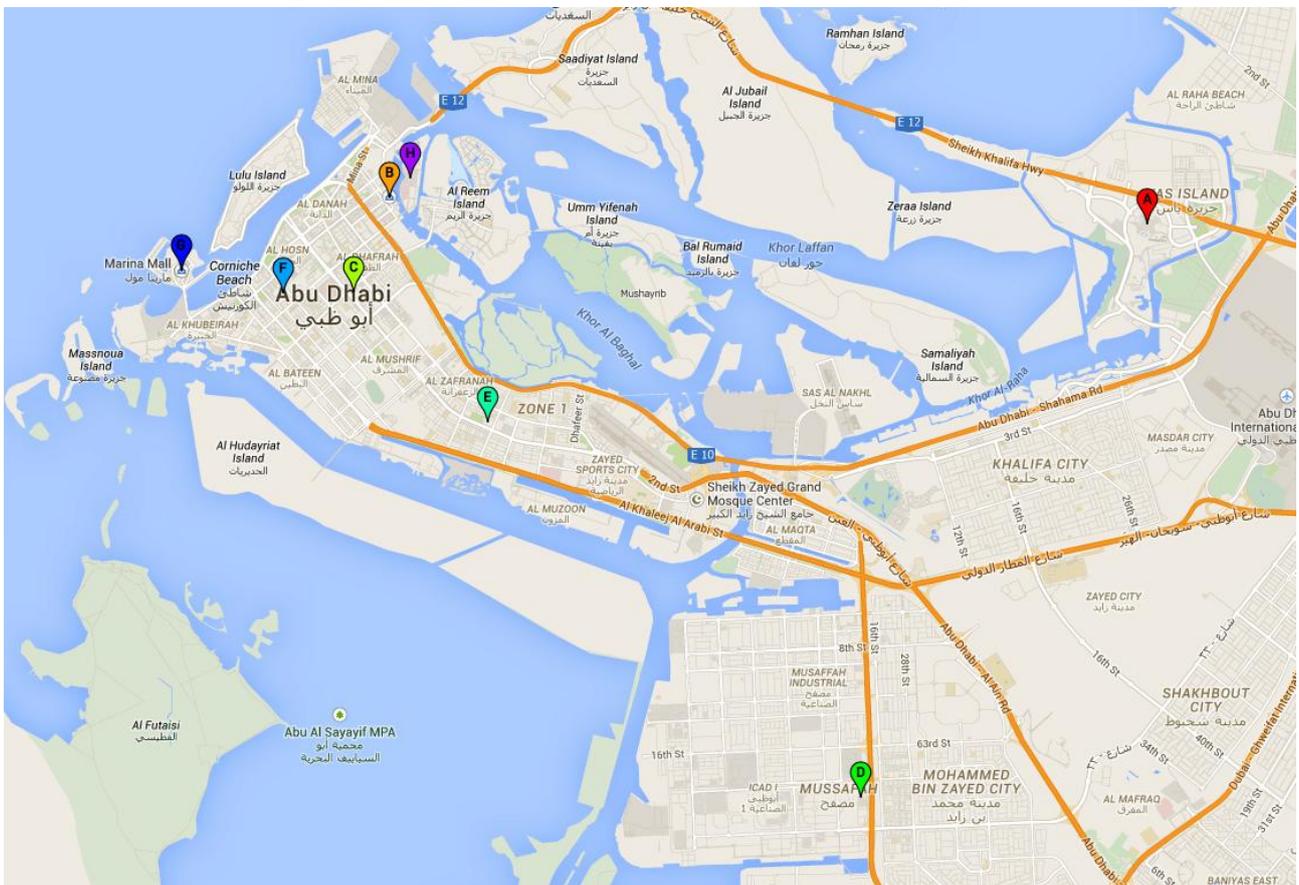
Map data ©2015 Google

4.2.4 アブダビ空港フリーゾーン (ADAFZ) (開発中)

現在開発中の ADAFZ は倉庫施設、オフィスビル、建設用地をはじめ、日常業務に必要な様々な施設や設備を整え、営業許可を交付する予定です。ADAFZ の開発は、Abu Dhabi Airports 社の関連会社 Abu Dhabi Airport Business City の指揮の下で進められています。詳しい情報は、ウェブサイト www.adac.ae をご覧ください。

4.3 アブダビのショッピングモール

ドバイの規模には及びませんが、アブダビのショッピングモールも開発が進められています。下の地図に主なショッピングモールを示します。



Map data ©2015 Google

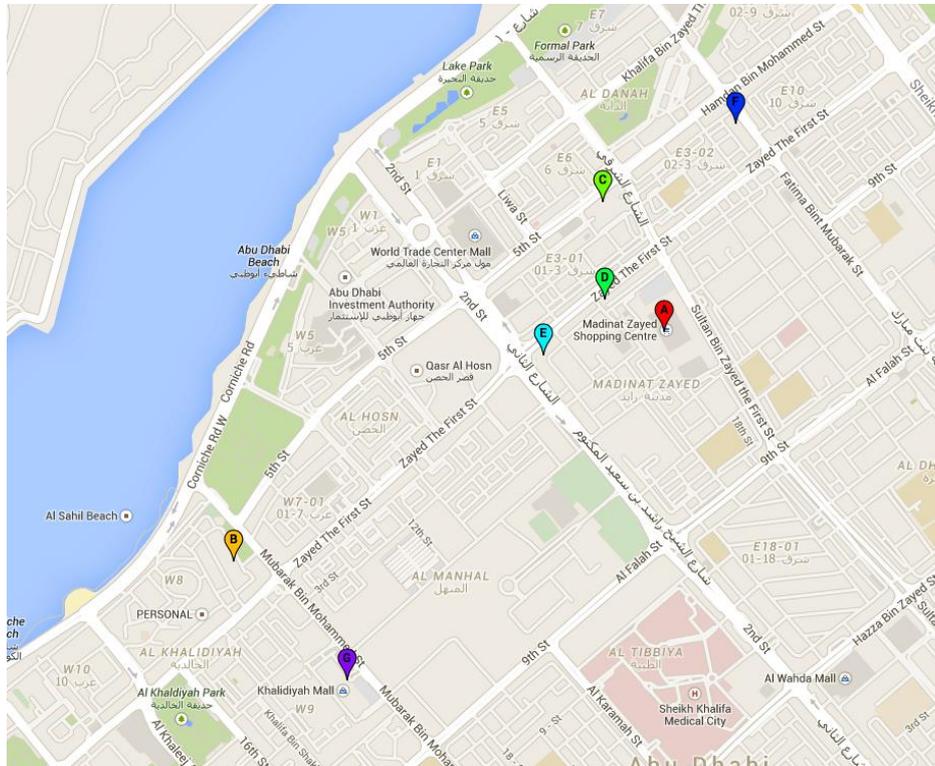
- 📍 Yas Mall
- 📍 Abu Dhabi Mall
- 📍 Al Wahda Mall
- 📍 Dalma Mall
- 📍 Mushrif Mall
- 📍 Khalidiyah Mall
- 📍 Marina Mall
- 📍 The Galleria Mall

4.4 アブダビの主な商業地帯

4.4.1 卸売・小売市場

4.4.1.1 既製衣料品

偽造品や不正商品が売られることの多い安価な既製衣料品の販売店が、アブダビ・アイランドの北西に集まっています。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

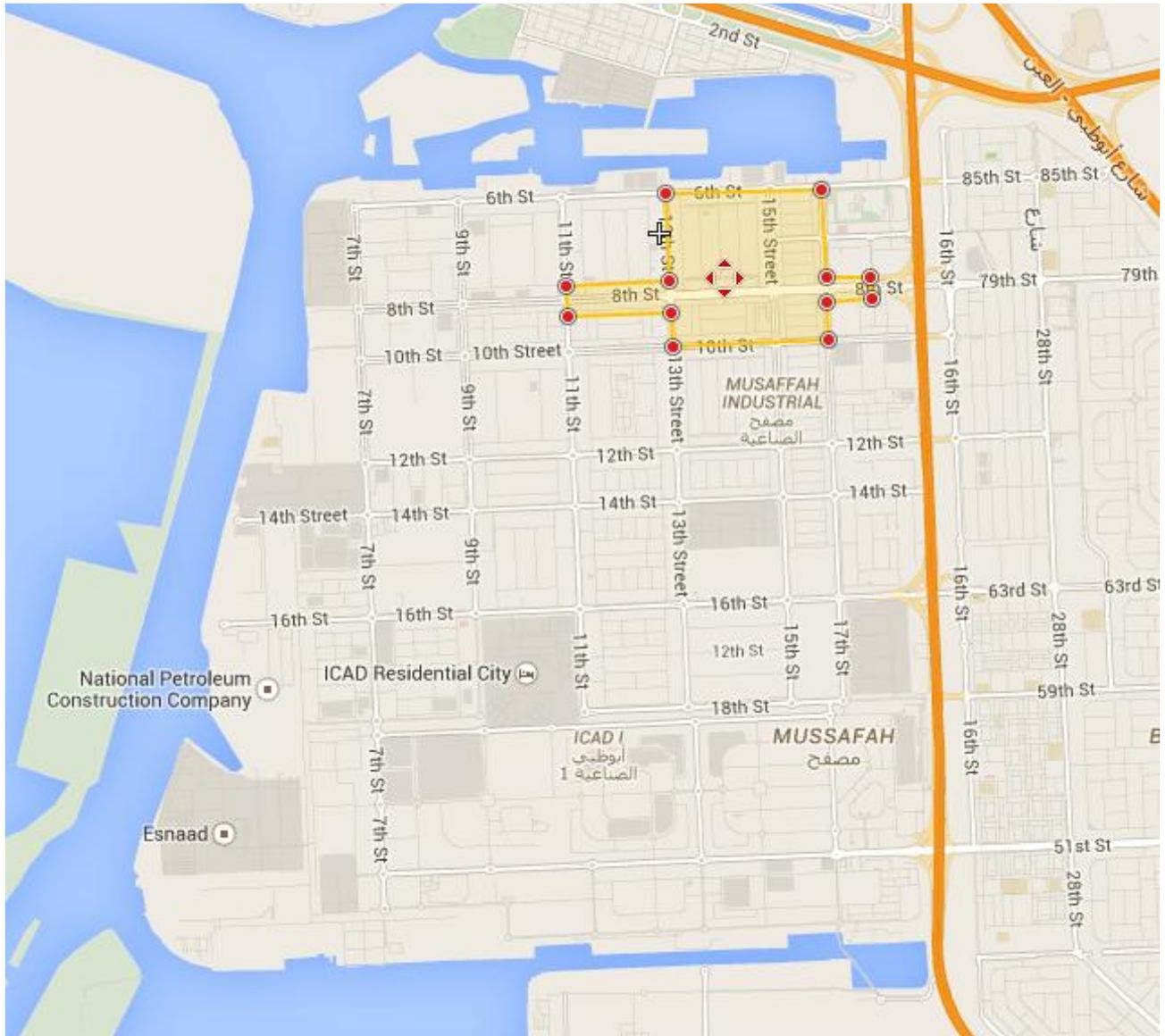
-  Madinat Zayed Shopping Ce...
-  Kalidiya Centre
-  Hamdan St: Hamdan Centre
-  Hamed Centre
-  Electra Street
-  Baniyas Street
-  Khalidiya Mall



4.4.1.2 自動車部品と工具

工業地帯のいたるところに自動車部品や工具を扱う店が見られますが、特にムサファ工業地帯8番街近辺に、自動車修理工場、自動車部品店、工具店が集まっています。下の地図をご参照ください。

ムサファ工業地帯のアブダビの自動車部品店や工具店が集まる地域:



Map data ©2015 Google

4.5 工業地帯

- ハリーファ工業地帯
- ムサファ工業地帯
- ムサファ南部工業地帯 (ICAD I, II & III)
- マフラク工業地帯
- アル・ミナ倉庫地帯(ミナ・ザイード港)



Map data ©2015 Google

5 市況報告 - シェルジャ

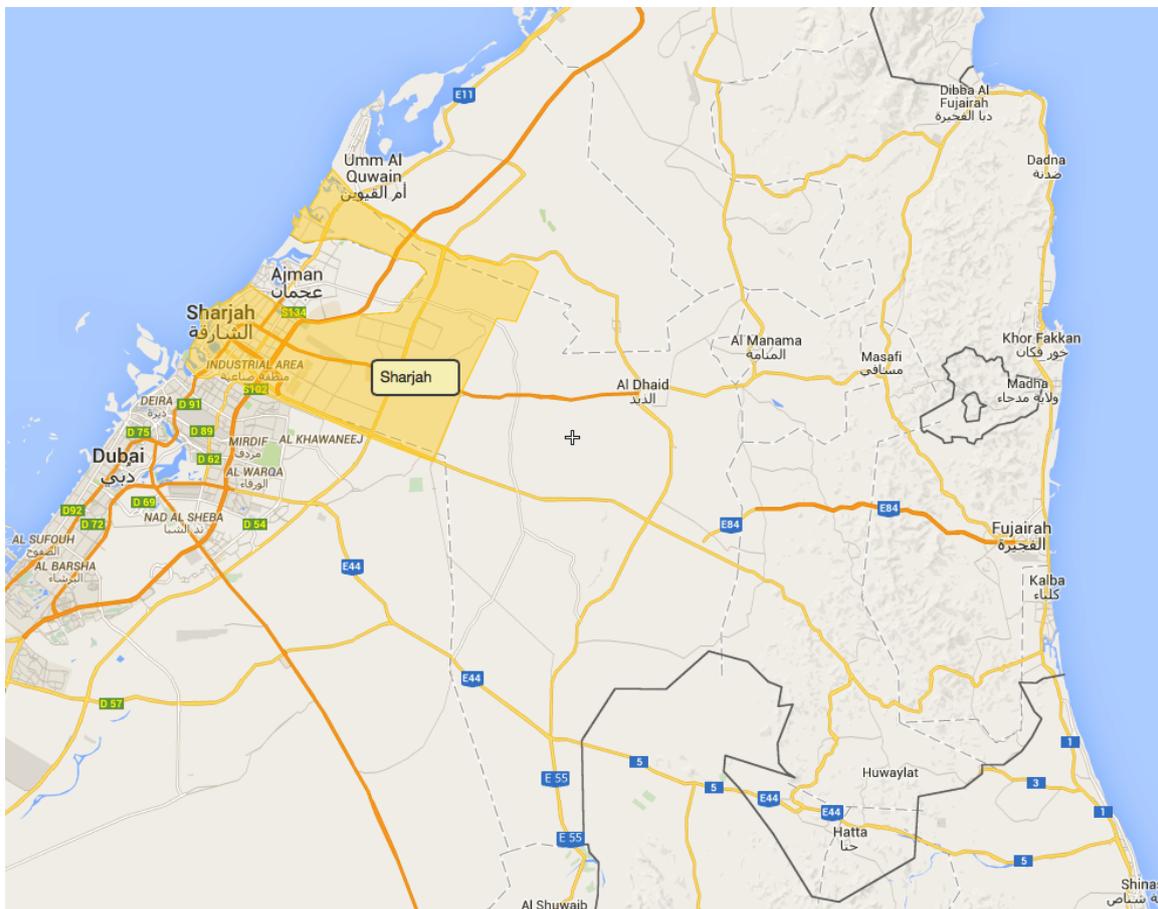
シェルジャはアラブ首長国連邦の 7 首長国のうち、アブダビ、ドバイに続き三番目に大きな首長国です。シェルジャ市を中心とした地域と、カルバ、ディバー・アル・ヒスン、ホール・ファッカーンの三つの飛地領があります。シェルジャの国土は(首都を含め)、南はドバイと境界を接し、アジュマン首長国を取り囲み、北はウムム・アル・クウェインと接しています。しかし、シェルジャの大部分はドバイとアジュマンの間にあるので、首長国の並びは、一般に、南から北へドバイ、シェルジャ、アジュマン、ウムム・アル・クウェインとなります。

シェルジャには大規模な工業地帯があり、ドバイに近いことから、ドバイの卸売業者がシェルジャの倉庫や製造工場を利用することも珍しいことではありません。そのため、ドバイで偽造品を取り扱う業者がシェルジャの倉庫や工場を利用することもよくあります。

シェルジャは、他の首長国よりも保守的で、アルコールは禁止、未婚の男女の交流も法律で禁止されています。

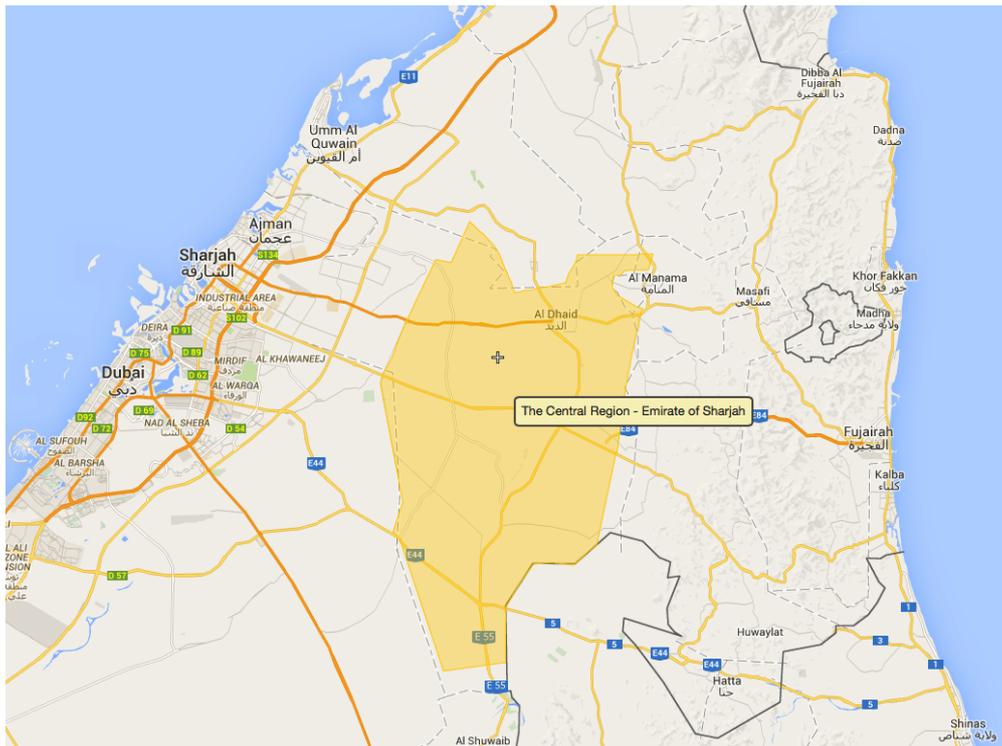
シェルジャの首長はアル・カースイミー家が世襲しています。

シェルジャ首長国の主要地域と首都シェルジャ:



Map data ©2015 Google

シャルジャ首長国の中央地域:



Map data ©2015 Google

シャルジャ首長国の飛地領カルバ:



Map data ©2015 Google

シャルジャ首長国の飛地領ホール・ファッカーン:



Map data ©2015 Google

シャルジャ首長国の飛地領ディバー・アル・ヒスン:



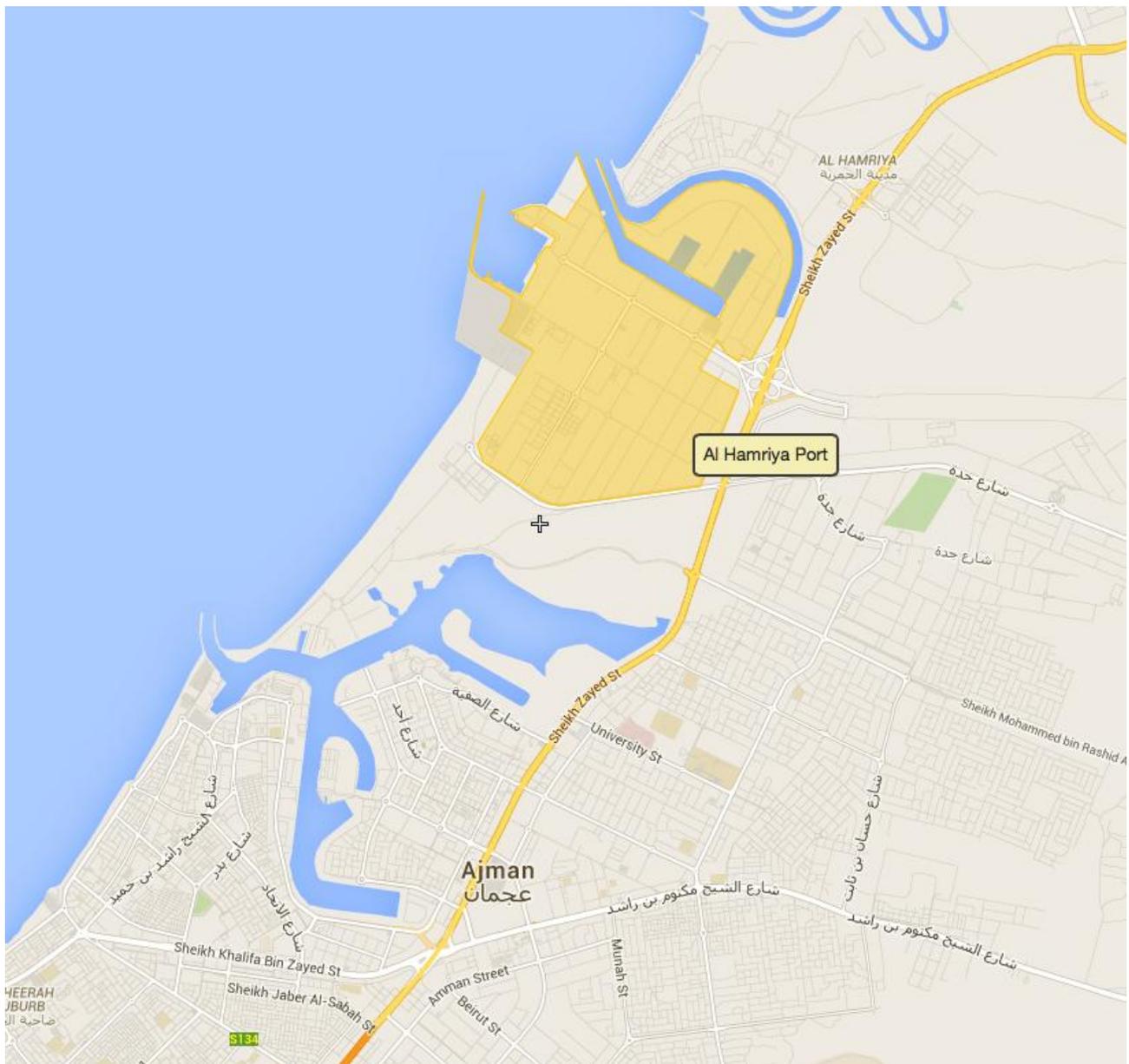
Map data ©2015 Google

5.1 港、空港、陸の国境

5.1.1 港

5.1.1.1 ハムリヤ港

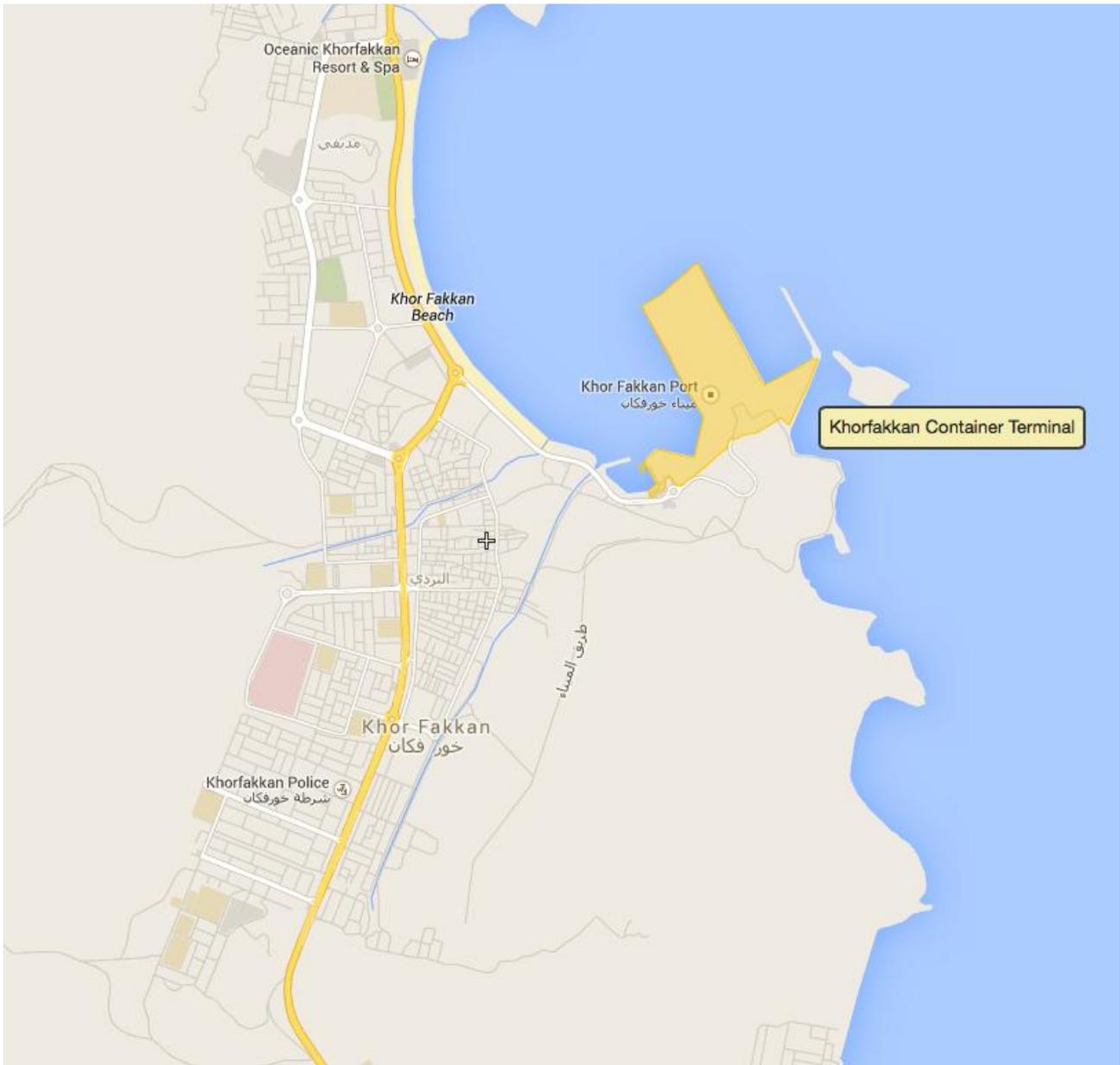
ハムリヤ港は、ウナム・アル・クウェインとの国境付近にあり、(シャルジャの二つのフリーゾーンの一つ)ハムリヤ・フリーゾーンの一部です。ハムリヤ・フリーゾーン当局のウェブサイトによると、ハムリヤ港の深さは14m。さらに7mの内港が備わっているとのこと。フリーゾーンは港に直結し、2,200 万平方メートルの主要工業地帯、商用地、倉庫施設、工場、賃貸オフィスビルが備わっています。詳しい情報は、ウェブサイト www.hfza.ae をご覧ください。ハムリヤ港の場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.1.1.2 ホール・ファッカーン港

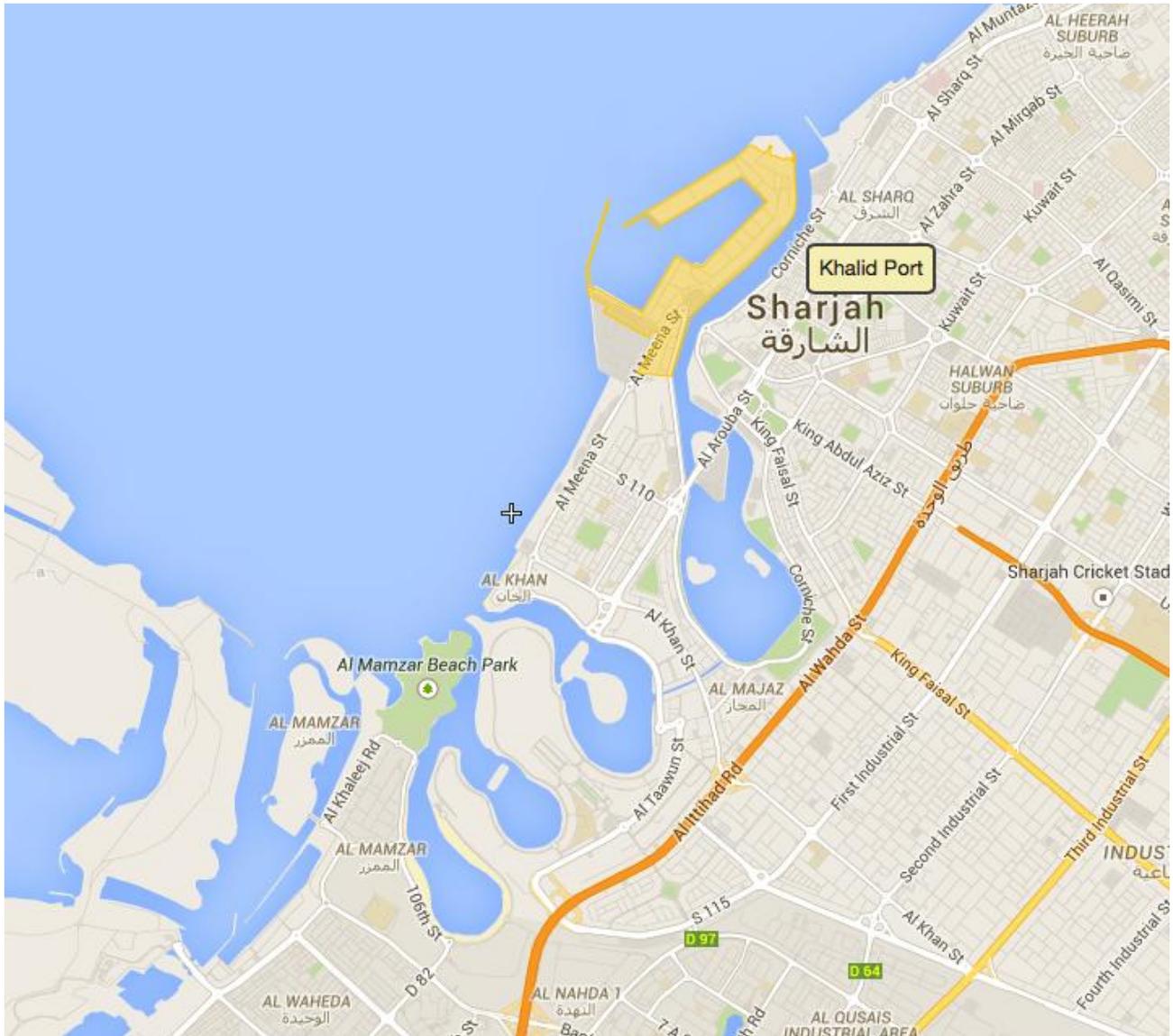
(シャルジャの飛地にある)ホール・ファッカーン港は、UAE(オマーン湾)の東海岸に位置し、フジャイラ酋長国に囲まれています。シャルジャ政府の港湾関税局のウェブサイトによると、ホール・ファッカーンは主要東西航路に近く、世界有数のコンテナ積み替え港の一つです。同港は、全長 2,000m に及ぶ6つの波止場があり、20 台のガントリークレーンが装備されています。倉庫施設の総面積は 45 万平方メートルです。詳しい情報は、ウェブサイト www.sharjahports.ae をご覧ください。ホール・ファッカーン港の場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.1.1.3 ハーリド港(シャルジャ・コンテナターミナル)

ハーリド港は、シャルジャ市の近くに位置します。Gulftainer が運営する同港は、同社ウェブサイトによると、深さ 12.5m、長さ 740m の波止場に4つのバース、5 台のクレーンを備えているとのことです。詳しい情報は、シャルジャ政府の港湾関税局ウェブサイト www.sharjahports.gov.ae および Gulftainer のウェブサイト www.gulftainer.com をご覧ください。ハーリド港の場所は下の地図をご参照ください。

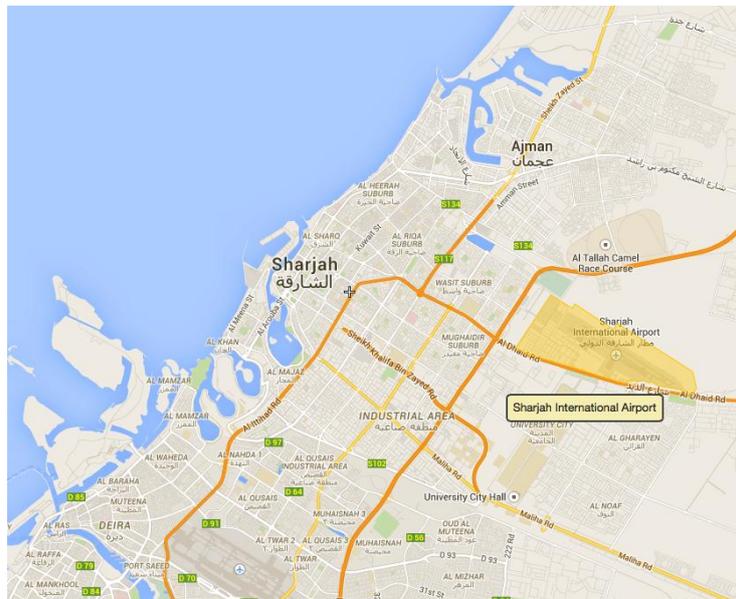


Map data ©2015 Google

5.1.2 空港

5.1.2.1 シャルジャ国際空港

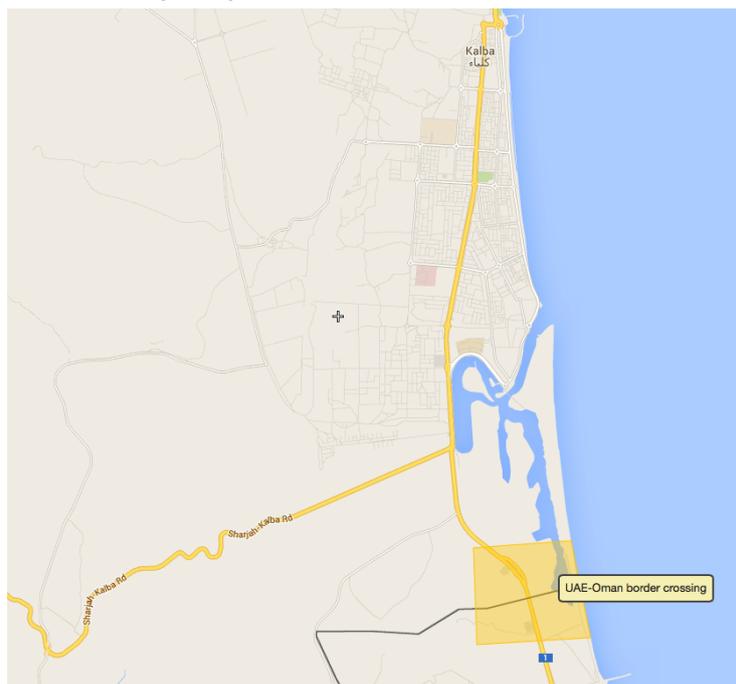
シャルジャ国際空港は、旅客機と貨物機の両方が乗り入れ、シャルジャの格安航空エア・アラビアの拠点空港です。シャルジャ国際空港のウェブサイトによると、2014年、同空港は900万人以上の旅客、237,000トンを超える貨物の発着があったとのこと。詳しい情報は、ウェブサイト www.sharjahairport.ae をご覧ください。シャルジャ国際空港の場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.1.3 陸の国境

シャルジャは、飛地領カルバの東海岸でオマーンと国境を接しています。カルバからオマーンの海岸線を結ぶ主要道路 (E99) に国境管理局があります。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.2 シャルジャのフリーゾーン

5.2.1 シャルジャ国際空港自由貿易ゾーン (SAIF Zone)

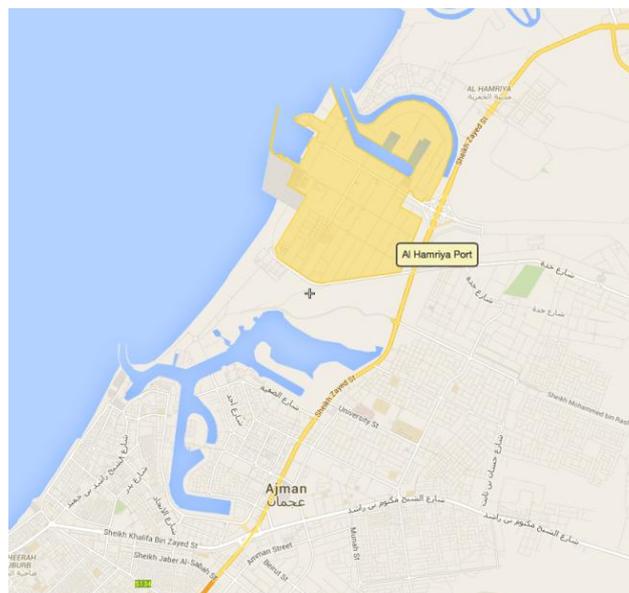
SAIF Zone は、シャルジャ国際空港に隣接しているため航空貨物の輸送に適しており、ホール・ファッカーン港やハーリド港へのアクセスも良好です。SAIF-Zone ウェブサイトによると、同フリーゾーンには 4,100 を超える企業の登録があるとのこと。シャルジャ政府当局は、SAIF フリーゾーンを管轄外とみなしているため、フリーゾーン内に所在する企業を取り締まるのは極めて困難です。詳しい情報は、ウェブサイト www.saif-zone.com をご覧ください。SAIF Zone の場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.2.2 ハムリヤ港自由貿易ゾーン

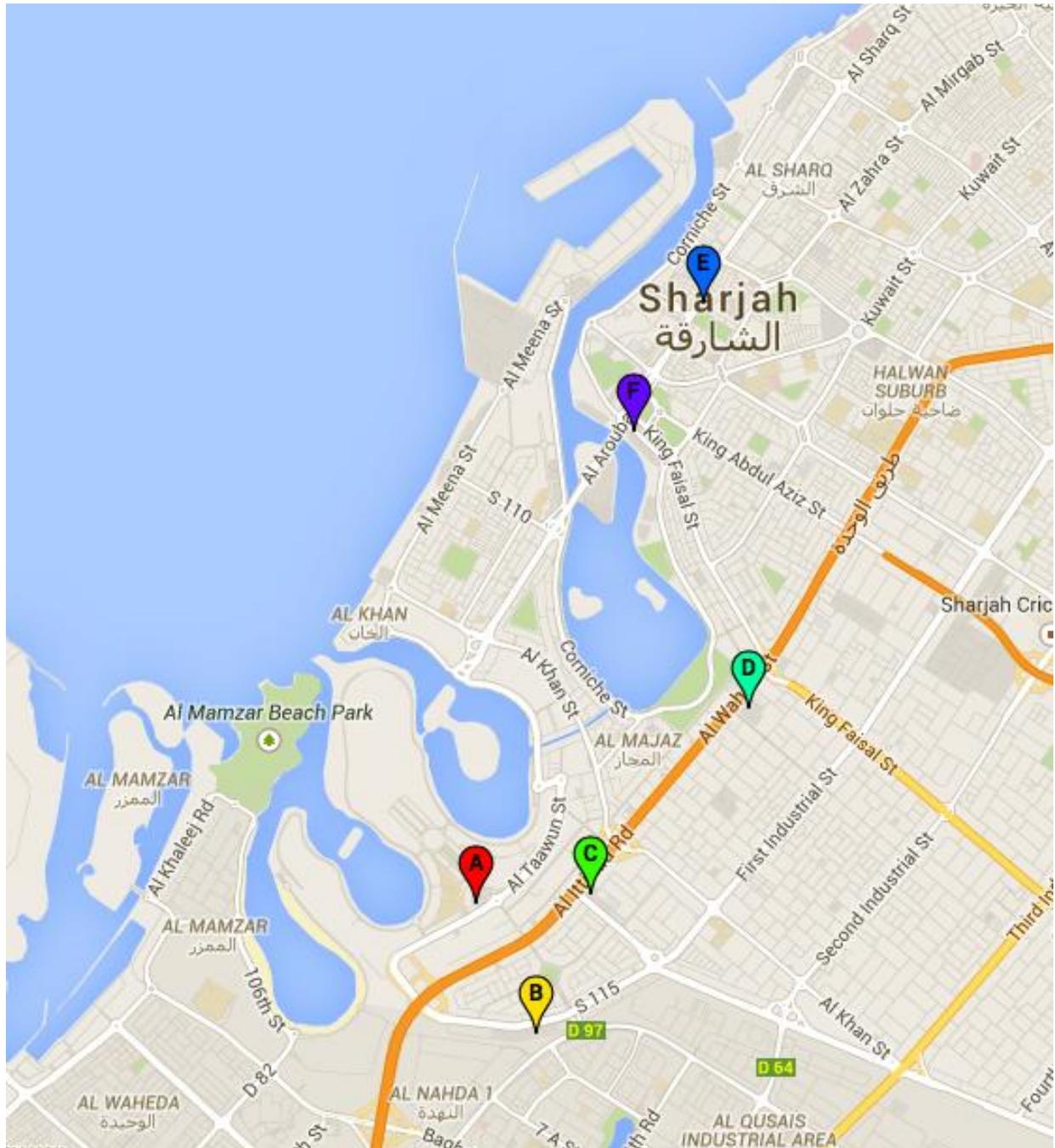
ハムリヤ港自由貿易ゾーンは、アジュマンの北部、ウムム・アル・クウェインとの境界に位置します。ハムリヤ・フリーゾーンのウェブサイトによると、ハムリヤ湾に隣接する同フリーゾーンは、既に建設済みの倉庫施設、工場、賃貸オフィスビルを備えたおよそ 2200 万平方メートルの主要工業地帯と商用地となっています。詳しい情報は、ウェブサイト www.hfza.ae をご覧ください。ハムリヤ港自由貿易ゾーンの場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.3 シャルジャのショッピングモール

シャルジャの主なショッピングモールを下の地図に示します：



Map data ©2015 Google

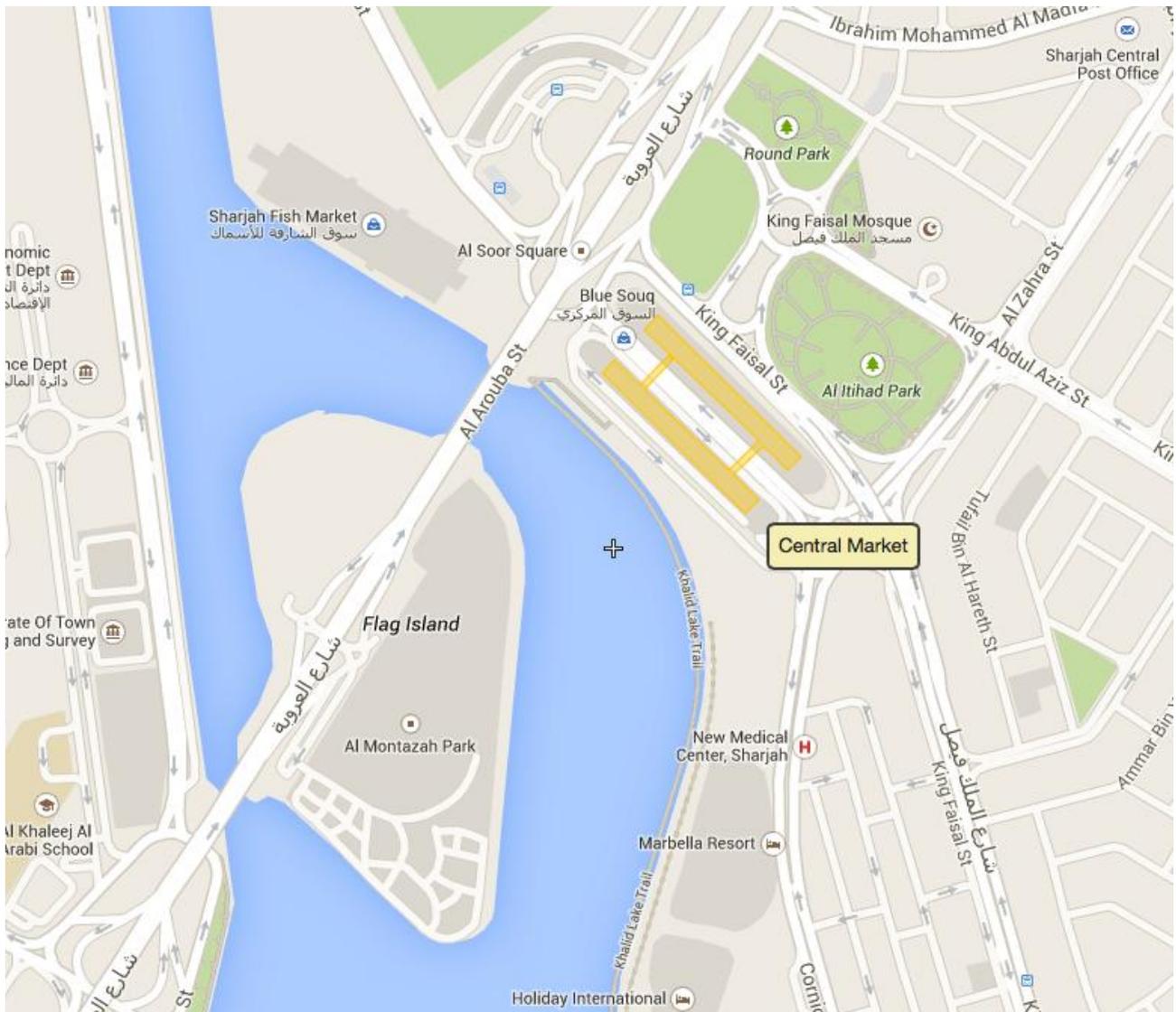
- Arab Mall
- Sahara Mall
- Safeer Mall
- City Centre Sharjah
- Rolla Mall
- Blue Souq

5.4 シャルジャの主な商業地帯

5.4.1 卸売・小売市場

5.4.1.1 スーク・アル・マルカジ(ブルー・スーク/セントラル・マーケット)

スーク・アル・マルカジ(ブルー・スーク)は、シャルジャ中央に位置し、安価な衣料、アンティーク、宝石、貴金属が売られています。場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

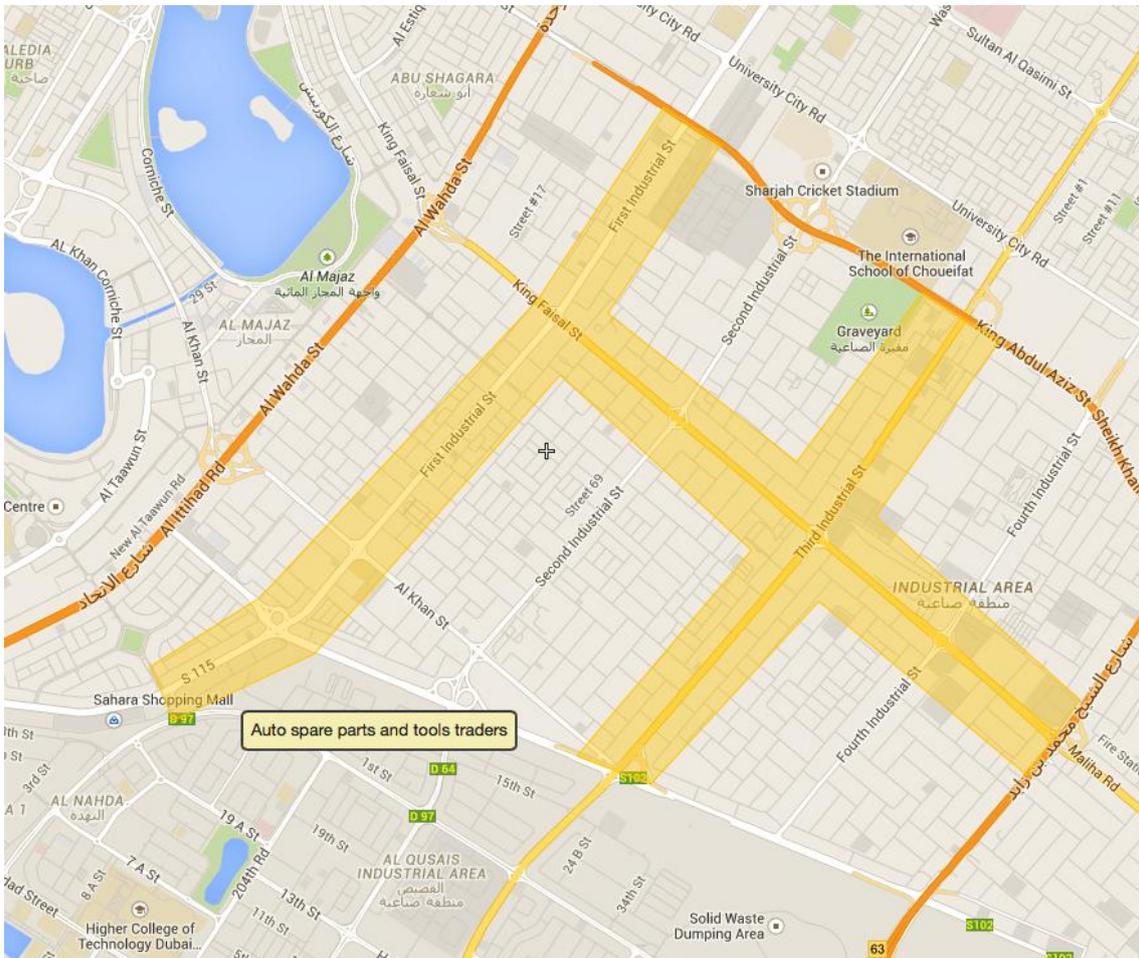
5.4.1.2 自動車部品と工具の地域

シャルジャ政府経済開発局 (SEDD) のウェブサイトは、「シャルジャ経済開発局は、10万点以上の偽造車両部品を押収した。その価値は数百万ディルハム相当に及ぶ。これら偽造品は全て、世界的に有名なメーカーの製品として消費者に販売される予定だった。SEDD 局長は『わずか数か月のうちに行った強制捜査で、このように大量の偽造車両部品が押収されたのは二度目である。』と述べ、同局は、『有名ブランドのロゴをつけた偽造品の販売など、資材、製品、サービスの不正取引に対し、厳重な取り締まりを続けている。強制捜査が増えていることから、不正行為摘発の対策が機能していることが分かる。』と報じています。

出典： シャルジャ政府経済開発局 2013年5月6日号

http://www.sedd.ae/wps/portal/economic/home!/ut/p/b0/04_Sj9CPykssy0xPLMnMz0vMAFGjzOJN_J0Mfb3dDQ0sPPwMDDwNAzwcPSzDjJ0NzPSDU_P0C7IdFQE1iTIR/?1dmy&urile=wcm%3Apath%3A/sedd_en/about+us/media+center/news/100picee

自動車部品店や工具店はシャルジャのいたるところで見られますが、工業地帯に特に多く並んでいます。中でも、第一、第三工業通り、キング・ファイザル通り近辺に集中しています。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

5.5 工業地帯

シャルジャの主な工業地帯:



Map data ©2015 Google

5.5.1 シャルジャ内陸コンテナ・デポ (SICD)

シャルジャ内陸コンテナ・デポは、35 棟の屋内倉庫、通関、保管施設、コンテナ・デポが備えられた大規模な内陸ターミナルで、第 18 工場地帯に直結しています。

5.5.2 シャルジャ国際空港フリーゾーン (SAIF Zone)

SAIF Zone は主に倉庫施設の充実した大規模な工場地帯で、シャルジャ国際空港に隣接し、シャルジャ内陸コンテナ・デポにも近く、交通の便の良い場所にあります。

5.5.3 工業地帯 1-18

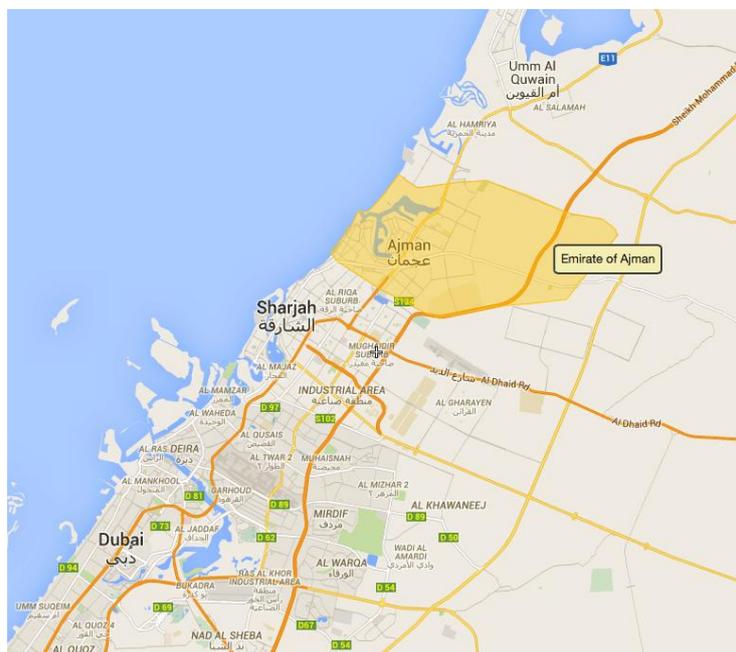
工業地帯 1-18 は、シャルジャの非常に広大な工業地帯を構成しています。この地帯では、不正商品や偽造品の保管倉庫が頻繁に見つかります。

6 市況報告 - アジュマン

アジュマンは、アラブ首長国連邦の中で最も小さな首長国です。西はペルシャ湾に面し、北、南、東はシャルジャ首長国との境界に囲まれています。東部にオマーンと隣接する飛地領マスフットがあります。

大部分が郊外地域ですが、北東には工業地帯および倉庫施設があります。アジュマン・クリークはアジュマン港建設のために浚渫され、アジュマン・フリーゾーンも設けられています。アジュマンでは織物業が盛んで、UAE の織物工場の 15%が同地域にあります。経済を支える主な産業は、製造、建設、卸売・小売、不動産、ビジネス・サービス、運輸、倉庫、通信です。

UAE のアジュマン首長国の位置:



Map data ©2015 Google

アジュマンの飛地領マスフットの位置:



Map data ©2015 Google

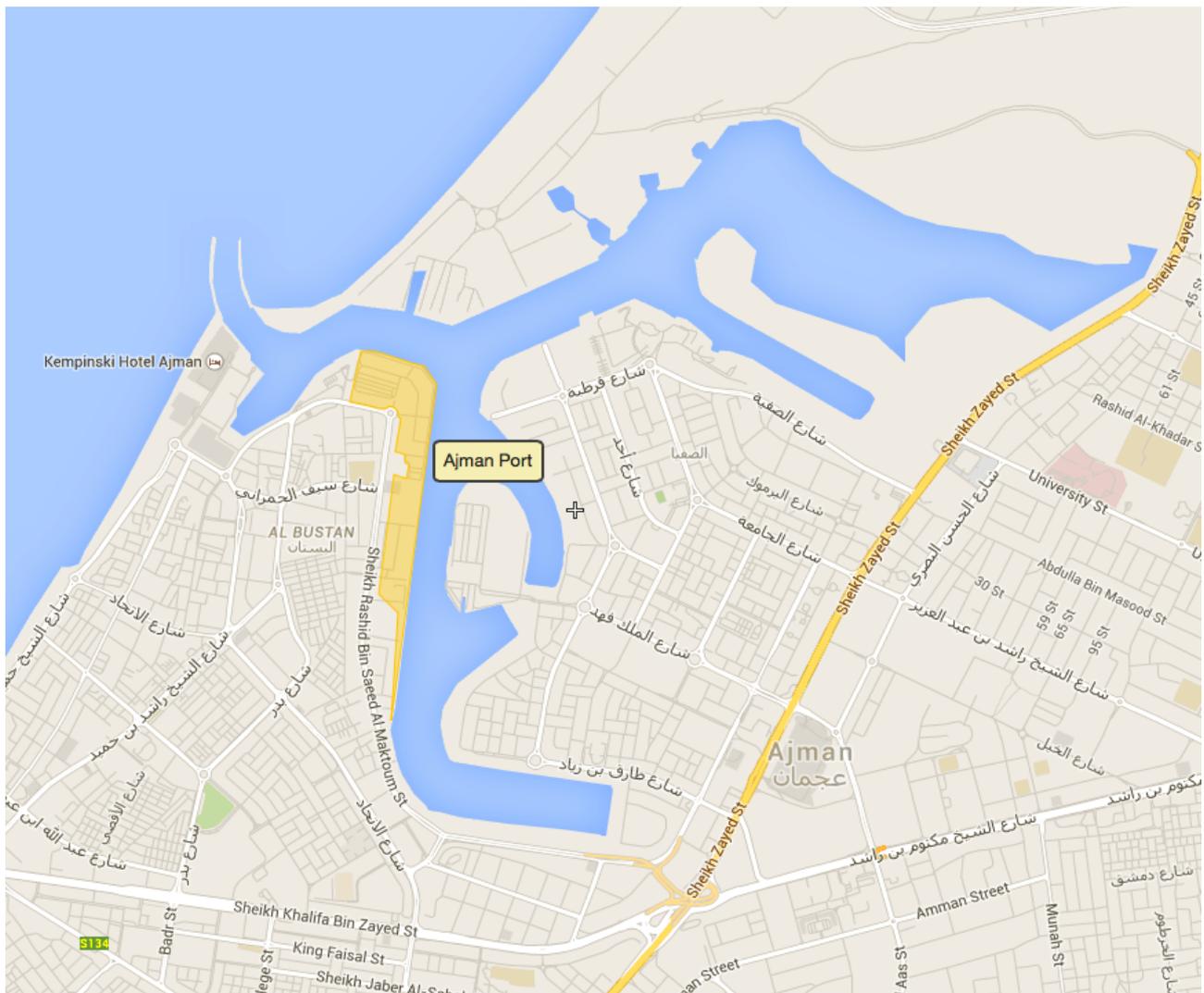
6.1 港、空港、陸の国境

6.1.1 港

6.1.1.1 アジュマン港

アジュマン港は、ハッチンソン・アジュマン国際ターミナルが運営しています。ウェブサイトによると、アラビア湾内に位置するアジュマン港は、東西両市場にサービスを提供できる格好の立地条件により、この地域で最も人気の高い港の一つとされています。アジュマン港には 55,000 平方メートルの屋内倉庫施設が完備されています。詳しくは、ウェブサイト www.ajmanport.gov.ae をご覧ください。

アジュマン港の位置：

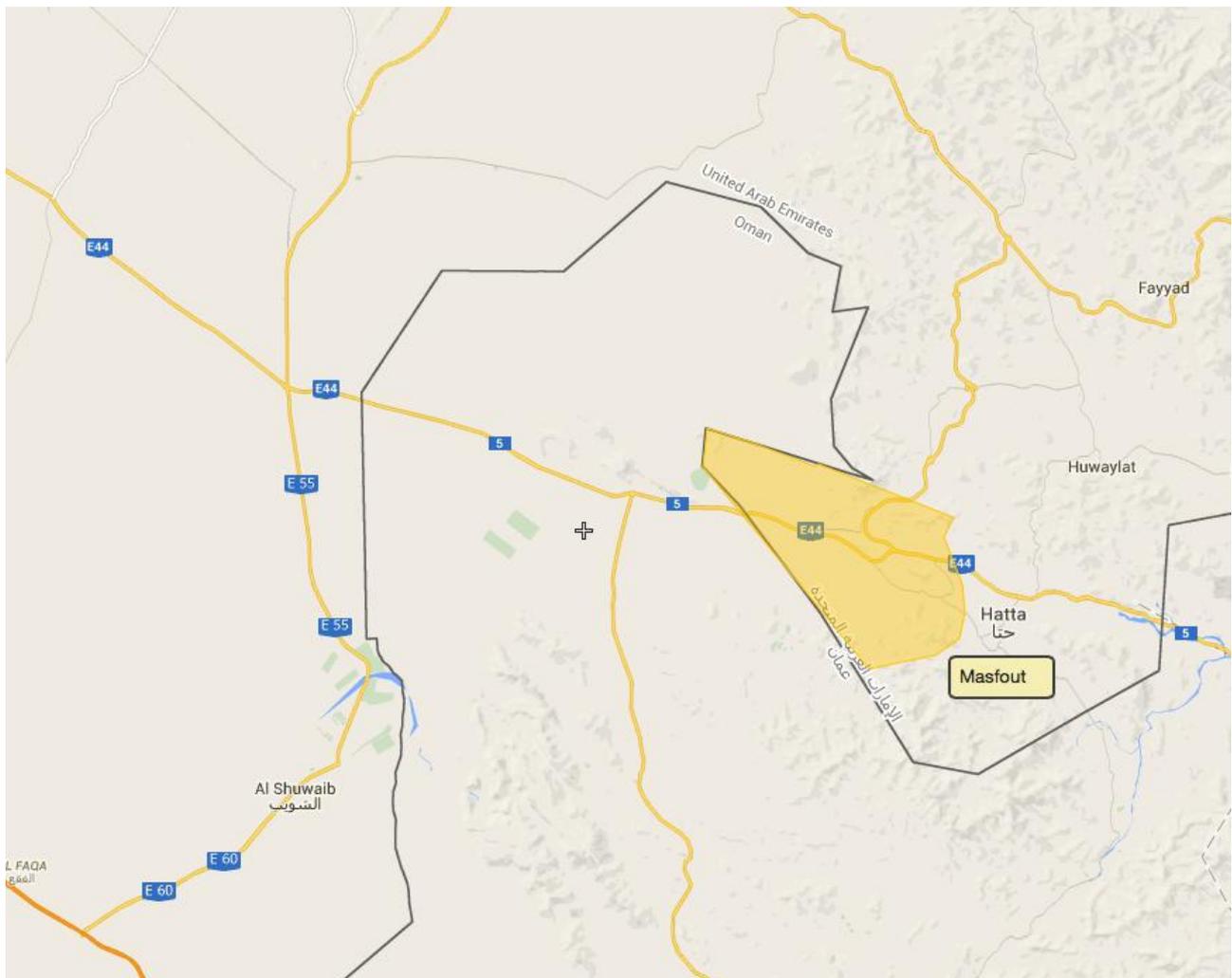


6.1.2 空港

現在、アジュマンには国際空港はありませんが、アジュマンの飛地アル・マナーナで国際空港の建設工事が進められています。

6.1.3 陸の国境

アジュマンの飛地マスフットはオマーンと境界を接しています。ドバイとハッタ(オマーンとの国境)を結ぶ E44 に非公認の国境があります。下の地図をご参照ください。

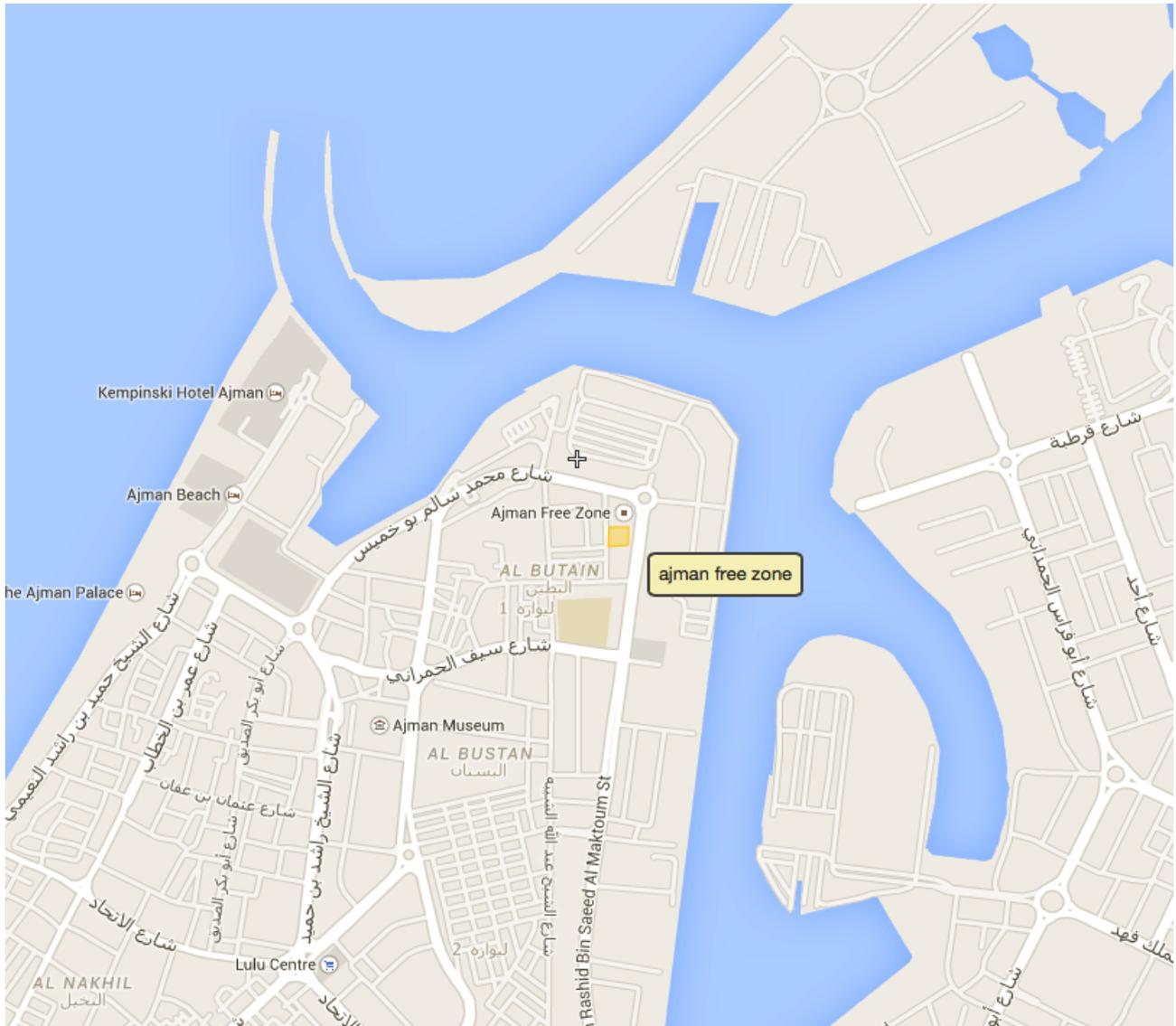


Map data ©2015 Google

6.2 アジュマンのフリーゾーン

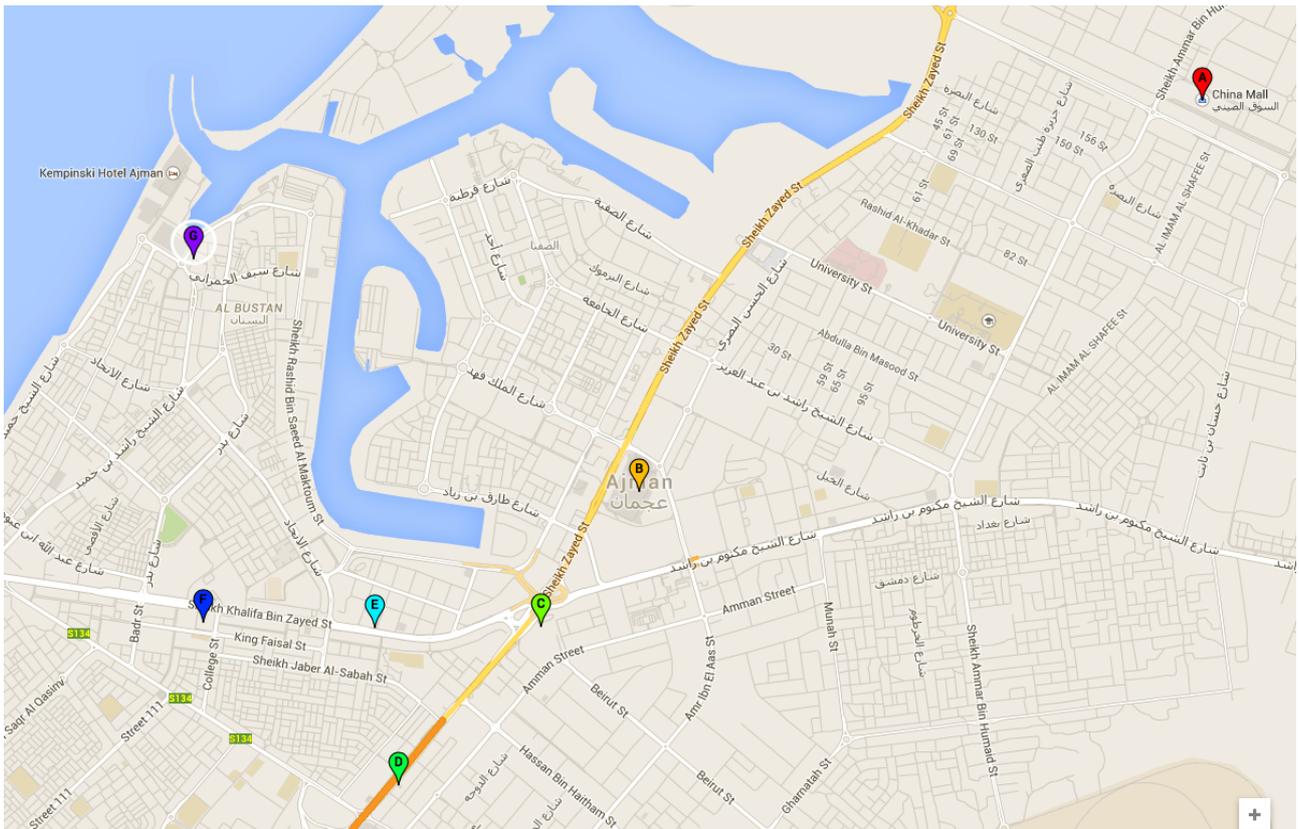
6.2.1 アジュマン・フリーゾーン

アジュマン・フリーゾーンは、アジュマン港付近にあります。詳しい情報はウェブサイト www.afza.gov.ae をご覧ください。アジュマン・フリーゾーンの場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

6.3 アジュマンのショッピングモール



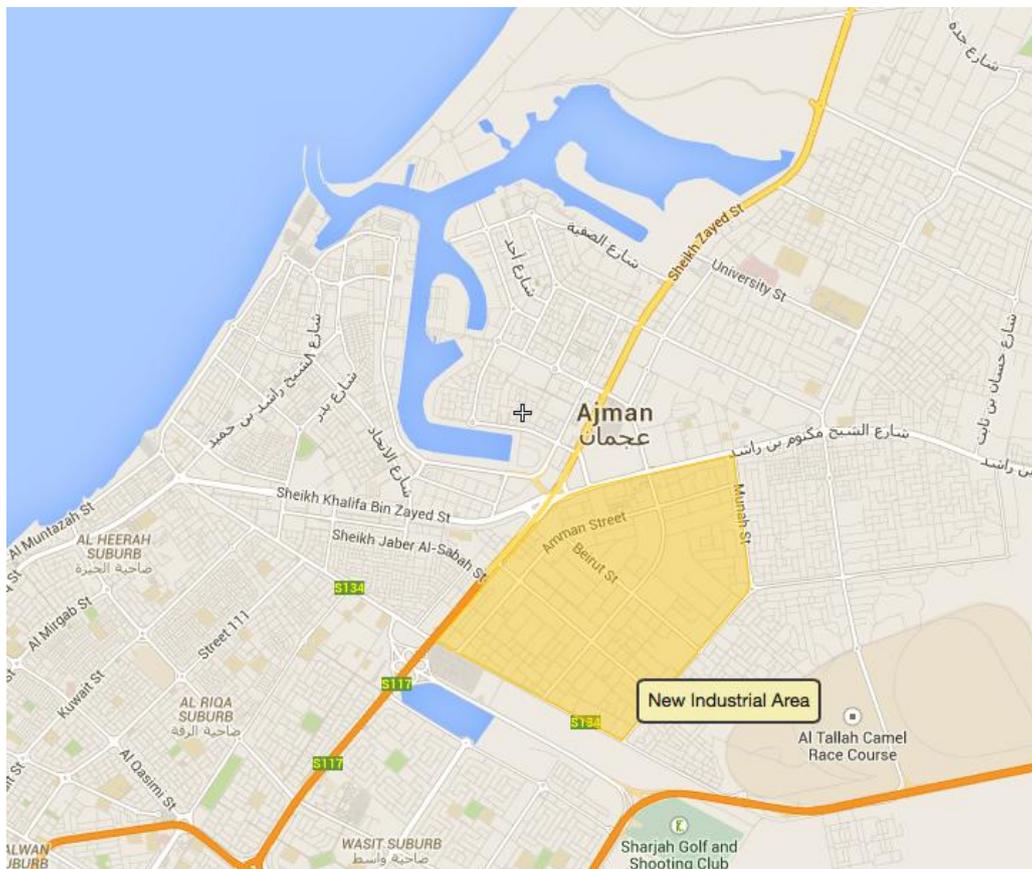
Map data ©2015 Google

-  China Mall
-  Ajman City Centre
-  Nour Al Kawthar Mal
-  Fathima Shopping Center
-  Dana Mall
-  Safeer Mall
-  Al Zhara Shopping Center

6.5 工業地帯

6.5.1 アジュマン工業地帯 1 & 2 (新工業地帯)

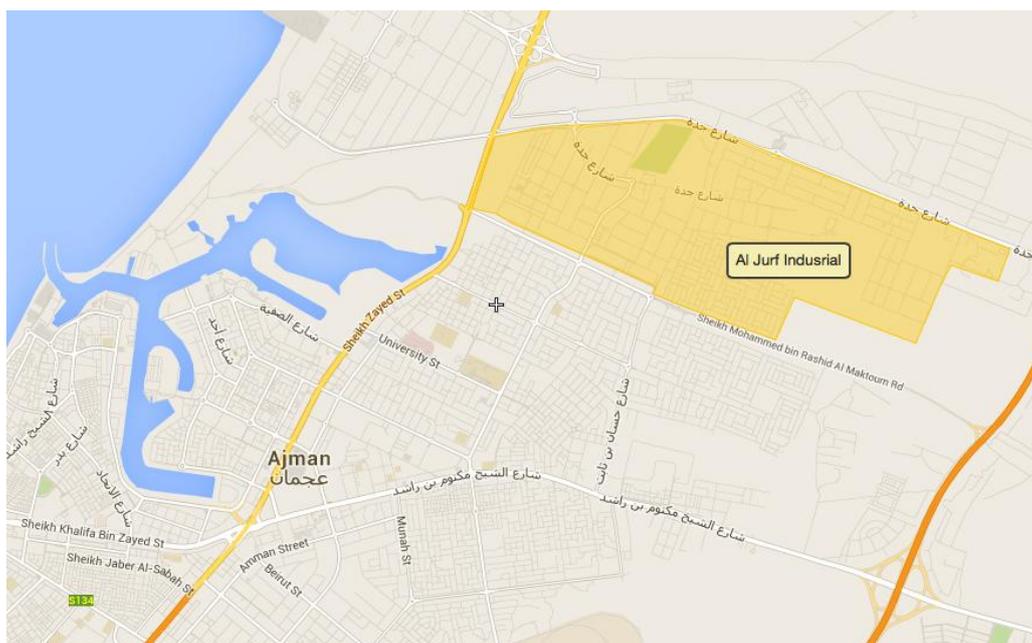
アジュマン工業地帯 1 & 2 (新工業地帯)の場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

6.5.2 アル・ジュルフ工業地帯 (1、2、3)

アル・ジュルフ工業地帯 1、2、3の場所は下の地図をご参照ください。

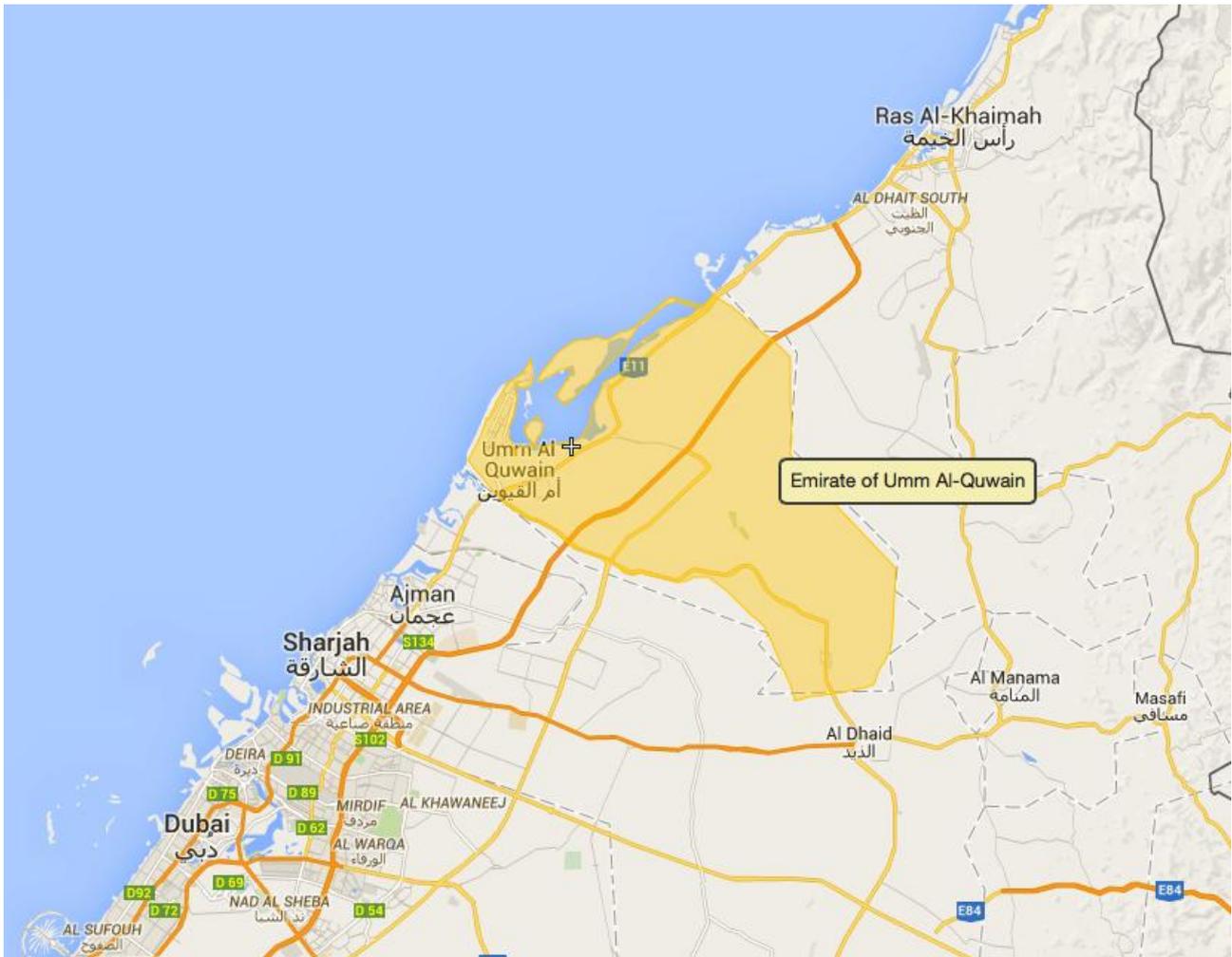


Map data ©2015 Google

7 市況報告 - ウム・アル・クウェイン

ウム・アル・クウェインは、アラブ首長国連邦の小さな首長国で、北をラス・アル・ハイマ、南をシャルジャと境界を接しています(ただし、一般に首長国の並びは、北から南へ、ラス・アル・ハイマ、ウム・アル・クウェイン、アジュマン、シャルジャ、ドバイ…とされています)。

アラブ首長国連邦内のウム・アル・クウェインの位置:



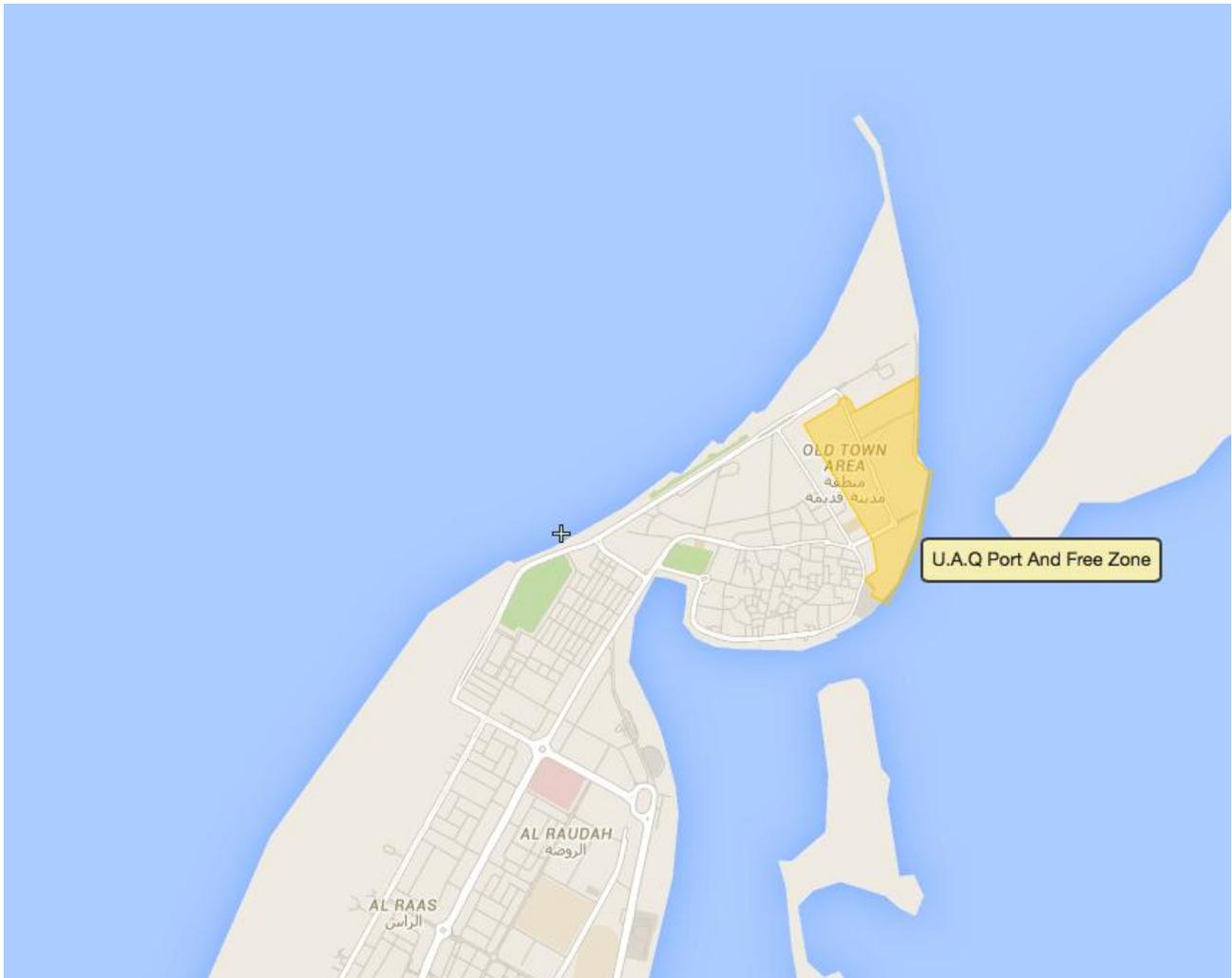
Map data ©2015 Google

7.1 港、空港、陸の国境

7.1.1 港

7.1.1.1 アーメド・ビン・ラシード港とフリーゾーン

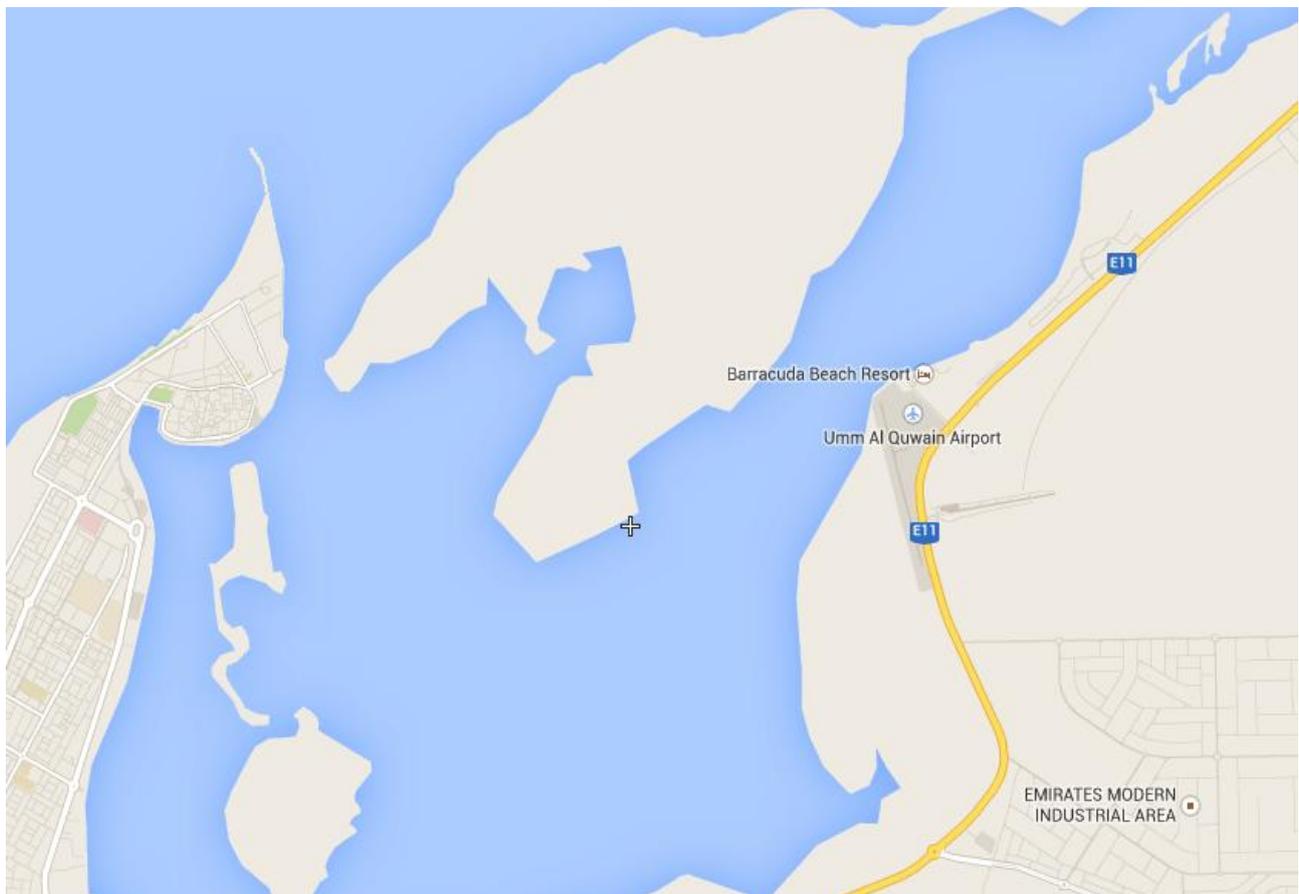
ウムム・アル・クウェイン港としても知られる同港およびフリーゾーンは、ウムム・アル・クウェインの旧市街地に位置します。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

7.1.2 空港

ウムム・アル・クウェインは国際空港がありませんが、現在使われていない飛行場があります。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

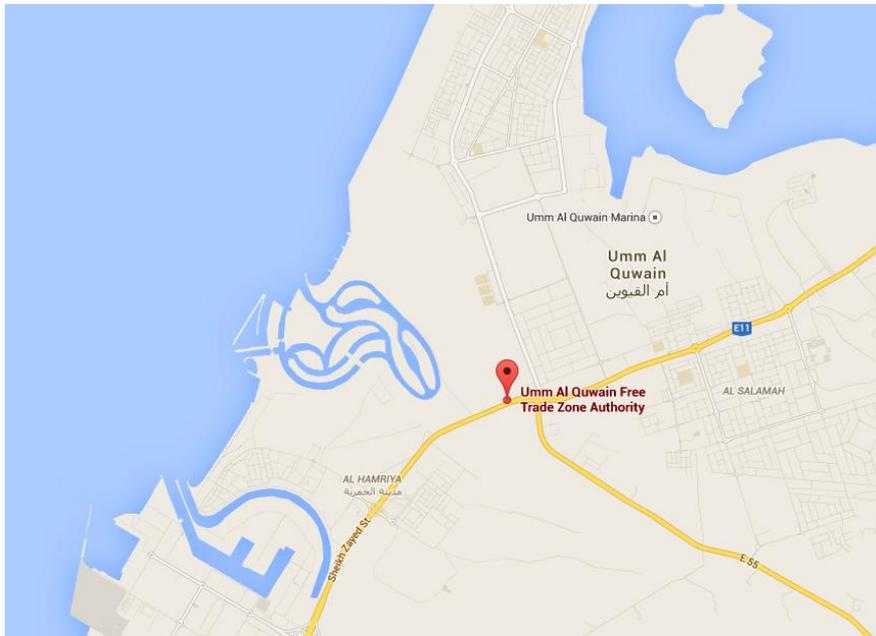
7.1.3 陸の国境

ウムム・アル・クウェインには他国との国境はありません。

7.2 ウム・アル・クウェインのフリーゾーン

7.2.1 ウム・アル・クウェイン自由貿易ゾーン

UAQ 自由貿易ゾーン当局の場所は、下の地図をご参照ください。

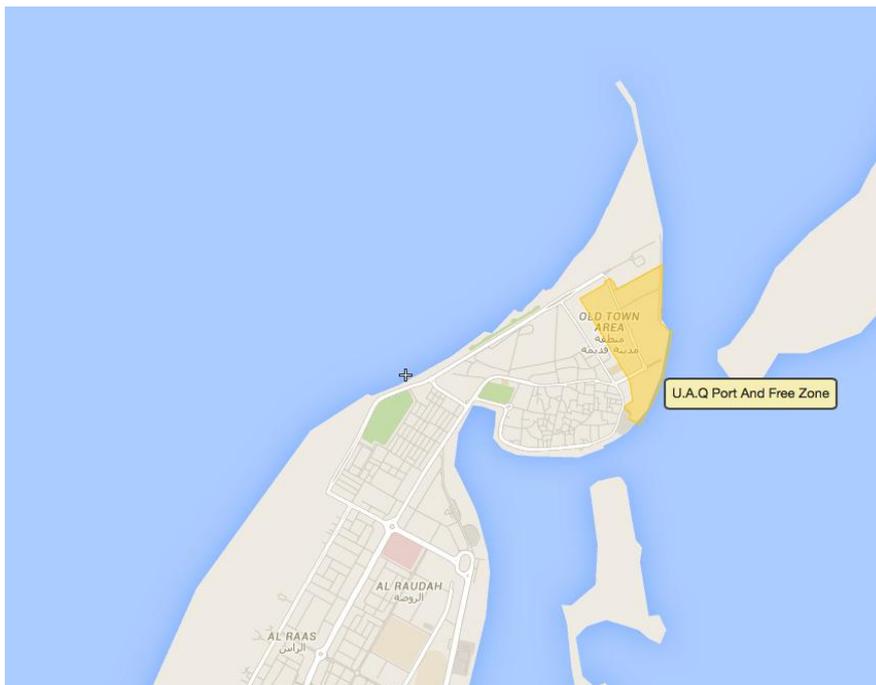


Map data ©2015 Google

詳しい情報は、UAQ Free Trade Zone のウェブサイト www.uaqftz.com をご覧ください。

7.2.2 アーメド・ビン・ラシード港とフリーゾーン

アーメド・ビン・ラシード港とフリーゾーンの場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

7.3 ウンム・アル・クウェインのショッピングモール

ウンム・アル・クウェインにはショッピングモールはありません。

7.4 ウム・アル・クウェインの主要商業地帯

7.4.1 卸売・小売市場

ウム・アル・クウェインには、いわゆる商業地帯はありません。大通りに卸売・小売の小さな店舗が並ぶ商店街があるだけです。下の写真は、典型的な商店街です。



Khaleej Times 紙は「ウム・アル・クウェイン警察は、*Umm Al Thuoob* 工業地域から、100万ディルハム(81万米ドル)相当の偽造化粧品および偽造香水を押収した(後略)。アラブ人の被告は、販売目的で二つの倉庫に大量の偽造化粧品や偽造香水を隠していた。UAQ警察の組織犯罪対策部は、経済開発局と連携して、それら二つの倉庫から偽造品が満載された箱を押収した。偽造商品は、知的財産権を侵害するだけでなく、消費者の健康を危険に曝す恐れがある。」と報じています。

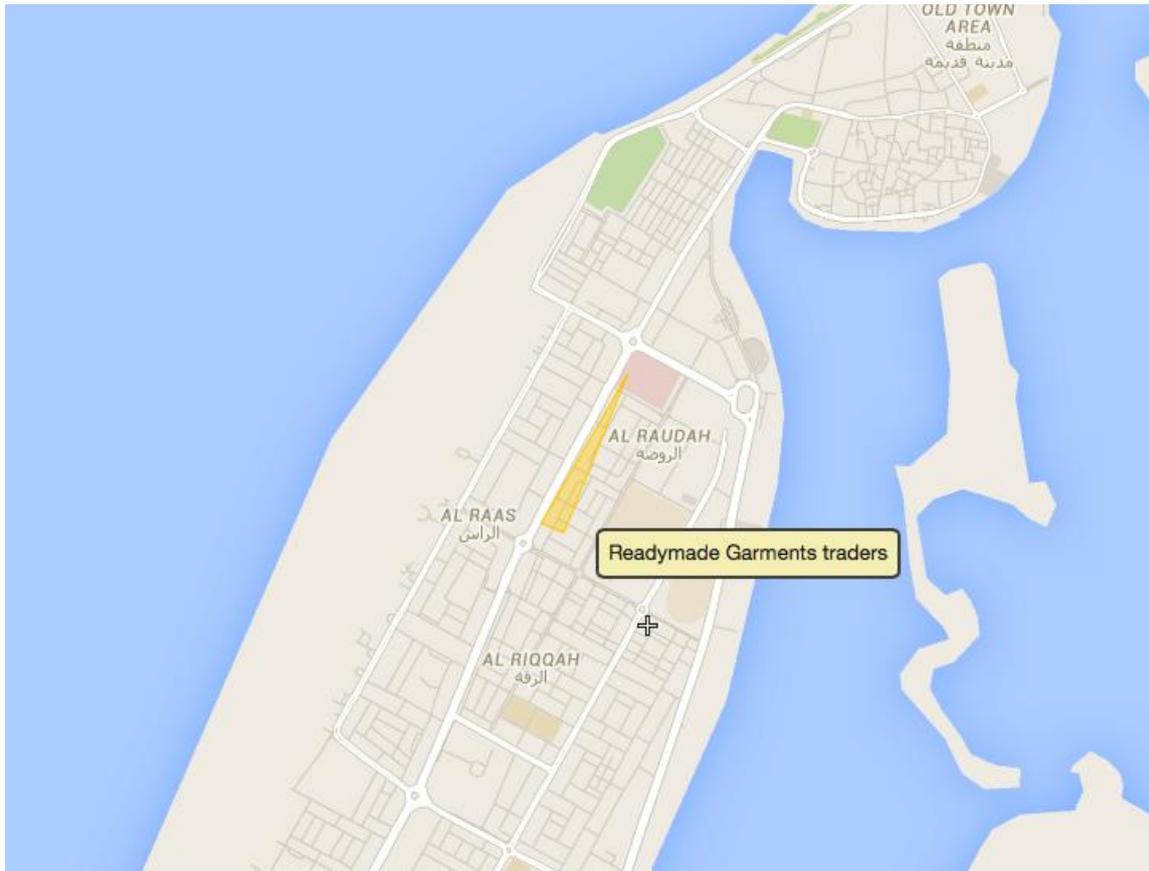
出典：Khaleej Times 紙 2014年7月22日号

http://khaleejtimes.com/nation/inside.asp?xfile=/data/crime/2014/July/crime_July52.xml§ion=crime

同業者が集中する地域がいくつかあります。以下にまとめます。

7.4.1.1 既製衣料品地域

既製衣料品の店舗が集まる地域は、下の地図をご参照ください。

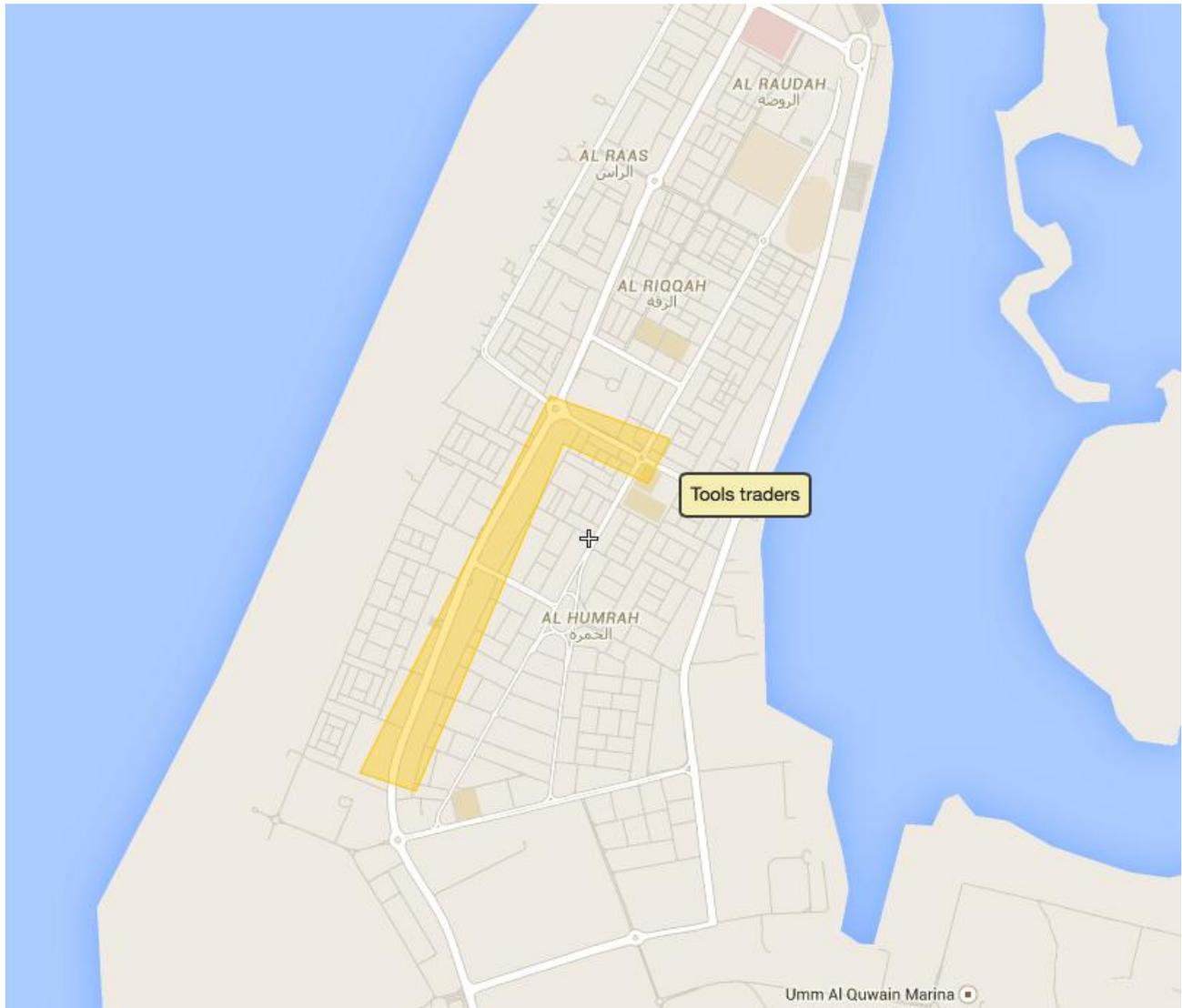


Map data ©2015 Google



7.4.1.2 工具店と自動車部品店

工具店や自動車部品店が集まる地域は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

7.5 工業地帯

ウムム・アル・クウェインの工業地帯の場所は、下の地図をご参照ください。

- 1) ウムム・アル・クウェイン新工業地帯
- 2) ウムム・アル・クウェイン工業地帯



Map data ©2015 Google

8 市況報告 - ラス・アル・ハイマ

ラス・アル・ハイマは、アラブ首長国連邦の最北端に位置する首長国です。同国は、北のラス・アル・ハイマ本土と、南東に位置する飛地の二つの部分に分かれています。

ラス・アル・ハイマは石油を産出しないため、観光、セメント製造、鉄鉱石採掘、陶器製造などを経済基盤としています。ラス・アル・ハイマには、Waldorf Astoria、Hilton、Rotana、Banyan Tree など大手五つ星ホテルが多く存在します。これらホテルの宿泊客は主にロシア、中東からの旅行者ですが、アラブ首長国連邦の現地駐在員にも人気です。

ラス・アル・ハイマ首長国の北部地域:



Map data ©2015 Google

ラス・アル・ハイマの南東の飛地:



Map data ©2015 Google

8.1 港、空港、陸の国境

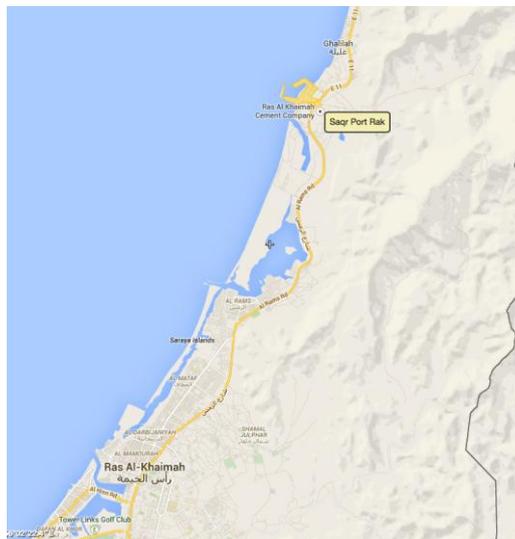
8.1.1 港

ラス・アル・ハイマには二つの港があります。大きい方のサクル港は、ラス・アル・ハイマ・セメント会社のある北部のコール・フワイル工業地帯内に位置し、第二の港、ジャジーラ港は南部にあります。

8.1.1.1 サクル港

コール・フワイル工業地帯内にあります。ウェブサイトによると「サクル港は、中東における混載貨物、骨材、石油、穀物などの主要港であり、商業施設、倉庫施設も充実している。」とのことです。ラス・アル・ハイマ・セメント会社は、同港に隣接しています。サクル港と航路に関する詳しい情報は、ウェブサイト www.saqrport.ae をご覧ください。

サクル港の位置:

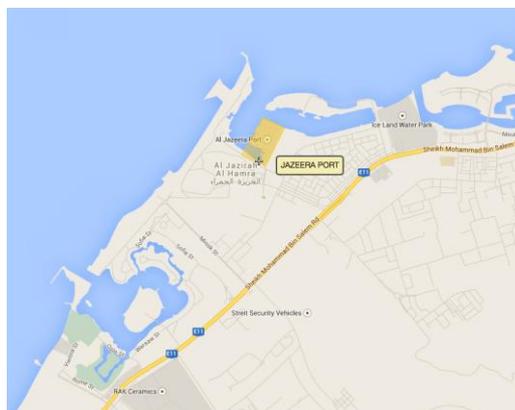


Map data ©2015 Google

8.1.1.2 ジャジーラ港

ウェブサイトによると、アル・ジャジーラ港は、主に「乾ドック、船舶の修理、海事手続き、代理サービス、貨物取扱、倉庫、保管など、総合的な海事・海運サービスが整っている。」とのことです。ラス・アル・ハイマの南部に位置し、有名なアル・ハムラ地区に直結しています。詳しい情報は、ウェブサイト www.aljazeeraport.ae をご覧ください。

ジャジーラ港の位置:



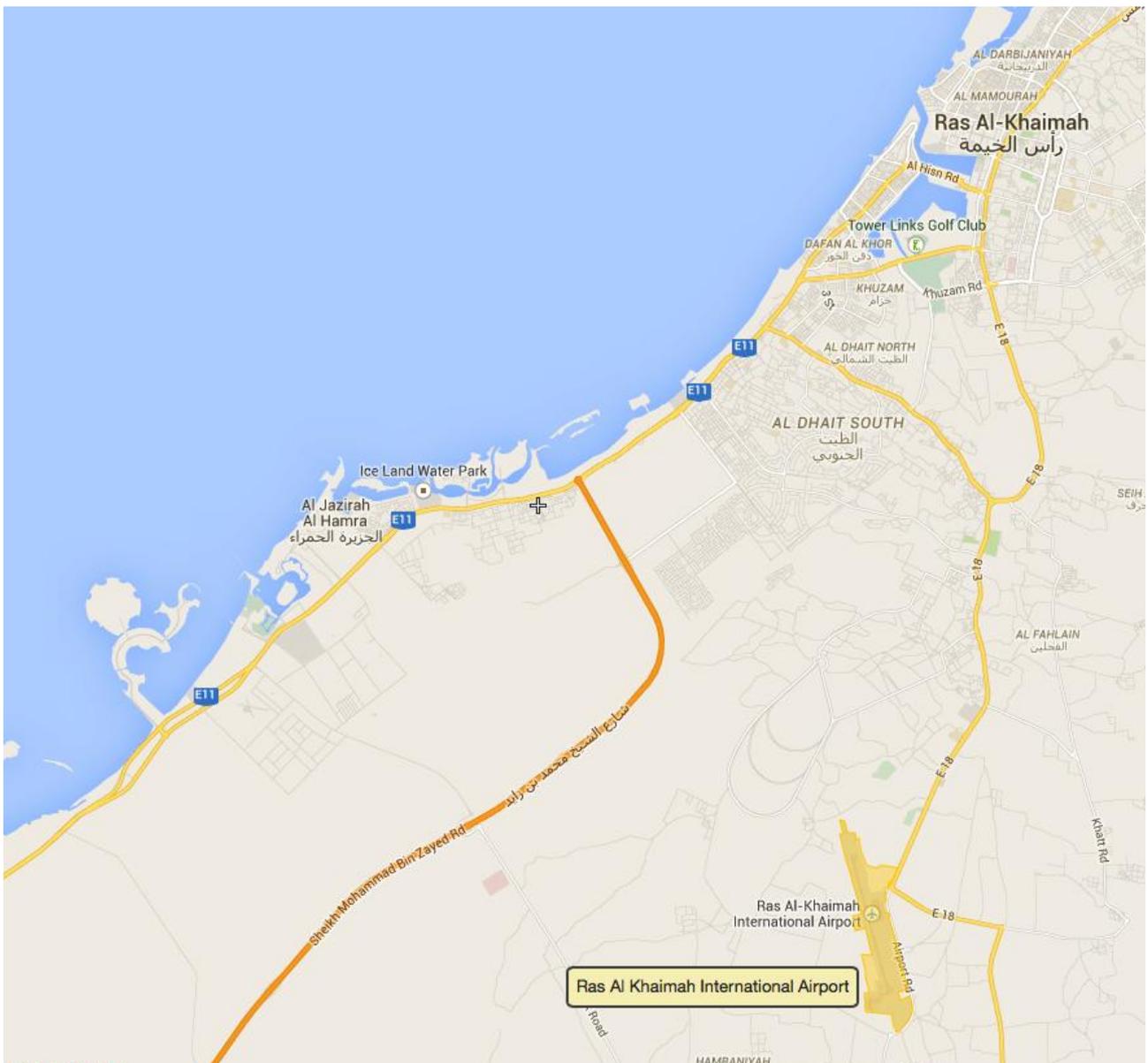
Map data ©2015 Google

8.1.2 空港

8.1.2.1 ラス・アル・ハイマ国際空港

ラス・アル・ハイマ国際空港は、2013年12月31日で運行を終了した RAK 航空の本拠地でした。現在、数は少ないものの、シャルジャのエア・アラビア航空の旅客機が、ラス・アル・ハイマ国際空港とエジプト、サウジアラビア、パキスタン、オマーン、バングラデシュとの間を運行しています。貨物便の発着もあります。詳しい情報は、ウェブサイト www.rakairport.com をご覧ください。

ラス・アル・ハイマ国際空港:



Map data ©2015 Google

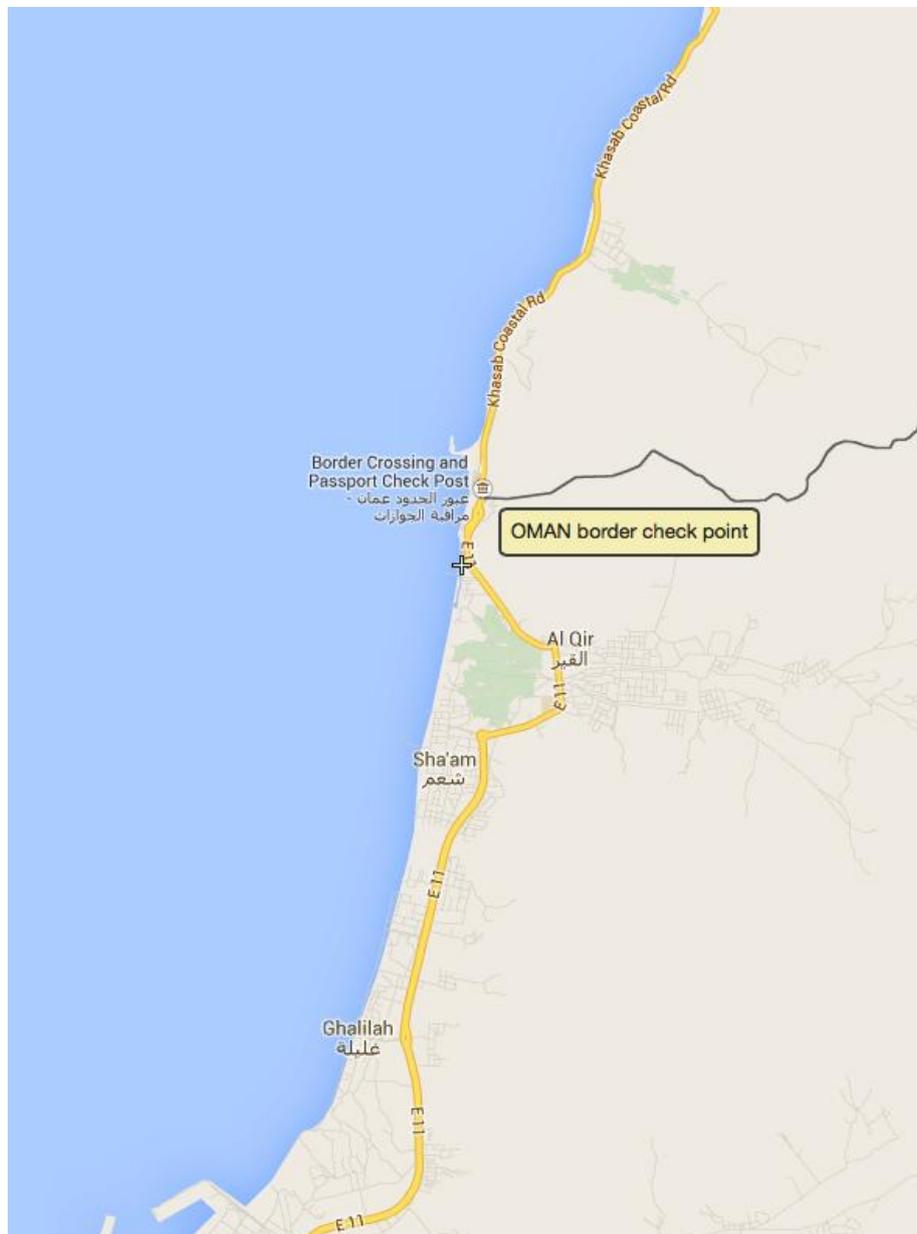
8.1.3 陸の国境

ラス・アル・ハイマの北側は、オマーンの飛地であるムサンダムと国境を接しています。ムサンダムは、辺境の山岳地帯であるため、政治的な意味合いだけでなく、物理的にもUAEと隔たりがあります。

ムサンダムは、イランから船ですぐの場所に位置するため、毎日、イランからモーターボートが不法に往来し、密輸が行われているものと見られています。よって、その規模は分かりませんが、イラン UAE 間の小物取引ルートが存在する可能性が伺えます。しかし、ボートの数と大きさから察するに、広く利用されているわけではなさそうです。

現在、唯一稼働している国境検問所は、西海岸沿いを走る E11 道路上にあります。境界点は、海岸上の山と海の接地点です。

ムサンダム(オマーン)との国境の位置:



Map data ©2015 Google

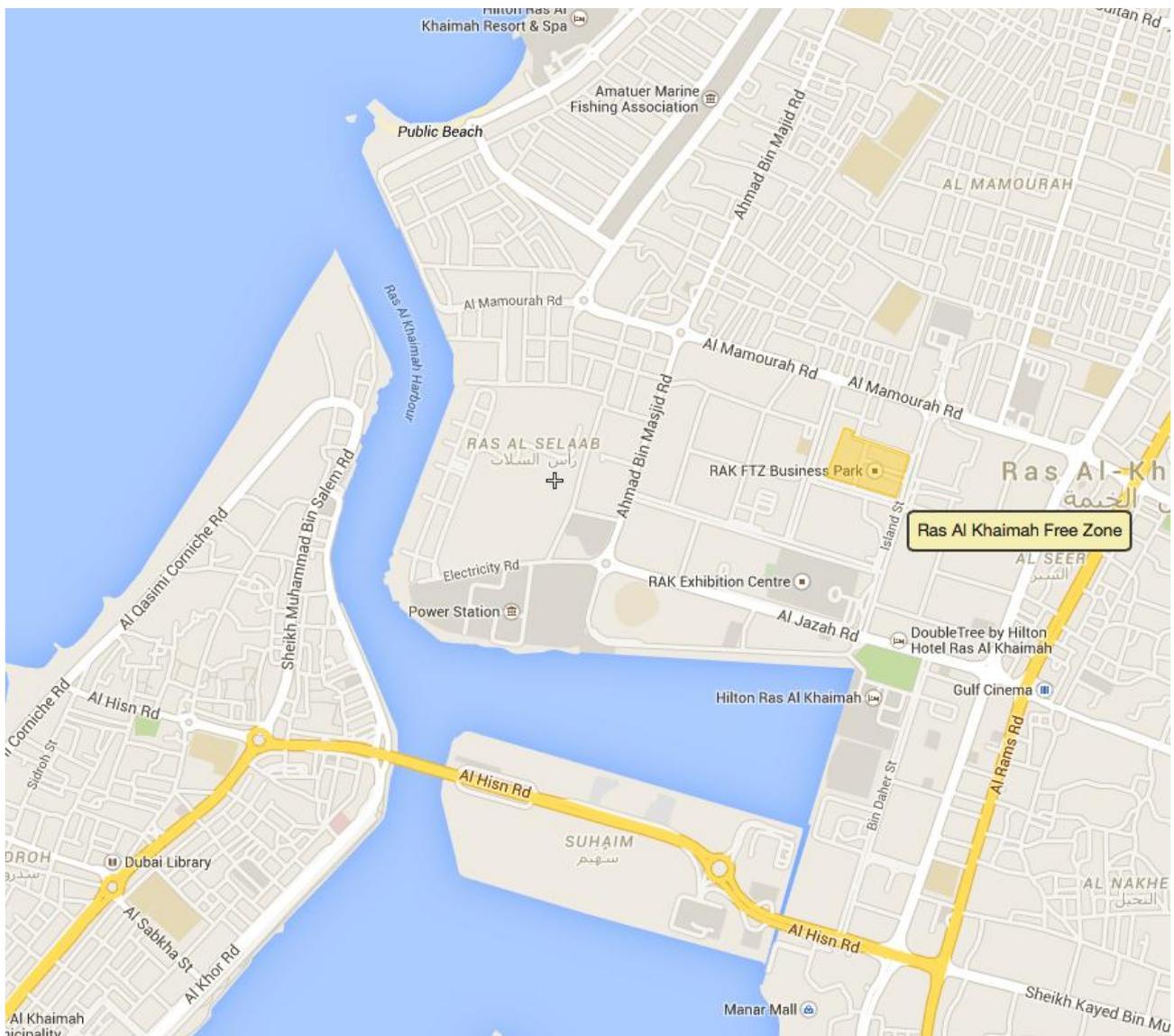
8.2 ラス・アル・ハイマのフリーゾーン

ラス・アル・ハイマには、二つのフリーゾーンがあります。ラス・アル・ハイマ自由貿易ゾーンと、ラス・アル・ハイマ投資局です。

8.2.1 ラス・アル・ハイマ自由貿易ゾーン (RAKFTZ)

RAKFTZ は 2000 年に開設され、UAE において最も費用効率良く会社を設立できるフリーゾーンの一つとして注目されています。ウェブサイトによると、同フリーゾーンには、現在およそ 8,000 社が登録し、オフィス、倉庫、工場などの施設も充実しているとのことです。詳しい情報は、RAKFTZ のウェブサイト www.rakftz.com をご覧ください。

RAKFTZ 当局の場所:

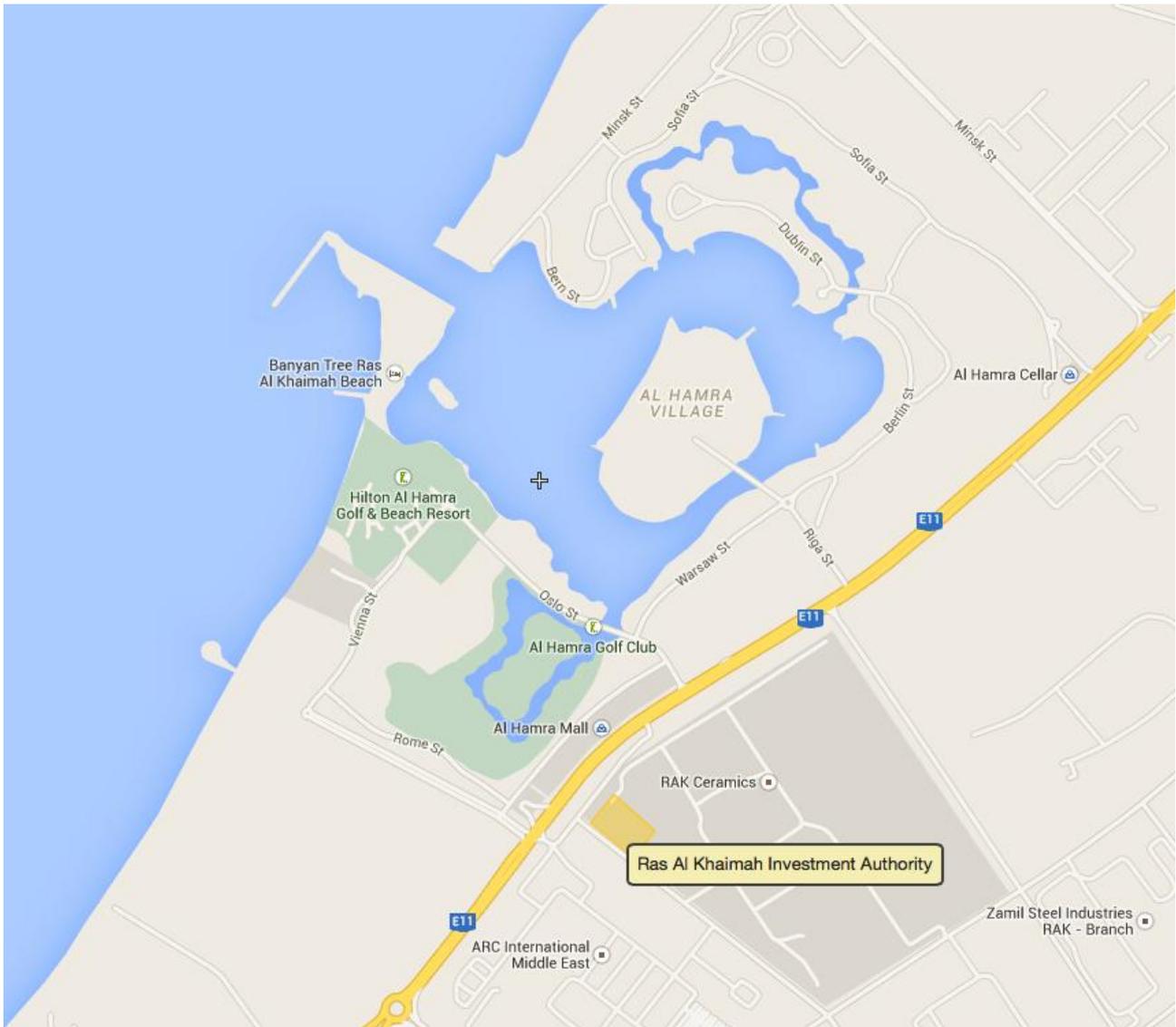


Map data ©2015 Google

8.2.2 ラス・アル・ハイマ投資局 (RAKIA)

RAKIA は、およそ 7,000 企業が登録し、アル・ハルマとアル・ゲイルの二つの工業地区に、フリーゾーン施設および非フリーゾーン施設を備えています。RAKIA で設立された会社の多くはドバイでもオフィスを確保し、ドバイ進出を狙う傾向にあるようです。詳しい情報は、ウェブサイト www.rak-ia.com をご覧ください。RAKIA 当局は、ラス・アル・ハイマの南部アル・ハムラのアル・ハルマ・ショッピングモールの向かいにあります。

RAKIA 当局の場所:

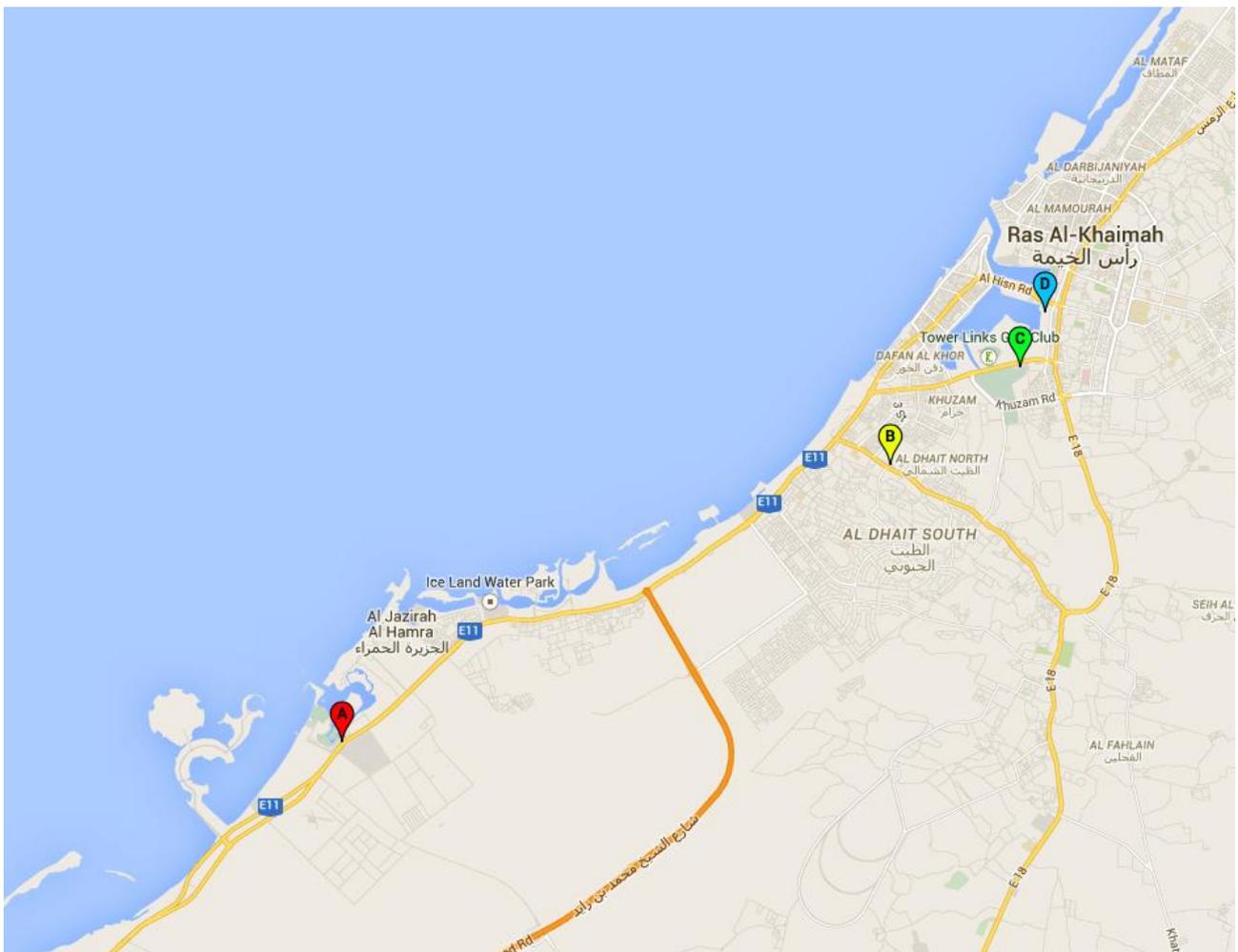


Map data ©2015 Google

8.3 ラス・アル・ハイマのショッピングモール

ラス・アル・ハイマには、四つの大きなショッピングモール、ラス・ハムラ・モール、サフィール・モール、RAK モール、マナー・モールがあります。これらモールには、国際的な店舗もありますが、ドバイの高級ショッピングモールほど豪華ではありません。これらのうち最も高級なショッピングモールはアル・ハムラ・モールですが、ここでも偽造品の販売が見られます。

ラス・アル・ハイマの主要ショッピングモール:



Map data ©2015 Google

- A Al Hamra Mall
- B Safer Mall
- C RAK Mall
- D Manar Mall

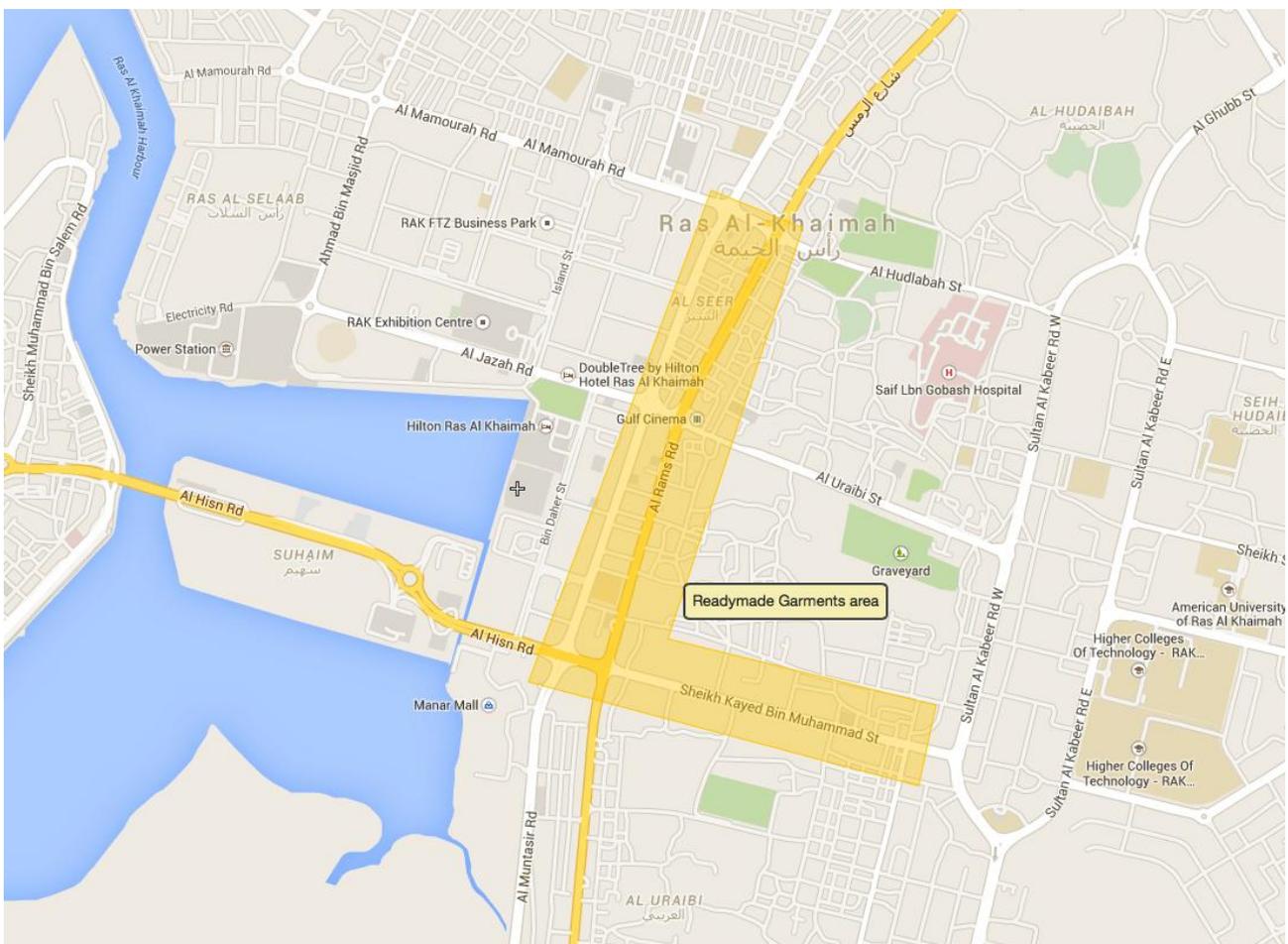
8.4 ラス・アル・ハイマの主要商業地帯

8.4.1 卸売・小売市場

ラス・アル・ハイマは小さい国であるため、取扱商品ごとに分かれた商業地区はありません。通常、1、2階建ての低い店舗が大通りに並び、様々な商品が安く販売されています。しかし、既製衣料品店、工具店や自動車部品店が多く集まる地域があります。主な地域について以下にまとめます。

8.4.1.1 既製衣料品

既製衣料品や靴を取り扱う店舗は、アル・ラムス道路、アル・ムンタシル道路、シェイク・カイド・ビン・ムハンマド通り周辺に多く集まっています。これらの店では、偽造品が多く売られています。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

8.4.1.2 工具と自動車部品

工具店や自動車部品店、自動車修理工場は、主にオマーン・ロアス／アル・ラムス道路沿いに集まっています。下の地図をご参照ください。

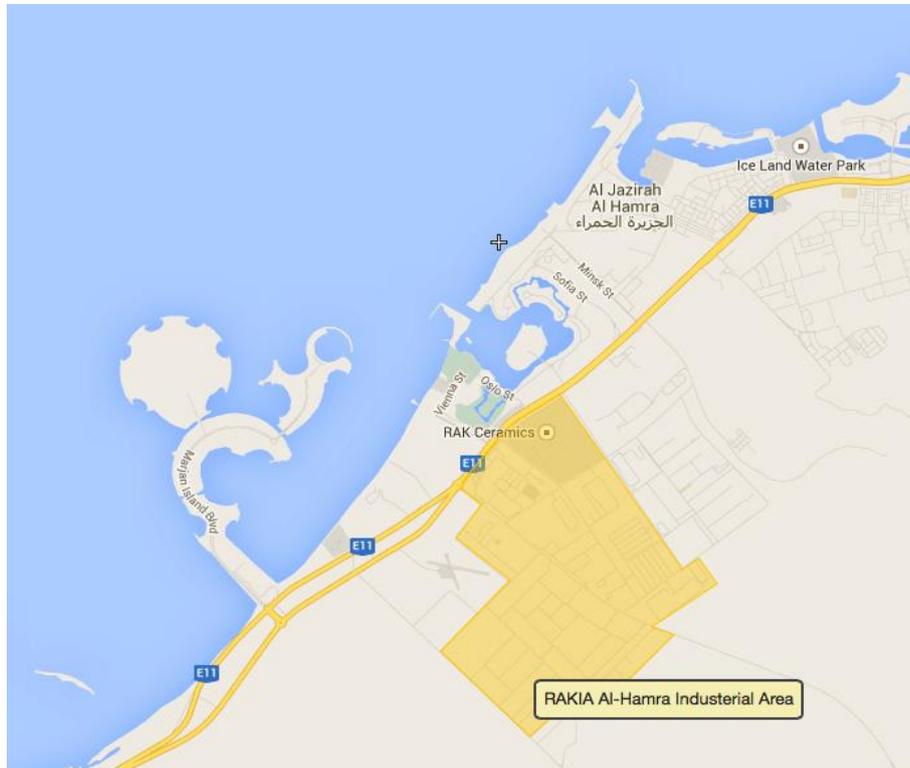


Map data ©2015 Google

8.5 工業地帯

8.5.1 RAKIA アル・ハイマ工業地帯

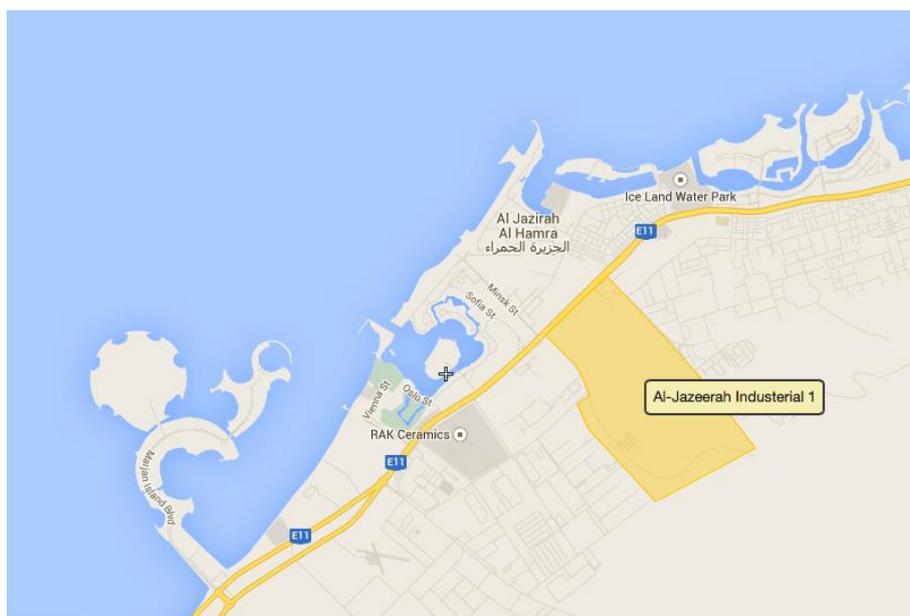
RAKIA アル・ハイマ工業地帯は、南部のアル・ハムラ地区に位置し、RAKIA アル・ハイマ・フリーゾーンもここにあります。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

8.5.2 アル・ジャジーラ工業地帯

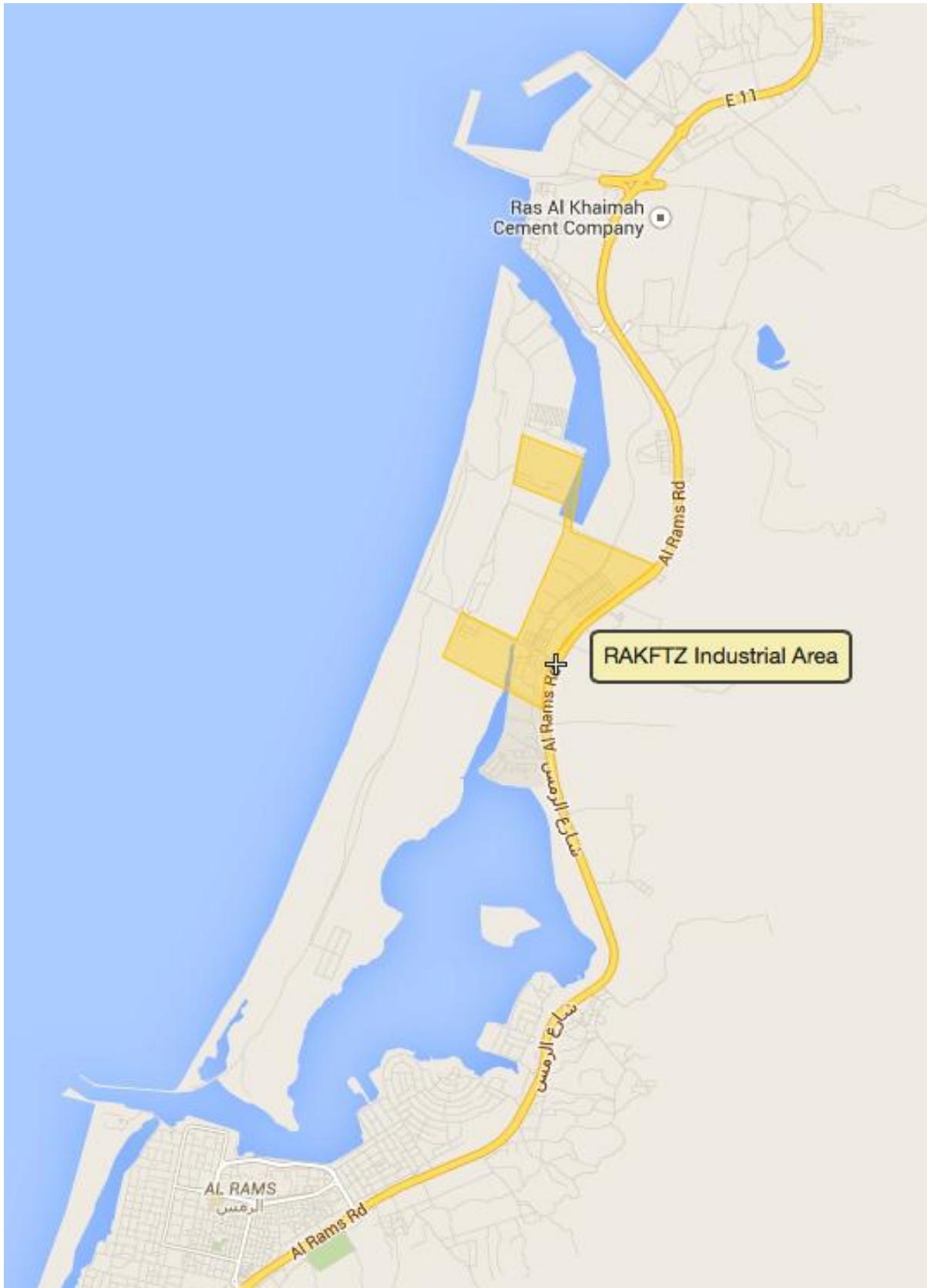
アル・ジャジーラ工業地帯は、RAKIA アル・ハムラ工業地帯に隣接し、アル・ジャジーラ港にも近く、交通の便の良い場所に位置します。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

8.5.3 RAKFTZ 工業地帯

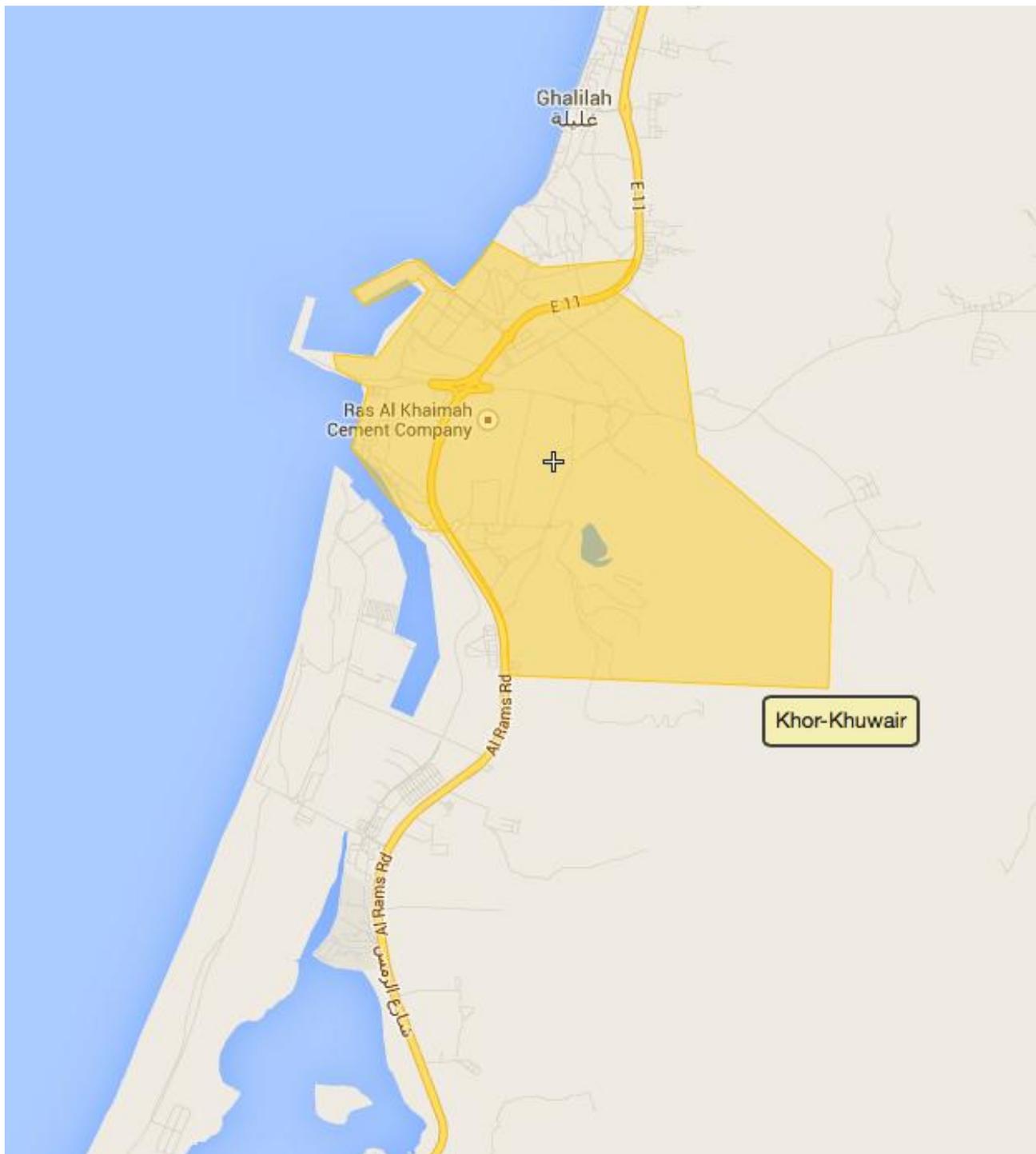
RAK 自由貿易ゾーン工業地帯はラス・アル・ハムラの北に位置し、RAK 自由貿易ゾーンの企業へ生産および倉庫設備を提供しています。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

8.5.4 コール・フワイル工業地帯

コール・フワイル工業地帯は、RAKFTZ 工業地帯の北側に位置し、ラス・アル・ハイマ・セメント会社とサクル港があります。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

8.5.5 RAKIA アル・ガイル工業地帯

RAKIA アル・ガイル工業地帯は、RAKIA フリーゾーンの第二工業地帯で、ラス・アル・ハイマの南部、E18 沿いに位置します。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

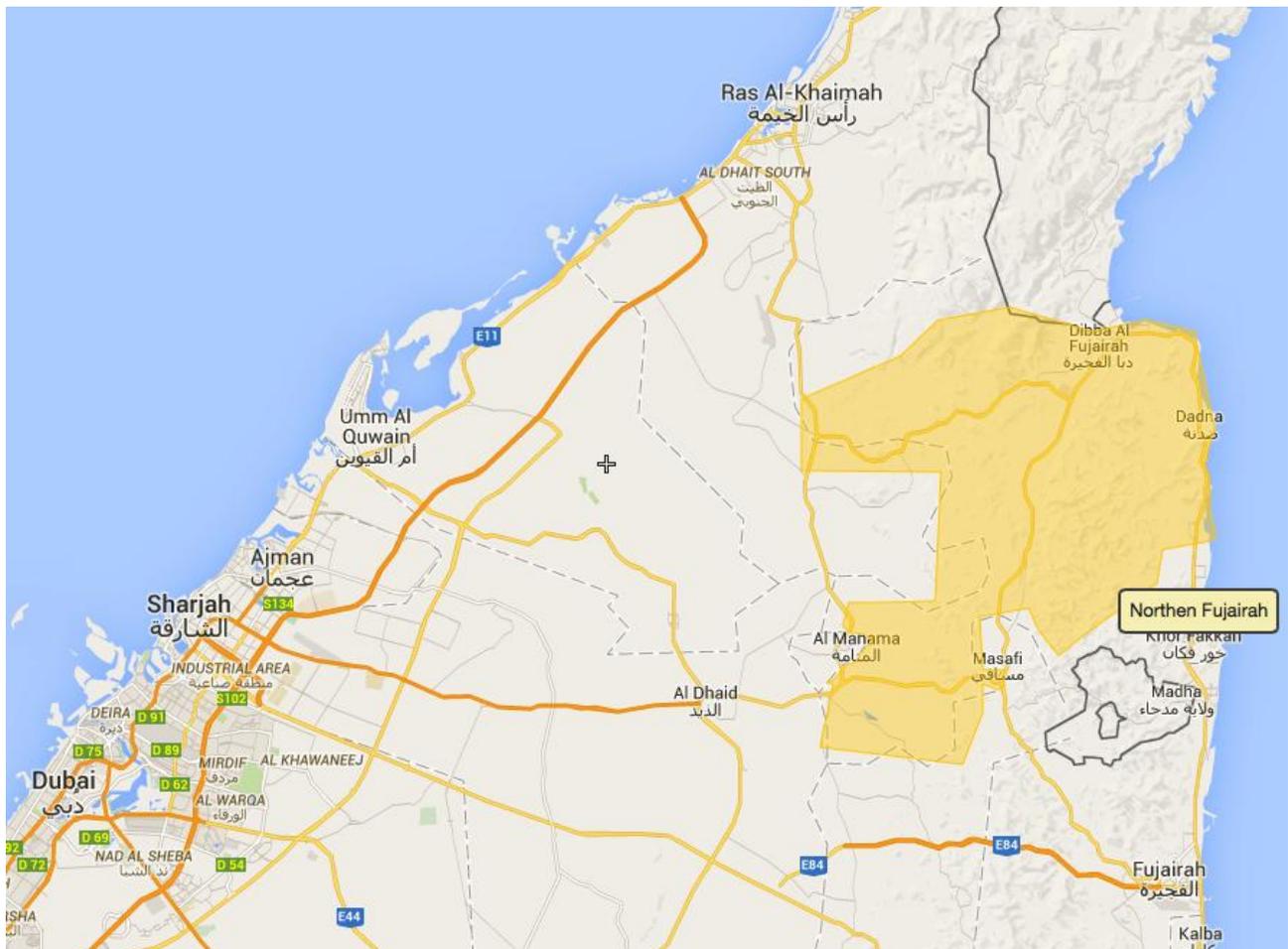
9 市況報告 - フジャイラ

フジャイラは、UAE の小さな首長国の一つで、東側のオマーン湾にのみ海岸線のある唯一の国です。西側のペルシャ湾には海岸線はありません。砂漠・砂丘地域の多い他の首長国と異なり、フジャイラの大部分は山岳地帯です。ラス・アル・ハイマ同様、フジャイラは石油の産出がありません。そのため、観光、建設、セメント、砕石、採鉱および連邦政府からの援助が経済基盤となっています。

山岳景観やオマーン湾の美しい海が人気のフジャイラには Le Meridien、Rotana、Radisson、Hilton など多くの五つ星ホテルがあります。

地理的に、フジャイラは(オマーンの飛地)ムサンダムに接する北部と、(国境は接していませんが)オマーン本土に近い南部の二つに分けられます。

フジャイラ首長国の北半分:



Map data ©2015 Google

フジャイラ首長国の南半分:



Map data ©2015 Google

フジャイラ市街を走る主要道路の写真:



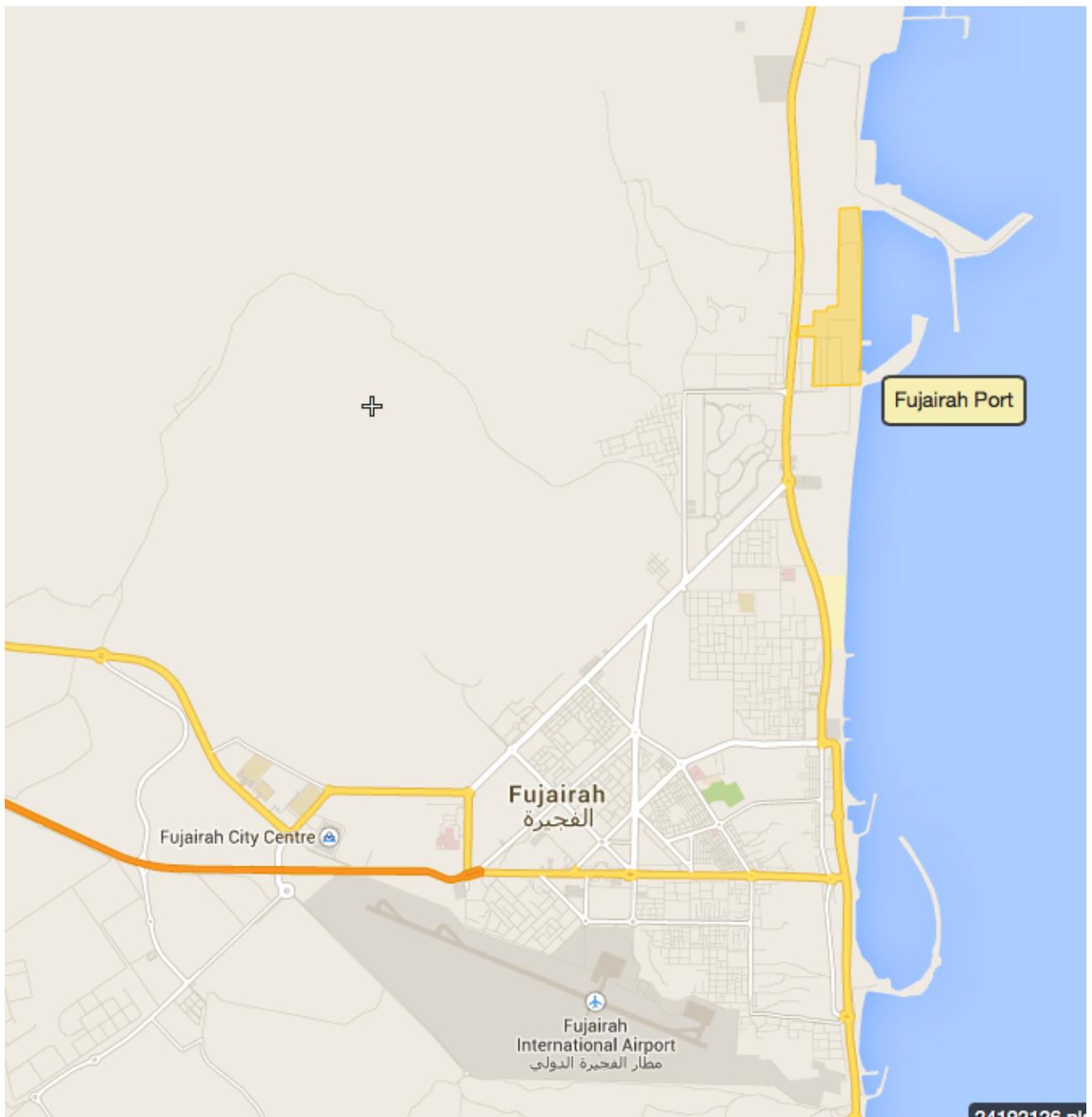
9.1 港、空港、陸の国境

9.1.1 港

9.1.1.1 フジャイラ港

フジャイラ港のウェブサイトによると、同港は、アラブ首長国連邦で唯一東海岸に位置する多目的港であるとのこと。フジャイラ港は、石油をはじめ、様々な一般貨物、混載貨物に対応できる総合設備が整っています。詳しい情報は、ウェブサイト www.fujairahport.ae をご覧ください。

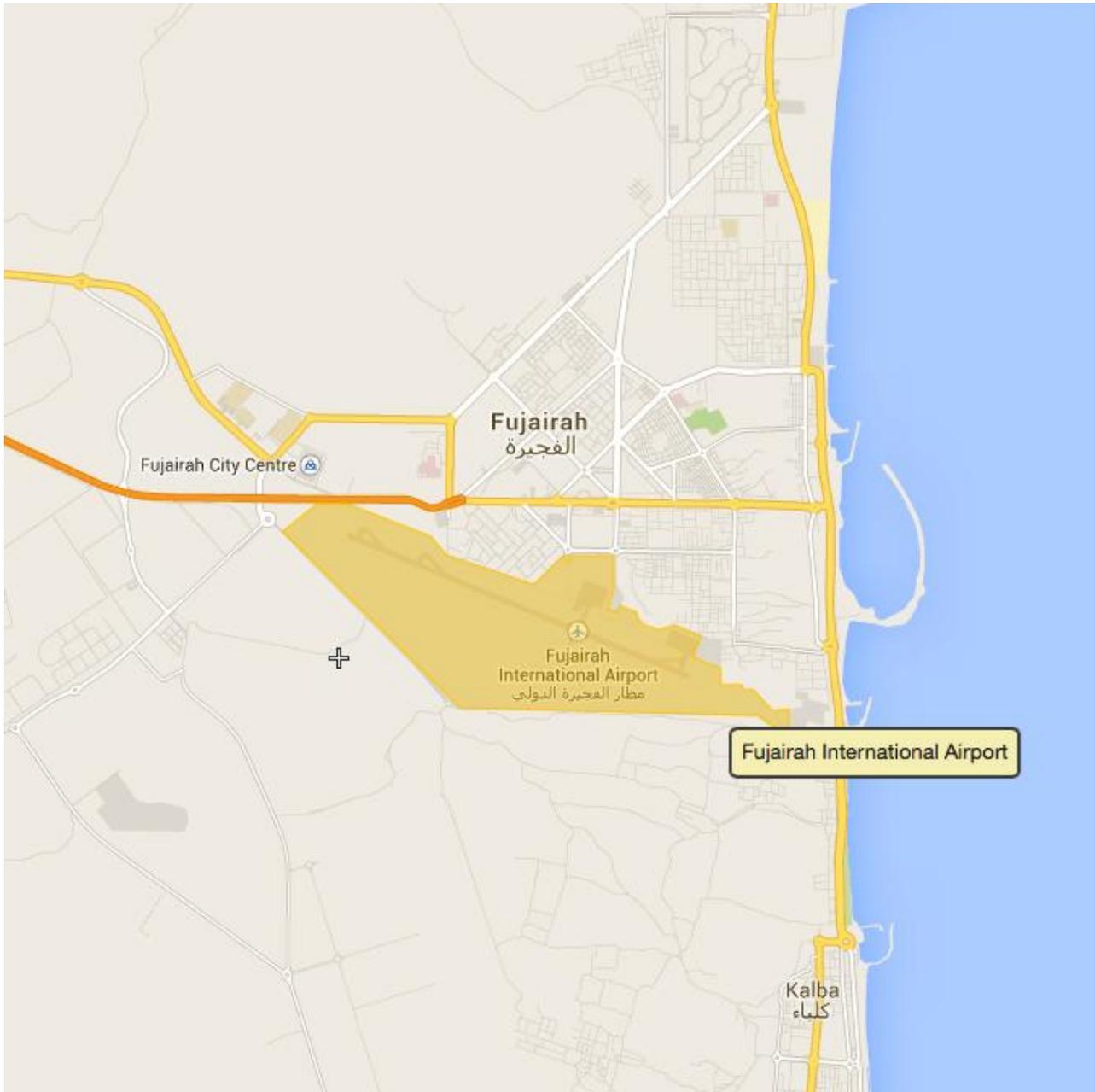
UAE のフジャイラ港:



9.1.2 空港

9.1.2.1 フジャイラ国際空港

フジャイラ国際空港は、貨物機と旅客機の両方の発着が可能です。しかし現在、同空港に乗り入れる旅客機は、ロタナ・ジェット航空 (www.rotanajet.com) のアブダビ行きの内便のみです。詳しい情報は、ウェブサイト www.fujairah-airport.com をご覧ください。フジャイラ国際空港の場所は下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

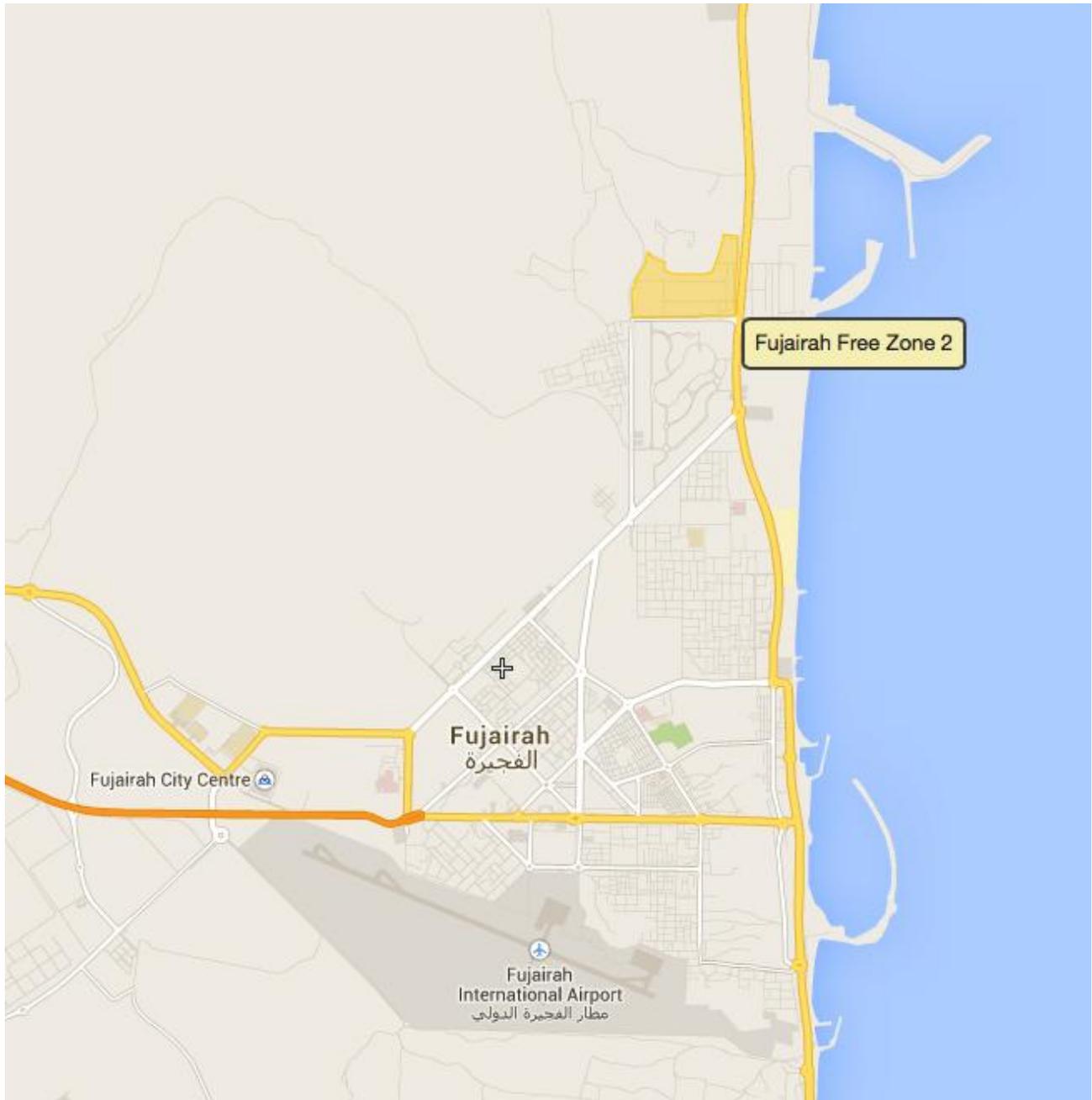
9.1.3 陸の国境

フジャイラ北部のディッバに(オマーンの飛地)ムサンダムとの非公認の国境検問所があります。国境通過に関する規則は、近年変化してきました。フジャイラの南部はオマーン本土と国境を接しています。

9.2 フジャイラのフリーゾーン

9.2.1 フジャイラ・フリーゾーン

フジャイラ・フリーゾーンはフジャイラ港に隣接し、フジャイラ国際空港の近くに位置します。下の地図をご参照ください。

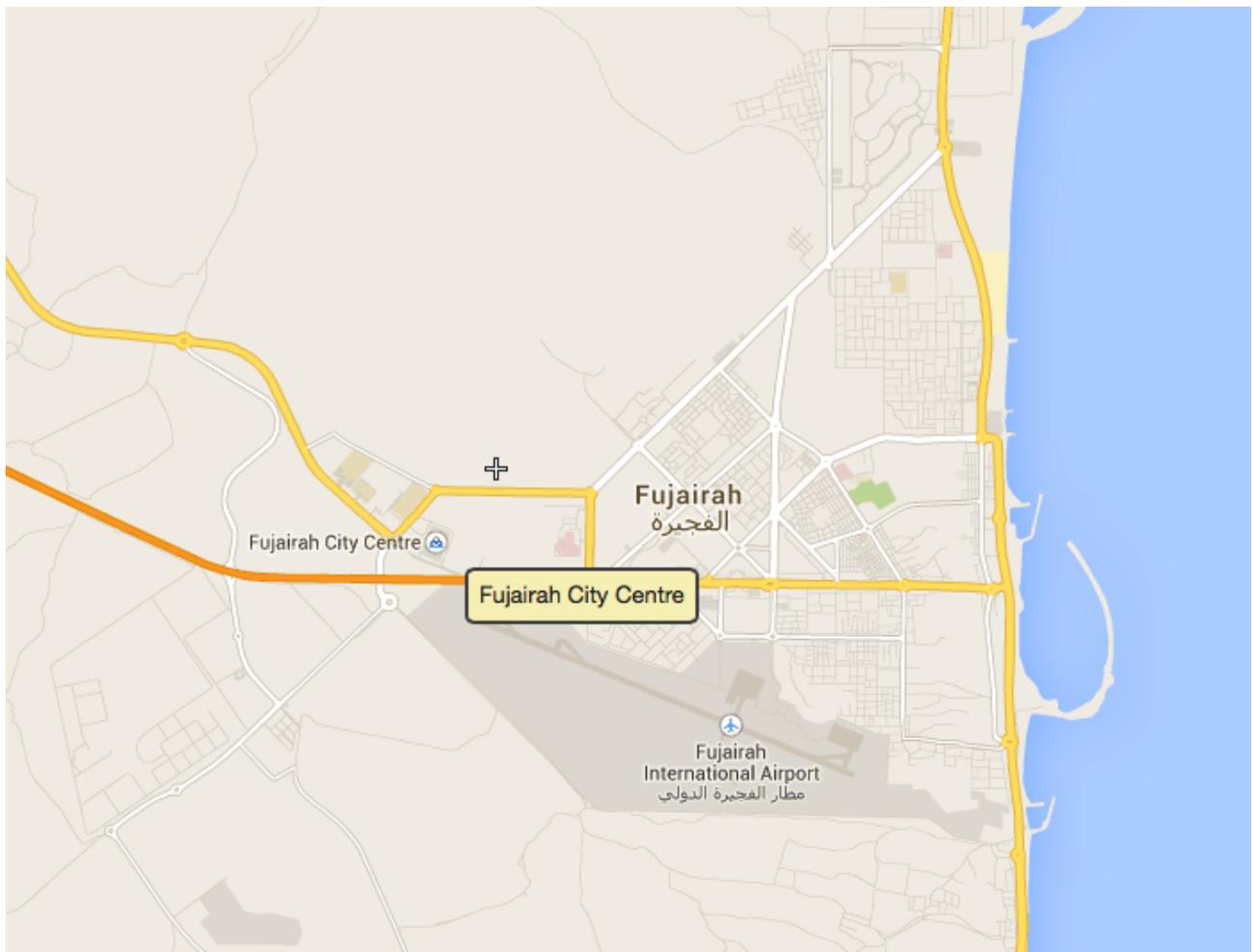


Map data ©2015 Google

9.3 フジャイラのショッピングモール

9.3.1 フジャイラ・シティーセンター

店舗面積 34,000 平方メートルのフジャイラ・シティーセンターは 2012 年 4 月にオープンし、カルフルール・ハイパーマーケットや、11 スクリーンの VOX シネマがあります。同モールの場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

9.4 フジャイラの主要商業地域

9.4.1 卸売・小売市場

フジャイラには、商業地域はほとんどありません。通常、1、2階建ての低い店舗が大通りに並び、様々な商品が安く販売されています。二つの主要地域は、北部のディッバと南部のフジャイラです。

9.4.1.1 ディッバ

ディッバは、小さな店舗が集まる小さな町です。比較的大きいスーパーマーケットや家具店もあります。取扱品目ごとに分かれた商業区域はありません。

9.4.1.2 フジャイラ

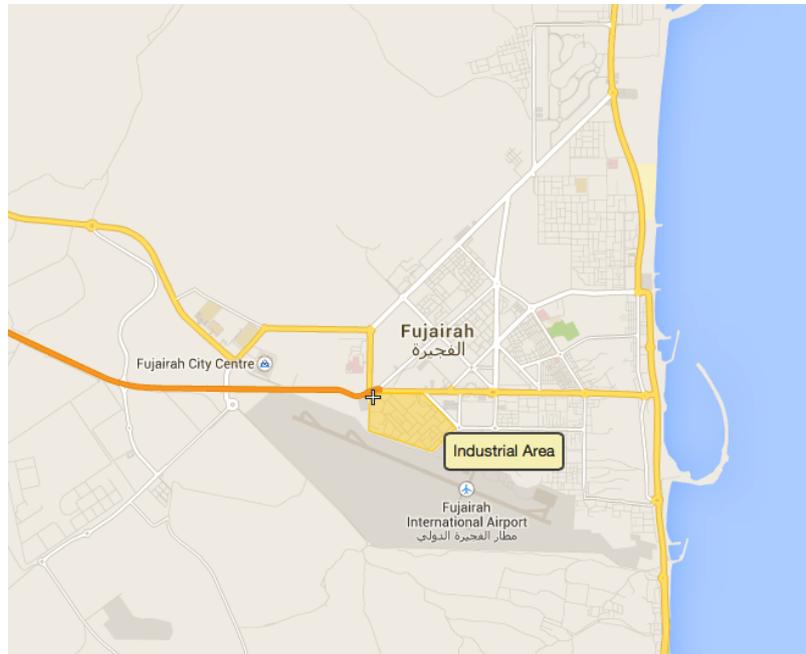
フジャイラの町の規模は北部のディッバよりも大きく、2012年4月にオープンした近代的なショッピングモール、フジャイラ・シティーセンターがあります。フジャイラには取扱品目ごとに分かれた商業区域はなく、通常、1、2階建ての低い店舗が大通りに並んで営業しています。下の写真をご覧ください。



9.5 工業地帯

9.5.1 フジャイラ工業地帯

フジャイラ工業地帯は、フジャイラ国際空港に隣接しています。下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

9.5.2 アル・ヘイル工業地帯

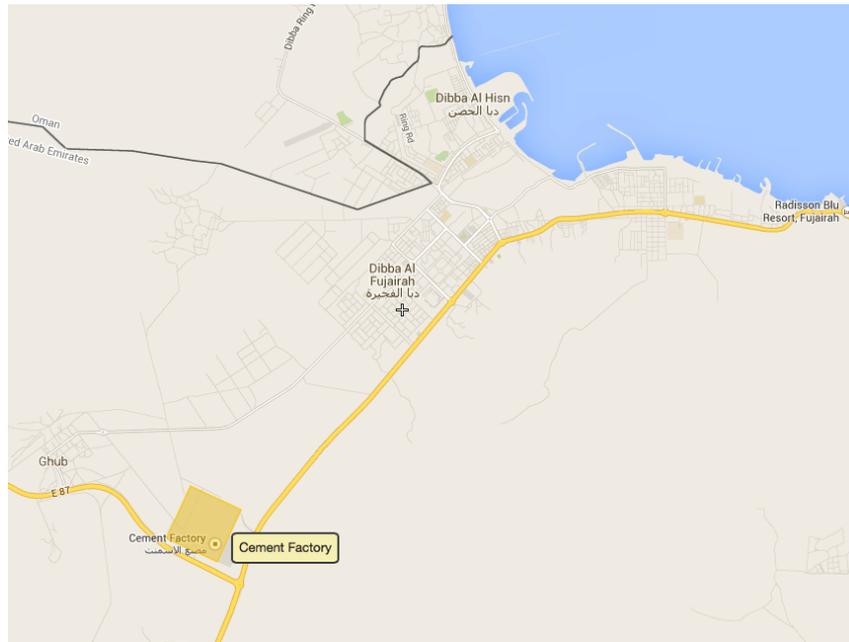
アル・ヘイル工業地帯の場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

9.5.3 セメント工場地域(ディッバ)

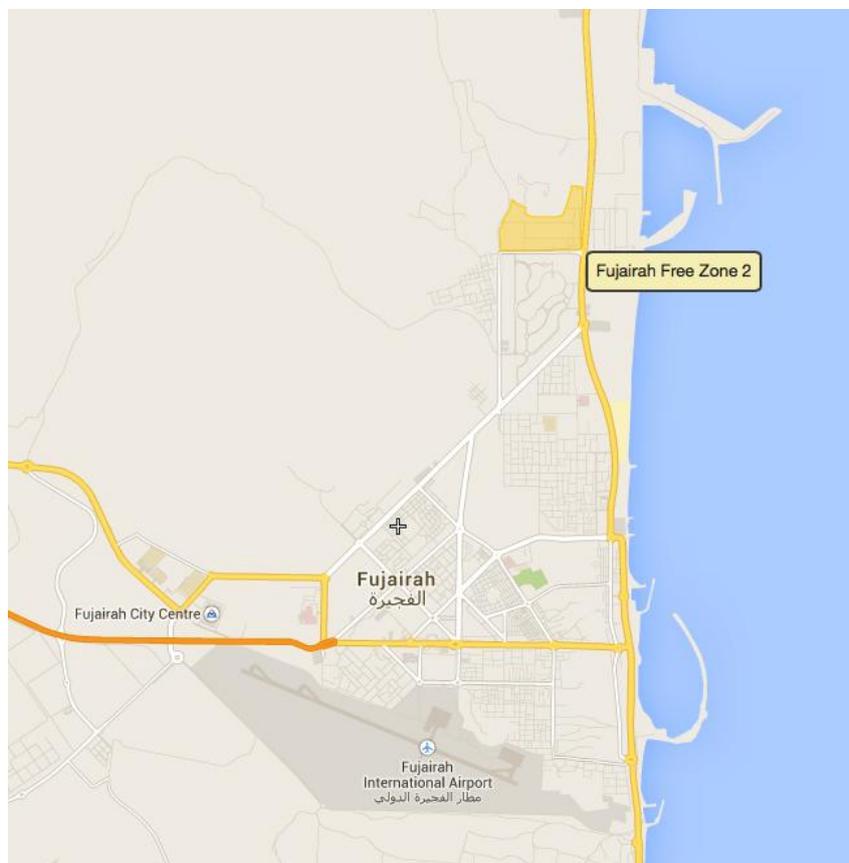
セメント工場地域の場所は、下の地図をご参照ください。



Map data ©2015 Google

9.5.4 フジャイラ・フリーゾーン

フジャイラ・フリーゾーンの場所は下の地図をご参照ください。このフリーゾーンでの活動は、現在確認されていません。



Map data ©2015 Google

[経済産業省委託事業]
アラブ首長国連邦における知的財産権侵害の現状と市況報告

2015年4月 発行

[作成協力]
Clyde & Co LLP 法律事務所

なお、画像は全て Cerberus 社と Google Maps 社から提供されたものです。
各地の画像は全て、業者の身元を保護するため、加工しています。

[発行・編集]
独立行政法人 日本貿易振興機構
ニューデリー事務所
知的財産権部
TEL:+91-11-4168-3006
FAX:+91-11-4168-3003

本報告書は、日本貿易振興機構が 2015 年 3 月現在入手している情報に基づくものであり、その後の法律改正等によって変わる場合があります。また、掲載した情報・コメントは著者及び当機構の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこの通りであることを保証するものではないことをあらかじめお断りします。